

# 千葉大学

大学案内 2025-2026



CHIBA UNIVERSITY



A large, leafy tree with a thick trunk stands in front of a modern building with large windows. A person is walking on a path to the left of the tree. The scene is brightly lit, suggesting a sunny day.

つねに、より高きものをめざして

m Higher

学長メッセージ

豊かな人間性と高度な  
専門性を備えた  
グローバル人材をめざして

国立大学法人 千葉大学 学長  
横手 幸太郎



千葉大学は、「つねに、より高きものをめざして」の理念のもと、100年以上の歴史と伝統を持つ多くの学部や教育・研究センターから成る総合大学です。豊かな人間性と高度な専門性を備え、国際社会に貢献する人材の育成に取り組んでいます。そのために世界最先端の研究を行う教授陣による手厚い指導やアカデミック・リンクなどの主体的学修環境を整備してきました。また、11学部19大学院を有する総合大学としての特色を生かした多様性に富む授業科目を用意するとともに、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることができるカリキュラムも拡充しています。さらに「ENGINE」プランによる学生全員留学の必修化や、大学院では、博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラムを実施し、新しい価値を創造する人材の育成を目指しています。

この大学案内の中に、千葉大学の各学部の特色、カリキュラムなど、養成する人材像が記載されています。国際交流活動やサークル活動、福利厚生施設などの情報もありますので、千葉大学に興味をもっている皆さんには是非お読みいただき、夢の実現に向けて活用してください。

総合大学の強みを生かした学修環境のもと、最高学府にふさわしい多彩な領域の学問に触れ、高い知性と豊かな人間性を身に付け、グローバル社会で活躍できるリーダーとして社会に羽ばたいてみませんか。千葉大学は、皆さんの個性と能力を最大限に引き出し、あなたの夢や希望を叶える教育と学修環境を提供します。教職員一同万全な体制でサポートしますので、向上心をもつ、熱意ある学生の入学を心よりお待ちしております。

大学沿革

千葉大学設置

1872  
教育学部  
印旛官員共立学舎

1874  
医学部  
千葉病院医学教場

1890  
薬学部  
第一高等中学校  
医学部薬学科

1909  
園芸学部  
千葉県立園芸専門学校



千葉県立園芸専門学校  
(1909)

1921  
工学部  
東京高等工芸学校



東京高等工芸学校  
(1921)

1949

・千葉大学設置・学章制定  
新制国立大学69校のひとつとして発足



開学式の様子  
(医学部講堂)



千葉大学学章



千葉大学旗

1960

理学部  
1968

工学部 文理学部  
1949 1950

人文学部  
1968

## 千葉大学入学者受入れの方針

### ● 千葉大学の求める入学者

千葉大学は、総合大学として多様な研究・教育組織から構成されており、その知的環境を十分に利用して、問題解決能力を培い、創造的能力を育み、自発的な精神を養い、社会と文化の発展とともに、人類の平和と地球環境の保全に貢献する人材の育成を目指しています。

千葉大学は『つねに、より高きものをめざして』の理念のもと、次のような向上心あふれる人の入学を求めています。

1. 現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、さらに向上させていこうとする熱意を持つ人
2. 本学での修学について強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探究し、問題解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人
3. 本学入学後の修学に必要な基礎学力として十分な知識・実技能力を持つ人

### ● 入学者選抜の基本方針

千葉大学は、複数の受験機会を提供し、多様な入学者選抜を実施しています。本学の教育理念・目標に見合う学生を選抜するため、一般選抜の他に特別選抜として、次の試験を実施しています。総合型選抜、学校推薦型選抜、園芸産業創発学プログラム選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、3年次編入学、先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜。本学の入学者選抜では、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて、志願者の能力や資質を総合的に評価します。

### ● 入学までに身に付けて欲しいこと

基礎学力としての十分な知識と共に、他の人との関わり合いの中でコミュニケーション能力を身に付けてください。広く社会に目を向け幅広い知識を養い、豊かな人間性と社会や学問に対する強い好奇心を持つとともに、自ら考え、判断し、解決したりする力を高めてください。これらは、本学に入学してから知識・技能を生かす底力となるでしょう。



創立30周年記念式典



やよいの鐘(創立30周年事業)



アカデミック・リンク・センター竣工



CHIBA UNIVERSITY



墨田サテライトキャンパス開設

1975  
看護学部

1981  
文学部

法政経学部  
法経学部

2004

国立大学法人  
千葉大学

2011

2016

国際教養学部

2016

2024

情報・データサイエンス学部

2021

# 千葉大学が拓く、未来

## AIの活用で、 病気を予測し治療を効果的に

私が取り組んでいるのは、AIを活用して人体の様々なデータを把握し病気の予測・予防に役立てようというものです。これまでの医療分野でのAI技術の研究は、「病気が起こってからいかに素早く対応するか」に重きが置かれていました。たとえば病気が発症した状態の画像を大量に学習させることで、がんなどの病変をいち早く見つけて効果的な治療を開始するにはどうするかという研究が中心でした。近年、高齢化の影響で、がんや糖尿病などの慢性疾患が増加している状況では、病気が発症してから治療する方法だと、多くのコストがかかり、完全に治癒しないなどの課題が多くなっています。私の研究はそれらの課題解決を目的にしたものです。AIを活用して患者さんの膨大なデータを把握、分析することで、発症前に病気の予兆をとらえ、予防につなげます。さらに、データに基づいた病気の新たな分類（層別化）を行うことで、従来よりも効果的な治療方針の選択が可能となるので、個別化医療の実現に大きく寄与します。

## 「自分の殻を破る」力を 身に付けるために

現在取り組んでいるテーマの一つは「ムーンショット型」の研究・開発です。従来技術の延長ではない大胆で挑戦的な研究開発を推進する、国の大型研究プログラムです。目標の一つが2050年までに超早期に疾患の予測・予防を実現すること。それを実現するために「ウイルス-人体相互作用ネットワークの理解と制御」というプロジェクトの課題推進者になっています。新たな感染症が現れる度にワクチンを開発すると、開発・治験のためにその都度膨大な時間を要します。AIを活用し、その手間と時間の短縮を実現する研究に取り組み、迅速な感染症の制圧を目指しています。このように、新たな課題を新たな技術で解決することで身に付くのが「自分の殻を破る力」。自分で考え、自分の手を動かして取り組むことで、自分を打ち破る力が身に付きます。この力があれば、社会に出たときに大きく伸びることができるはずです。AIなどの発達により、医師のキャリアプランもコンサルやエンジニアなど、これから多様化していくことが考えられます。そんな時代を生き抜くためにも「自分の殻を破る力」を身に付け、新たな挑戦を続けて行ってほしいと思います。

### 川上 英良 教授

千葉大学 国際高等研究基幹 / 大学院医学研究院

東京大学 医学部医学科卒業、東京大学 大学院医学系研究科博士課程病因病理学専攻修了、医師 / 医学博士

ビッグデータ  
の力で、  
発症予測を  
新たな段階へ  
病気を層別化



膨大な量のデータ解析を支えるサーバ。  
患者さんの病気の予兆の糸口を見つけ、  
病気の予測・予防につなげる。



細胞どうしのネットワークの全体像を  
明らかにするため、革新的な細胞計測  
プラットフォームを開発。

# の医療と宇宙の真理

南極点に建設した「IceCube」で、  
宇宙ニュートリノ誕生の謎を探る



研究のために南極点に行くこともあります。過酷な環境で、研究者と協力しながら研究をするのも貴重な経験。



南極点に千葉大学で開発した検出器を送る前に、研究室で詳細なデータを取得しその性能を確認します。

## ニュートリノの観察を通じて 「宇宙」のなりたちを探る

宇宙では、人類が作り出せないほど高いエネルギーが生み出されていることが観測されています。そのような高エネルギー現象がどこで、どのように起きているかを解明するのが私の研究のテーマです。その手掛かりになるのが「ニュートリノ」。ニュートリノは約70年前に発見され、非常に小さく、原子の中も通り抜けてしまい肉眼で見ることができない素粒子です。そこで、氷の中でニュートリノが反応する時に発するチェレンコフ光を検出することで観測をしています。そのために、南極の氷河を利用して作られたのが「IceCube」です。南極点の氷河に穴をあけ、光検出器を取り付けたケーブルを氷の中深さ2,500mまで降ろし、宇宙から飛来するニュートリノを捉えています。「IceCube」は国際共同実験として世界14か国が参加しています。日本から参加しているのは私たち千葉大学ハドロン宇宙国際研究センターだけです。また、他国に先んじて宇宙ニュートリノを発見するという成果を出し、次のテーマである「ニュートリノがどこで生まれているか」という研究にもつなげてきました。

## 多彩な仲間との 研究を通じて身に付く力

「IceCube」に参加している研究者は400人以上。その中で日本グループは千葉大学の約30人だけ。人数ではかなわないので、「他のグループがやらない取り組みをしよう」という戦略を立てて、ニュートリノ研究に取り組んでいます。自分たちが信じていた領域でニュートリノが見つかると考えて解析を続け、最初にニュートリノを発見することができました。自分たちがなぜそこを探すのかを考え抜き、自信を持って説明できるようにしたことが結果につながったのです。ニュートリノ誕生のメカニズムを解明することは、宇宙の高エネルギー現象の起源を解き明かし、その成り立ちを理解するのに役立ちます。研究に取り組むことで、自分の考え方を相手に説明する能力も高くなります。「IceCube」実験の場合、研究室でも会議でも英語でコミュニケーションが行われるので、英語力も向上します。自分がなぜこの研究に取り組む何を目指しているのか、自分の考えをわかりやすく説明することは大学生、大学院生にとって重要なことです。世界各国の研究者と切磋琢磨する経験は、将来確実に役に立つことでしょう。

## 石原 安野 教授

千葉大学 国際高等研究基幹／ハドロン宇宙国際研究センター

東京理科大学 理学部第二部物理学科卒業、テキサス大学オースティン校 大学院自然科学研究科物理学専攻博士課程修了

# ENGINE

CHIBA UNIVERSITY  
SINCE 2020

発信力・自己表現力・コミュニケーション力を  
備えた、世界で活躍する人材育成

千葉大学は2020年度から「千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”」に取り組んでいます。“学部・大学院生の全員留学”を目指し、留学プログラムや留学支援体制を一層強化するとともに、外国人教員の増員等による教育改革や、留学中でも科目履修が継続できる教育環境整備等を行っています。

## 全員留学 (卒業・修了までに1回の海外留学)

### ● 多様な留学プログラムの充実

学部生・大学院生ともに留学を必修化しています。学部生には、全学教育・専門教育に関する留学プログラムを、合わせて80プログラム以上提供します。学びたい国や滞在期間、目的に応じたさまざまな留学プログラムを用意しています。

## 英語教育改革

### ● グローバル教育の充実

読み書きだけでなく、外国人教員を中心に、少人数グループで英語を実践的に学びリスニングやスピーキングもカバー。さらに、英語を用いた専門科目も開講し、語学力だけでなく世界に通用するコミュニケーション能力を育成します。

## スマートラーニング

### ● いつでもどこでも学べる環境の整備

ICTを活用した双方向個別学修システムであるスマートラーニングを用いて、海外留学時でも国内で行われている授業を受講したり、日本にいる教員からの継続的な指導を受けたりすることができる「いつでもどこでも学べる環境」を提供していきます。

# 「全員留学」を実現する、 グローバル人材育成プラン

## Enhanced Network for Global Innovative Education

千葉大学では学生の皆さんがグローバルに活躍するための第一歩を踏み出して  
もらうことを目的に「全員留学」を実施しています。

ENGINEプランにおける「全員留学」では、  
原則として在学中最低1回の海外留学を求めています。

10日間程度の短期プログラムから、3～6か月の語学留学、1学期間～1学年間の交換留学など、  
留学目的や滞在期間、語学力にあわせたさまざまな留学プログラムから選択できます。

また、日本にいながら海外留学に行くような効果が得られるプログラムを受講することで  
卒業・修了要件を満たすことができます。

世界中に展開する渡航プログラムに加えて、オンライン留学を併用しながら  
多様な留学プログラムを提供しています。

2024年度の全学募集留学プログラムにおいて、オンラインは6プログラムを実施し  
114名が履修、渡航は65プログラムを実施し1,457名が履修しました。

ENGINEプランの着実な実施に向け、ますます飛躍する「全員留学」にご期待ください。

# 留学プログラム

Study Abroad Program

## 学びたい国やスタイルに応じて「全員留学」

千葉大学の全学募集留学プログラムは、「語学・文化体験」「協働学習」「社会実践」

### 語学・文化体験

外国語や文化を学ぶ留学

#### ●Begin One's Oversea Trial (BOOT) プログラム

「海外留学したいけど英語が苦手」「海外経験がなく不安」といった、海外ビギナーズ向けのプログラム。アジアのトップ大学を派遣先とし、コミュニケーションベースの英語学習及び現地文化の学習・体験を行う。(タイ、韓国、台湾)

#### ●海外研修英語・英語文化

第3ターム(夏季休業期間)及び第6ターム(春季休業期間)に実施する2～5週間のプログラム。これまでは、アラバマ大学(アメリカ)、アルバータ大学(カナダ)、ボーンマス美術大学(イギリス)で実施。

#### ●中期語学力強化プログラム

「短期留学では物足りない」「英語力を強化したい」学生向けの、海外大学付属語学学校に3～6か月程度留学するプログラム。(カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、タイ、ベトナム)



#### Begin One's Oversea Trial (BOOT)

##### ●タイ Mahidol University

松本 迅平さん  
工学部 総合工学科  
共生応用化学コース  
(栃木県立矢板東高等学校出身)

私は、このプログラムに参加して、英語でコミュニケーションを取ることに自信を持てるようになりました。また、フィールド・ワークを通して、日本と違った文化や価値観を学んだり、国際的な友人関係を築いたりすることができました。海外留学で得た貴重な体験は、私の糧となり、自信にも繋がっています。留学前は、緊張や不安を感じましたが、海外留学を体験できて本当に良かったです！

### 社会実践

社会実践を通じてPBL型<sup>※</sup>で学ぶ留学

#### ●グローバルボランティア

子ども支援、環境保護等、海外のフィールドで様々なボランティア活動に従事する。プログラムによっては、他大学の学生・社会人や他国の学生・社会人が参加する場合もある。(ベトナム、フィリピン、スリランカ他)

#### ●グローバルインターンシップ

派遣先企業にて、現地調査などをふまえつつ課題解決型のインターンシップを実施するプログラム。(マレーシア、タイ、香港など)



#### グローバルインターンシップ I

##### ●マレーシア AEON CO. (M) BHD (イオン マレーシア株式会社)

新保 美月さん  
文学部 人文学科  
国際言語文化学コース  
(大阪府 桃山学院高等学校出身)

企業との店舗調査や顧客インタビュー、工場見学などの実践的な活動を通して、グローバル経営を学ぶことができました。英語を学びに行くのではなく、英語を手段として仲間と協働するという充実したこのプログラムで、英語だけではなくグローバル経営の知識まで身に付けることができました。千葉大学が提供する様々なプログラムから、自分の成長につながるプログラムがきっと見つかります！



「研究」の4つのプログラムに大きく分けられます。

## 協働学習

外国語を媒介言語として協定校等の学生とPBL型<sup>\*</sup>で学ぶ留学

### ●グローバル・スタディ・プログラム (GSP)

英語を媒介言語としながら、特定の課題に取り組む協働学習プログラム。ホスト校とゲスト校を入れ替えて隔年で実施。両大学の学生で混成グループを形成し、テーマに沿った講義を受け、現地調査をし、課題提起や改善策の提案をワークショップ形式で行う。多様な背景の学生が、多角的観点から協働することを通して、異文化理解を高める。(ドイツ)



### Global Study Program

●ドイツ  
University of Applied Sciences Dresden (HTWD)

望月 咲百合さん

工学部 総合工学科  
共生応用化学コース  
(千葉県立千葉高等学校出身)

### ●ツイン型学生派遣プログラム (ツインクル)

教育学(部)研究科と他(学部)研究科の学生がペアを組んでASEAN諸国を訪問し、現地の高等学校で先生となり、本学で行われる先端科学研究や日本文化についての授業・実験をすることにより、グローバルマインドを持った人材(教員・研究者)を育成する。

プログラム中、ドイツの学生との会話の中で普段千葉大で受けている授業のどれが面白かったか聞かれ、どんな科目か説明できなかつたことがありました。この経験から自分の専門を英語で説明できるようになりたいと強く思い、その後の自己研鑽のための具体的な行動につながっています。留学は学びを得たい、成長したいと思っている人にきっかけを与えてくれると思います。

## 研究

専門性をより高めるための留学

### ●千葉大学海外派遣留学プログラム

千葉大学の海外協定校への交換留学プログラム。千葉大学に在学したまま、休学することなく長期間留学する。語学留学とは異なり、留学先では、おもに現地の学生に交ざって授業を履修することになる。学生自身が、自分の専門に沿った留学先、学部、科目を選ぶ必要があり、学びたいことをより深く、長期にわたり学ぶ機会が得られる。(これまでの派遣実績：アメリカ、カナダ、メキシコ、イギリス、ドイツ、スペイン、フランス、イタリア、フィンランド、中国、韓国、台湾、タイ、カンボジア、インドネシア、ケニア、オーストラリア他)



### 海外派遣留学プログラム (交換留学)

●マレーシア  
University Malaysia Sarawak

梶野 幹太さん

法政経学部 法政経学科  
経済学コース  
(埼玉県立川越高等学校出身)

途上国・新興国の経済発展理論に興味があり、学びたい学問、行きたい国の観点で当該大学へ留学を決め、GDP ベースの産業関連分析、シフトシェア分析などデータ解析手法を学びました。ありきたりな言葉にはなってしまいますが留学をすることで自分の世界が広がります。私自身も学問だけではなく多くの経験ができる留学に大きな意義を実感しています。今度は皆さんがご自身の手で自分の可能性を広げていってください！

<sup>\*</sup> PBL : Project Based Learning の略語で、課題の発見・解決に挑戦する実践的な学習形態

# グローバルキャンパス

Global Campus

成長できる機会は留学先だけではありません。キャンパス内にも、語学力を強化したり、国際交流ができる場がたくさん用意されています。

## English House イングリッシュ・ハウス



### 学内で英語を学ぶ、国際交流の場

気軽につろぎながら、楽しく英語を使える空間—それが「イングリッシュ・ハウス」です。スチューデント・アシスタントとの個別英会話セッションや、英語教員による個人レッスン、試験対策学習グループやワークショップ、お互いに言語を教え合う「Language Exchange Programme (LEX)」などが行われています。個人レッスンでは、目的やレベルなど、一人ひとりのニーズに合わせてカスタマイズすることが可能です。また、さまざまなイベントを通じて、国籍や学年、学部を超えた多くの人と英語を話せる環境が整った、国際交流の場となっています。



### ユニバーサルフェスティバル

#### 留学生との協働イベント

年間を通じて、さまざまな国際交流イベントが実施されています。毎年6月と12月にはユニバーサルフェスティバルが開催され、2024年12月で65回を迎えました。これは、世界の国々の歴史や伝統芸能を紹介するイベントで、千葉大生と留学生が協力しながら作り上げています。発表終了後には、各国の留学生との交流も行っています。





## 大学間学生交流協定

(2025年5月1日現在)

33 力国・地域  
240 大学



## 外国人学生受入数

(2024年度実績)

68 力国・地域から  
1908 名

## J-PAC

### 海外協定校からの留学生

海外の大学から、日本文化や日本社会に関心がある学部生を、交換留学生として受け入れるJ-PAC (Japan Program at Chiba) と呼ばれるプログラムがあります。J-PAC生との協働学修や、J-PAC生の学生生活をサポートするチューターとして活動する機会もあり、千葉大学にいながらにして、言語的、文化的背景の多様な学生と交流し、異文化への理解を深めることができます。



## 協働学習

### 言語的文化的背景の多様な学生と学ぶ

留学先だけでなく、キャンパス内においても日本人学生と外国人学生が共に学ぶ協働学習を推進しています。これは、参加者の言語的文化的な多様性や差異を肯定的に捉え、互恵性の観点から活用することを目指す学習形態で、学生同士の対話のプロセスを重視するものです。英語や二言語で授業を行うジャパニーズスタディーズ科目群は、日本についての基礎知識を学ぶだけでなく、対話を通して課題に取り組むことによって、さまざまな事象についての新しい視点、より深い気付きを得ることを目指しています。

## 日本語授業への参加

### 「教える」を通して学ぶ

留学生が第二言語として日本語を学ぶクラスに、学習支援者として参加するボランティア制度があります。

日本語学習を支援する実践経験を通して、日本語の面白さ・難しさに触れるとともに、自分とは異なるものの見方・考え方を理解することの大切さを学ぶことができます。



# Education System

## 千葉大学の学びのシステム

本学の学士課程教育は、「グローバルな視点から積極的に社会に関わり、現代社会の様々な課題を解決するための創造的・独創的研究を展開して、高い教養、専門的な知識・技能、柔軟な思考力と優れた問題解決能力を備えた人材を育成する」という教育目標を掲げています。また、4年（6年）一貫教育の基本方針に基づき、全学教員の協力体制のもとで「普遍教育」と「専門教育」を緊密に連携させ、総合大学としての特色を最大限に活用してカリキュラムを編成しています。さらに、人文社会科学、自然科学、生命科学の多様な専門分野の教育研究が行われている強みを生かし、所属学部の学びに加えて、自身の興味関心のある現代的なイシュー（課題）を普遍教育と専門教育の垣根を越えて体系的かつ学際的に学ぶことができる「全学副専攻プログラム」や「バンチプログラム」を用意しています。

### 6ターム制の学年暦

第1ターム  
(4～5月)

第2ターム  
(6～7月)

第3ターム  
(8～9月)  
集中講義、  
サマースクール

第4ターム  
(10～11月)

第5ターム  
(12～1月)

第6ターム  
(2～3月)  
集中講義、  
スプリングスクール

千葉大学は、2016年4月より、従来の前期（4～9月）・後期（10～3月）のセメスター制の学年暦を変更し、ターム制（6ターム）を全学的に導入しています。ターム制では、多様な科目設定が可能となることで、教育の質的改善が図られます。また、ギャップタームの創出によって、留学、インターンシップ、ボランティアなど体験学習の機会を確保しやすくするメリットもあります。

## 教育課程編成・実施の方針

### 「自由・自立の精神」を堅持するために

- ・学生が自ら設定した目標の達成に向けて、継続的に自己を評価・検証しつつ主体的な学修を可能とする教育課程を編成し、提供する。
- ・専門職業人として自立するための倫理教育を行うとともに、教育課程全般の修学にわたり、社会の規範やルールを尊重する姿勢を涵養する。

### 「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- ・幅広い視野の醸成、批判的精神の涵養、豊かな教養に裏打ちされた全人的な人間性の陶冶を目的とする普遍教育を提供するとともに、専門導入教育を充実し、それらを基盤として学生が自己の専門領域を修得する意義を理解できる学修機会を提供する。
- ・諸課題が地球規模となる時代に対応した学修環境を整備し、地球規模の課題を解決する能力を涵養するために、多様な留学の機会を提供する。同時に、地域を支える人材育成に取り組む。
- ・学内外で継続的な学修を促進するために、情報通信技術を活用した学修基盤を提供する。

### 「普遍的な教養」を涵養するために

- ・国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境を深く理解し、文理横断的・異分野融合的な知を備え、人類や社会が直面する課題に取り組む普遍教育科目を体系的に提供する。
- ・普遍教育と専門教育をつなぐ横断的な学修機会を提供し、全学的な副専攻を充実させる。

### 「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- ・専門領域での必須事項を段階的・体系的に修得できる教育課程を編成し、提供する。
- ・修得した専門領域での知識、論理的思考や表現の手段を、学生が主体的に活用できる実践的な学修の機会を効果的に提供する。
- ・社会に貢献し、知識集約型社会を牽引するイノベーション創出のための学修環境づくりを進める。

### 「高い問題解決能力」を育成するために

- ・英語を中心とした語学教育においては、専門教育とも連携した発信型のコミュニケーションを学修する機会を提供する。
- ・専門領域にかかわらず、情報通信技術の活用も含め、必要な情報やデータを適切に収集・分析・活用する方法を修得し、情報を適切に発信することのできる学修の機会を提供する。
- ・学生が、グループを単位として、専門領域での問題解決に主体的・能動的に取り組む学修の機会を提供する。
- ・専門領域での問題に関して、社会の要求を踏まえた問題解決を実践できる学修の機会を提供する。

### 「学修成果の厳格な評価」のために

- ・学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。また、成績評価を透明かつ公平に行うためGPA制度を採用するとともに、事前・事後学修の明示や履修登録単位数の上限設定等により、単位の実質化をはかる。
- ・講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。
- ・実験・実習・演習科目では、試験、レポート、口頭発表、実技等でその達成度を評価する。

# 普遍教育科目と専門教育科目

千葉大学の学士課程では、このふたつの科目群の学びを通して、豊かな教養を身に付けながら高度で専門的な知識やスキルを修得していきます。

## 学士課程カリキュラム

### ■ 普遍教育科目

普遍教育科目は、千葉大学に入学したすべての学生が修得すべき学習内容から構成されており、全学の協力のもとで、全学教育センターが運営しています。千葉大学における普遍教育の目的は次の2点に集約されます。第1は、国際化、高度情報化した現代社会に積極的に参画できる人材の育成を目指して、「幅広い視野の醸成」「批判的精神の涵養」「豊かな教養に裏打ちされた全人的な人間性の陶冶」という普遍的資質を養うことです。第2は、広い視野から学問に対する興味・関心を喚起し、その関心の深化と拡大を通して、学生個々が選択した専門分野の学問的・社会的位置付けを理解する能力を養うことです。普遍教育の学修が、その後の人格形成と専門分野の学修に肯定的な影響を及ぼすことを期待しています。

### 国際発展科目群



#### ■ 英語科目

国際化が進展する社会に生きる学生が学修・研究はもとより、将来、社会人として必要になる英語力について、その基礎的な運用能力を修得することを目指します。

#### ■ 初修外国語科目

初めて学ぶ英語以外の外国語を対象として実用的な語学力を修得するとともに、それらを通して多様な価値観の存在と異文化の尊重について理解することを目指します。

### 地域発展科目群



#### ■ スポーツ・健康科目

身体的・精神的・社会的により高次の水準の健康を獲得するために、健康的な生活や人間関係の有り様について実習を通して理解するとともに、健康に関するセルフ・ケアの基礎知識の修得を目指します。

#### ■ 地域科目

社会の一員として地域と関わりながら課題を主体的に設定し、具体的に解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

### 学術発展科目群

#### ■ 教養コア科目

教養コア科目は、4つの科目群から構成されています。大学での学びのきっかけとなる科目であり、学問への興味と関心を高めることを目的とする必修科目です。

##### ● 教養コア科目 4 科目群

論理コア(論理・哲学・社会)  
生命コア(生命・心理・発達)  
文化コア(文化・芸術・歴史)  
環境コア(環境・生活・科学)

#### ■ 教養展開科目

教養展開科目は、学修の目的や課題、テーマによって8つの科目群に分類されており、教養コア科目等の履修を通して喚起された学問への興味・関心を拡大、深化させ、豊かな教養へと結びつけることを目指します。講義を中心とする授業だけでなく、少人数の授業、受講生同士で活動するアクティブ・ラーニングの授業、学外で実施するフィールドワークの授業など、多様な授業が開講されています。

##### ● 教養展開科目 8 科目群

- ・ 学術研究の現場を知る
- ・ データを科学する
- ・ 自然科学を学ぶ
- ・ キャリアを育てる
- ・ 千葉大学の環境をつくる
- ・ ジェンダーを考える
- ・ コミュニケーションリテラシー能力を高める
- ・ 世界とつながる

「千葉大学普遍教育」Web サイト



## ■ 国際科目

国際社会での活動を通じて多文化共生社会で求められる国際認識や文化理解を深め、国際化する社会で生きていくために基礎となる考え方を学びます。

## ■ 数理・データサイエンス科目

高度情報化社会で生きていくために必要であり、あらゆる学問分野で求められている情報処理・データ分析能力と情報倫理を修得することを目的とします。



## ■ 専門教育科目

各学部・学科では、専攻に応じた専門教育科目が設定されており、学生はカリキュラムに沿った学びを通じて体系的な知識や技術、技能を養っていきます。少人数クラスで行われる実習や演習では、一線で活躍する研究者である教員から直接指導を受けられます。

### ■ 専門基礎科目

#### ■ 共通専門基礎科目

共通専門基礎科目は、専門科目の学修に必要とされる基礎的な知識・技術を修得することを目的としています。

#### ■ 学部専門基礎科目

▶▶▶千葉大学ホームページまたは、各学部パンフレットをご覧ください。



### ■ 専門科目

▶▶▶各学科・課程・コースのページまたは、千葉大学ホームページ、各学部パンフレットをご覧ください。





## 「よい」研究を生み出す 文化をつくり、根付かせる

東島 仁 准教授

大学院国際学術研究院 総合国際学講座

### 研究テーマについて教えてください。

「よい」研究を増やし、不適切な研究を減らす仕組みや方法の研究をしています。「よい」にも様々な形がありますが、現在、そして未来を生きる人たちにとって「よい」世界づくりに資する素晴らしい研究像を探り、そのような研究が生まれる文化や制度、それらを育む教育のあり方や社会と研究の関係改善に繋がりたいと思っています。

### 担当科目について教えてください。

研究は、社会の一員の研究者が、社会の様々な人とともに進めるものです。我々の生活は科学技術抜きに成立しません。このような視点で「科学コミュニケーション論」「生命倫理」「バイオテクノロジーと法」では、社会の側から研究とのお付き合いを扱います。「研究倫理」「科学技術社会論」では、反対に、研究者の視点で「よい」研究を考えます。

# 千葉大学の研究力と学生への教育



## 自然に学び

### 千葉大学から新しい医薬品を創製する

石川 勇人 教授

大学院薬学研究院 創成薬学研究部門 創薬科学講座 中分子化学研究室

### 研究テーマについて教えてください。

生薬に代表されるように、世界中に自生する植物には人体に影響を与える化合物(天然物)が含まれています。私たちは、そのような自然が生み出す医薬品候補化合物を主に植物から探索し、化学合成によって人工的に供給します。そして、共同研究を通じた生物活性試験へと展開することで、千葉大学発の医薬品創製を目指しています。

### 担当科目について教えてください。

薬学部で有機化学および創薬有機化学を教えています。有機化学は、炭素や水素を主な構成要素とする化合物を扱う学問です。授業では、有機化合物の構造をどのように理解するか、目的とする化合物をどのように化学合成するか、さらに、有機合成が医薬品開発にどのように活用されているかを指導しています。

## 技術と法の共進化のための 法学的な方法論の検討

西貝 吉晃 教授

大学院社会科学研究院 法学研究部門公法学講座

研究テーマについて教えてください。

犯罪と刑罰を研究する刑法学のうち、先端的な技術、とりわけ情報通信技術を用いた犯罪行為に対する刑事的な規制方法を研究しています。サイバー犯罪など、情報通信技術の悪用を法律によって規制する必要はあり得ますが、強すぎる規制によって技術発展自体が阻害されるべきではない、という見地から、適切な調和点を法学的に考えています。

担当科目について教えてください。

刑法学を教えています。技術と刑法の関係という新しいテーマの研究でも、従前の刑法学の議論の理解は必須です。伝統的な議論は各種資格試験に役立つだけでなく、古い議論を最新の事例にうまく使えることがわかるのは法学の醍醐味だといえ、また、そこから得られる新しいアイディアは社会問題の解決に貢献するのでやりがいも得られるでしょう。

千葉大学では新たなビジョン“世界に冠たる千葉大学へ”の実現に向けて、学術研究のより一層の強化と、研究成果の社会実装のさらなる推進に取り組んでいます。ここでは、4名の教員の研究と担当している授業科目をご紹介します。

## 植物の発生や生殖の仕組みを解明し その操作技術を開発する

井川 智子 准教授

大学院園芸学研究院 植物生命科学講座 植物細胞工学研究室

研究テーマについて教えてください。

被子植物の重複受精を制御する遺伝子やタンパク質を探索しその機能を解析して、生殖メカニズムを追究しています。また、遺伝子組換えによって望んだタイミングで細胞を植物体に分化させる技術の開発も行っています。これら生殖と細胞分化の研究を合わせた、新たな植物改良法となるバイオテクノロジーの創出を目的とした研究テーマです。

担当科目について教えてください。

2年次の「植物細胞工学」では植物細胞の培養や遺伝子導入、人工的に遺伝子を働かせる方法の基本原則について学びます。3年次の「植物分子生物学」では真核生物の遺伝子発現制御の仕組みについて学ぶことで植物特有の機能の理解も深めます。専門研究では、実験で得られた結果から導かれる考察を議論し、論理的思考力を育成しています。



# 全学副専攻プログラム・ バンチプログラム

Webサイト▶



## 総合大学の強みを生かした多様な分野の履修体系

総合大学として人文社会科学・自然科学・生命科学のあらゆる専門分野の教育研究が行われている強みを生かし、普遍教育科目や学部開放科目等において、所属学部によらず多様な分野の授業科目を履修することができる履修体系をとっています。このほかにも、豊富にリソースを活用し、学部の垣根を越えて、現代的なイシュー（課題）について体系的かつ学際的に学ぶことができるタイプの履修プログラムを、学部生が履修できるように副専攻やバンチプログラムとして提供しています。さらに、履修により身に付けた知識・スキルを電子的に証明する仕組み（オープンバッジ）も合わせて整備しています。

## Minors 全学副専攻プログラム

所属学部での学びに加えて、自分の興味関心のある分野について、体系的に学ぶことができるプログラムです。修了（取得）要件を満たした場合には、要件に応じて修了証書もしくはオープンバッジが発行されます（要件はプログラムごとに異なります）。



### 国際日本学

グローバル社会で活躍するための素養を身に付けることを目的とした全学副専攻プログラムです。普遍教育科目および専門教育科目を横断して構成されています。主専攻である学部・大学院での専門性をもちながら国際日本学の指定科目を所定の修了要件に基づいて履修することで、日本文化や異文化への理解を深め、将来、グローバル人材として活躍するために必要となる知識や技能、経験をバランスよく身に付けることができます。



### ローカル・イノベーション学

学生の皆さんの主専攻である各学部での専門性を持ちながら、地域産業・イノベーションや地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を身に付ける全学副専攻プログラムです。学生の皆さんが、NPOや大学、自治体、企業などの立場から地域産業をイノベーションしたり、地域再生のために活躍できる人材となることを目指しています。



### 数理・データサイエンス 教育プログラム

数理・データサイエンスに関する基礎的な教養をベースに、各学部における専門的な数理・データサイエンスを極めることにより、数理・データサイエンスに係る知識を活用し、社会の問題を解決できる人材を育成します。「データサイエンティストコース」「データエンジニアコース」「データアナリストコース」の3コース及び各コースの内容を横断する「数理・データサイエンス教育プログラム」を設けています。



### 環境サステナビリティ実践学

環境に関する知識やマインドを涵養し、持続可能な社会の推進に貢献することができる「環境課題解決人材」を育成することを目的とした全学副専攻プログラムです。環境課題解決人材として活躍するために必要な「環境に関する課題を発見する力」「課題解決のための立案力」「解決策を実行するための実践力」を培い、人類や社会が直面する環境に関する課題の解決に向けて、主体的に行動できる人材となることを目指しています。

## BUNCH programs バンチプログラム

イシューについて体系的に学修できるよう授業科目を組み合わせているほか、小さなまとまり（6-10単位程度）とすることでより学びやすい仕組みとしたものです。各プログラムの要件を満たした場合には、オープンバッジが発行されます。今後もイシューに基づいたプログラムを追加していきます。



### 国際日本学



### 地域づくり



### 地域 イノベーション



### 地域実践



### 数理・データサイエンス・ AI基礎コア



### 環境サステナビリティ 実践学



### 日本語学習支援 実践プログラム

# 亥鼻 IPE

(Interprofessional Education : 専門職連携教育)

Web サイト ▶



## 自ら考え、行動し、責任を果たす。専門職連携の能力を養成

### 4学部合同で学ぶ必修科目

医学部

看護学部

工学部

薬学部

ヘルスケアの領域では、患者さんの自己決定や多様性を尊重する「患者中心の医療」が重要とされています。その実現のために、保健医療福祉に携わる専門職は、自ら考え、行動するとともに、異なる専門職と互いの価値を尊重しつつ、共通の価値を創り出し、ともに目的に向かっていく専門職連携実践の能力を獲得する必要があります。千葉大学の医学部、看護学部、工学部（医工学コース）、薬学部では、必修科目として学部合同の「専門職連携教育（IPE）」を実施しており、医療系学部が集まる亥鼻キャンパスの名をつけて、「亥鼻IPE」と呼んでいます。亥鼻IPEでは、これら医療に不可欠な「自律した医療組織人」に必要な能力を養成しています。

### 亥鼻IPEのポイント

#### 積み上げ式教育プログラム

STEP 1～4まで、段階的な積み上げ式のカリキュラム構成となっています。必修科目として提供していることが特徴です。またその先には、選択制の診療参加型IPEプログラムを用意しています。

#### アクティブ・ラーニング

講義による事前学習に加え、体験型の学習を行っています。主体的に課題に取り組むとともに、発表会で学習の成果を共有していきます。

#### リフレクション

自己評価やグループ評価によって、体験から学んだことについて内省し、次の行動に生かしていきます。

#### STEP 1 共有

##### 患者・サービス 利用者の理解と コミュニケーション能力

「患者会」の方等から体験談を聞いたり、4学部の学生で構成する3～4名のチームで、協力病院の患者さんからお話を聞きます。また、患者の人権・安全や薬害などに関する歴史的なトピックを教材にして学び、これらの体験から患者・サービス利用者中心の医療とは何かについて討議しまとめます。これらの演習の中で他学部の学生と円滑にコミュニケーションできる能力を身に付けます。

#### STEP 2 創造

##### チームを形成する 各職種役割の 機能の理解と チームビルディング

様々な保健医療福祉の現場で働く専門職へのインタビューを通し、その現場での各職種の役割や専門職連携の実践を学びます。理想のチームとは何かを学生同士で考え議論を深めます。患者・サービス利用者を中心とした医療・保健・福祉のかたちを学生自らが創り出す学習をします。

#### STEP 3 解決

##### 専門職間の 対立の理解と解決

保健医療福祉の現場では、治療やケアの方針・内容をめぐって意見の相違が生じることがあります。現場でおこりうる意見の相違をテーマとして扱った教材を使ってグループで議論します。そのプロセスを通じて対立の分析と解決のための態度、知識、技能を学びます。



#### STEP 4 統合

##### 専門職連携による 退院支援計画の立案

模擬患者の協力を得て、退院支援計画立案のシミュレーションを行います。模擬患者と面談を行い、附属病院の専門職からのコンサルテーションと、模擬患者からのフィードバックを計画に反映します。医看護3学部混成チームで模擬患者のニーズに沿った、最善の退院支援計画を作成し、模擬患者への説明まで演習します。



#### Clinical IPE (Daily IPE)

##### 臨床実習での 実践的な 連携協働実践

医学部附属病院にて、患者中心の医療を目指し、同じ時期に同じ病棟で実習する多領域の学生同士、情報共有や相互の専門性に即した協働を実践します。通称 Daily IPE と呼んでいます。



医学、看護学、工学、薬学の4学部が連携したIPE (Interprofessional Education) は、異なる専門職がお互いを尊重し合いながら、対等な立場で、お互いから学び、お互いのことを学んでいきます。亥鼻IPEは、STEP 1～STEP 4の4段階で構成される1年次から4年次までの積み上げ式の総合教育プログラムです。学生は学部混成のグループを構成し、演習・実習を通して協働して課題に取り組むことにより、自律しつつ連携する姿勢と能力を修得していきます。



# アカデミック・リンク・センター

Webサイト▶



## 「空間」「コンテンツ」「人的サポート」で、多様な学びのきっかけを提供

「アカデミック・リンク」が目指すのは、「考える学生」を創造すること。アカデミック・リンクでは、静かな学習空間だけでなく、議論や発表のできる空間、紙や電子による教材やコンテンツ、そして学生の学びへの人的なサポートを提供します。学生の能動的な学びを創造するアカデミック・リンクは、千葉大学が開発した画期的な教育コンセプトです。



**PLACE**  
学習空間

### アクティブ・ラーニング・スペース

学生の皆さんが、様々な資料、コンテンツ、情報通信技術、あるいは学習を支援する人々(教員、図書館員、学生)を最大限活用しながら、グループや個人で学習を行うのにふさわしい場、自らの学習の成果を公表する場を提供します。

### デジタル・スカラシップ

デジタルコンテンツを活用した研究、教育、学習を実現するための支援と学術コミュニケーションのデジタル化に重点を置き、「千葉大学学術リソースコレクション:c-arc」や「千葉大学の本棚:cu-Books」による千葉大学の持つ学術リソースの提供や研究成果の発信、デジタルコンテンツの利用環境整備を行います。

**CONTENT**  
コンテンツ

Academic  
Link

**SUPPORT**  
人的サポート

### リサーチ&ラーニング・コモンズ

学部生や大学院生の皆さんが各自の興味・関心・学習ニーズにあわせて選択できる「スキル向上のための支援プログラム(Encourage YOUR Research!)」を、講義・実習形式のセミナー、個別学習相談、オンライン教材など多様な形式で提供し、学びの高度化を支援します。

## 「アカデミック・リンク」から生まれた4つの個性を持つ図書館(附属図書館本館)

### Learning棟



#### 黙考する図書館

ひとりで読書をしたり、思考するための空間で、伝統的な図書館のよさを残すことにこだわった建物です。ラウンジ、静寂閲覧室もあります。

### Investigation棟



#### 研究・発信する図書館

研究開発とコンテンツ制作の拠点です。アクティブ・ラーニングに適したセミナー室や授業の収録が可能なコンテンツスタジオなどを設置しています。

### Networking棟



#### 対話する図書館

ひとりではなく、複数で学ぶことを中心に考えた空間です。人数に応じて、キャスター付きの椅子や机、ホワイトボードを自由に移動できます。ノートPCなども貸し出しています。

### Knowledge棟



#### 知識が眠る図書館

伝統的な書庫としての機能を中心に考えられた建物です。貴重書室、マイク口室、巨大な電動集密書架などを備えた、知識の集積拠点です。

各種相談デスク、講習会の動画、電子ブックなどの学習コンテンツなど、千葉大学の学生がインターネットを介して利用できるサービスも充実しています。

開館時間・休館日  
(附属図書館本館)

授業期間 平日 8:30~22:30 / 土・日・祝 10:30~18:00

大学の長期休業期間 平日 9:00~16:45 / 土・日・祝 休館 其他休館日 年末年始・図書館が定める日

※臨時休館・開館時間の変更等、最新の情報は図書館ウェブサイト、緊急の場合はアカデミック・リンク/附属図書館の X(旧Twitter) でお知らせします。

# 学部・学科INDEX

ページ	学部	学科・課程	コース
▶ P.024	国際教養学部	国際教養学科	
▶ P.026	文学部	人文学科	行動科学コース 歴史学コース 日本・ユーラシア文化コース 国際言語文化学コース
▶ P.031	法政経学部	法政経学科	法学コース 経済学コース 経営・会計系コース 政治学・政策学コース
▶ P.036	教育学部	学校教員養成課程	小学校コース 中学校コース 小中専門教科コース 英語教育コース 特別支援教育コース 乳幼児教育コース 養護教諭コース
▶ P.044	理学部	数学・情報数理学科 物理学科 化学科 生物学科 地球科学科	
▶ P.051	工学部	総合工学科	建築学コース 都市工学コース デザインコース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース 物質科学コース 共生応用化学コース
▶ P.060	情報・データサイエンス学部	情報・データサイエンス学科	データサイエンスコース 情報工学コース
▶ P.062	園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科 食料資源経済学科	
▶ P.067	医学部	医学科	
▶ P.069	薬学部	薬学科 薬科学科	
▶ P.072	看護学部	看護学科	

西千葉キャンパス



亥鼻キャンパス



松戸キャンパス



学びのキーワード

グローバルイシュー／多文化共生／総合知／実践知／課題発見・課題解決
哲学／認知情報科学／心理学／社会学／文化人類学
史資料／文化財／画像解釈／日本史／西洋史／東洋史／中東・イスラーム史／古文書／考古／美術史／ジェンダー史／マイノリティ史
日本語／日本文学／日本文化／古典芸能／ユーラシア言語文化／言語学／文化人類学／先住民
多言語／英語圏文化／演劇／比較文化論／ヨーロッパ文化／芸術メディア論
法哲学／六法／英米法／国際法／司法／民法／憲法
合理性とその限界／円安／データ解析／貧困／金融市場／財政赤字
経営戦略／経営組織／イノベーション／マーケティング／簿記原理／財務諸表論／原価計算論／連結会計論
公共／行政／国際政治／国際経済／政策／環境／労働／社会保障／国際移動／社会思想史
教員養成／発達／心理／英語／グローバル／インクルーシブ教育／小学校授業づくり
教員養成／発達／心理／英語／グローバル／インクルーシブ教育／中学校授業研究・分析
専門性／実践力／創造的思考・技能／課題解決能力／コミュニケーション能力／身体性／協働性
教員養成／英語教育／専門性／国際理解教育／グローバル
教員養成／障害児教育／専門性障害特性／特別支援学校／インクルーシブ教育
乳幼児／幼児教育／保育／発達／表現／幼保小接続
学校保健／救急処置／健康相談／学校看護／臨床実習
代数／幾何／基礎解析／応用解析／確率・統計／情報数理
素粒子物理学／原子核物理学／宇宙物理学／量子物理学／物性物理学／非線形非平衡物理学
量子化学／物理化学／サステナブル化学／ホスト-ゲスト化学／環境分析／細胞生物学／酵素／有機合成化学／ハロゲン／キラリティ
分子生物／生化学／生理／発生／形態形成／細胞生物／ゲノム／海洋生物／生態／行動／系統／進化
岩石鉱物／地球物理／地震／地史・古生物／生物地球化学／地球環境／気候変動／雪氷／ガスハイドレート
建築設計／建築計画／都市計画／建築史／環境工学／建築構法／構造力学／構造設計／防災工学
都市環境デザイン／都市工学／測量学／水理学／交通計画／振動工学／防災
工業デザイン／モビリティデザイン／コミュニケーションデザイン／環境デザイン／デザイン文化／材料計画／人間工学／心理学／アート
機械力学／材料力学／流体力学／熱力学／鉄鋼材料／制御工学／ロボット／バイオメカニクス／機械設計製図／機械工作実習
生体計測／診断機器／治療機器／バイオメカニクス／医用画像
電磁気学／半導体／信号処理／計算機／電気機器／情報通信
材料物性／ナノサイエンス／デバイス／画像化学／エネルギー材料／環境調和型技術（グリーンテクノロジー）
無機化学／物理化学／有機化学／分析化学／高分子科学／環境／バイオ／超分子／計算化学／電気化学／触媒
プログラミング／機械学習／社会的課題／展開力／医療・看護／環境・園芸／人間・感性
プログラミング／機械学習／エンジニアリング力／IoT／計算機科学／アルゴリズム／情報通信
栽培技術／植物育種／生物生産／農業環境／園芸産業
有機化学／細胞／酵素／バイオマス／微生物／植物分子／食品栄養
庭園／都市計画／ランドスケープ／生物多様性／園芸セラピー／樹木医学／GIS利用
地域資源／持続可能な農業／フードシステム／データサイエンス／農福連携
医学／医療／人体／疾患／診断／治療／倫理
臨床薬学／先端実践薬学
創薬科学／ゲノム創薬学／環境生体科学
看護師／保健師／助産師／生活／健康増進／エビデンスベースドナーシング／意思決定支援

グローバルな課題解決に向けた  
実践的学びの場

# 国際教養 学部

College of  
Liberal Arts and Sciences

国際教養学科

私たちの社会が持続的に発展するためには、環境問題や人間の安全保障など既存の学問分野単独では解決困難な課題と向き合っていかなければなりません。また、世界最先端の科学技術や独自の文化を有するわが国の魅力が広く世界に認知されることは、日本および世界の発展に繋がります。国際教養学部は、「グローバル・日本・ローカル」という複合的視点から国際理解と日本理解の双方を備え、俯瞰的視野、多角的視点で物事を考え、日本独自の視点から課題を発見・解決し、その解決策を世界へ発信することができるグローバル人材の養成を目指しています。

## 国際教養学部の特徴

### 文理混合教育による 課題解決型教育

従来の国際教養教育は人文社会科学が主流でしたが、現代社会の複雑な課題の解決には自然科学や生命科学の視点が欠かせません。そこで千葉大学の国際教養学部では、文理混合教育を実践します。これは、総合大学である千葉大学だからこそその強みと言えます。また、課題解決型教育として、従来の発想を転換し、最初から決められた学問分野を出発点とするのではなく、課題認識からスタートし、その解決のための知識を選択・統合し、解決能力を育む教育を実践します。専門として、3年次に3つのメジャー(グローバルスタディーズ、現代日本学、総合科学)のうち1つに所属しますが、所属するメジャーだけではなく、他のメジャーについても横断的に授業の履修が可能です。

### 日本・世界での学びと 能動的学び

国際的な学生間の協働を通じた国際理解と日本理解の育成を目的に、国際教養学部では学生に対して積極的に学外に出て異文化と接触することを推奨しています。千葉大学では多彩な留学プログラムを用意しており、自身の目的・能力等に基づいて選択することができます。また、フィールドワーク、インターンシップ、ボランティアなどのグローバルな世界と地域の双方を舞台にした活動体験も重視し、理論だけでなく実体験を通じた知識の活用と課題解決能力を育成します。このような世界や現場での学修だけではなく、大学全体として整備されている様々な学生の主体的な学びをサポートする環境を基盤として、アクティブラーニングによる学修を積極的に展開していきます。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 西千葉キャンパス

# 国際教養学科

## 文理混合による課題解決型教育により 学問分野の境界を越えて新たな価値を創造する

国際教養学部は、世界を舞台にした文理混合の課題解決型教育を実践します。現代社会が直面する複雑な問題に対応するには、俯瞰的な視野を持ち、さまざまな学問分野を横断しながら幅広い知識やアイデアを駆使し、実践していくことが必要です。文系と理系が一緒になった国際教養学部では、「国際」「日本」「科学」をブレンドすることで、グローバルイシュー（世界が抱える課題）に独自の視点から解決する能力を身に付けていきます。

### 学科の紹介・特色

国際教養学科では、イシュー（課題）から考え、かつ、そのイシューを深めるために工夫したカリキュラムを用意しています。横断的な学問領域の教員による連携により、集約的に講義、演習を行うターム（授業期間）と、留学、野外実習、実験、インターン等の学外での学びを個々の学生がカスタマイズしやすいタームを組み合わせ、大学での学びと学外での実践を融合していきます。

#### 学生個々のニーズに合った「テラーメイド教育」

学生ごとに設定する課題の発見、解析、解決と実践に向け、教員やSULAと呼ばれる学修支援スタッフから履修科目等のアドバイスを受けながら履修計画を立て、一人ひとりが異なる学びを実践します。

#### インテンシブ・イシュー教育プログラム

国際教養学部では、複数の教員の連携により、社会課題やイシューに基づいた横断的なテーマを短期集中的に学修するタームを設定することで、留学、野外実習やインターン等の学外学修の期間を学生自らがカスタマイズすることが可能となっています。課題を集中的に学び、実践する教育プログラムが用意されています。

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

国際教養学入門、人文社会科学基礎、自然科学基礎、生命科学基礎、グローバルイシュー論、現代日本論、総合科学論、グローバルイシュー演習、現代日本課題演習、総合科学コミュニケーション演習、研究方法論Ⅰ、アカデミックライティング（日）Ⅰ、アカデミックライティング（英）Ⅰ、総合科学基礎実験実習、情報処理演習

#### 2年次

世界史と世界地理、都市住環境論、国際組織論、現代言語社会論、クリティカル日本論、工業デザイン、経済政策と科学技術、生命倫理、サイエンスコミュニケーション論

#### 3年次

グローバルスタディーズ・現代日本学・総合科学のメジャー科目、Current AffairsⅠ・Ⅱ、クロスメジャープロジェクトⅠ・Ⅱ

#### 4年次

メジャープロジェクトⅠ・Ⅱ

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 国際教養学入門

1年次の最初の必修科目として、少人数で行う演習形式の授業です。国際的課題にどのようにアプローチしていくか、文理混合の観点、課題設定の方法、知識・技能の集積方法、課題報告の技能など、国際教養学部での学びの基本を修得します。

#### フィールドから学ぶ

日本に暮らす移民・難民や、国際移動の影響を受ける人々について、実践活動や制度政策に携わる方々を招いて講義を受けた上で、フィールドワーク・実習を行います。講義と実習をもとに、省察・経験を共有し、社会の在り方を考えます。

#### 科学と社会的意思決定

現代の社会的意思決定におけるキー概念である「リスク」について学んだ上で、いくつかの社会問題をケーススタディとして検討することで、現代社会における科学と政治の関係性に関する多角的な理解を深めます。

は か  
計算りきれない  
人間・社会・文化を探知る  
は か

# 文学部

Faculty of Letters

人文学科 | 行動科学コース

人文学科 | 歴史学コース

人文学科 | 日本・ユーラシア文化コース

人文学科 | 国際言語文化学コース

文学部の学問では、「人間自身とは何か？」を問いかけていきます。言葉や文化、意識、行動、社会など「人間が創り出すすべて」が学びの対象なのです。学生たちは、この無限のテーマから自分の関心を見つけしていきます。そして、テーマに関する適切な情報を自分で集め、情報に立脚して論理的に考え、正しい見通しを導く能力を徹底的に高めていくのです。4年間で養われるその力は、生涯を通じて役立つものとなるでしょう。

## 文学部の特徴

### 人文科学を幅広く、 そして深く学ぶ

千葉大学文学部には4コース12専修が設けられており、それぞれの専修では深い専門性を究められます。一方で学部として人文科学の諸分野を幅広く学ぶ体制も整えられています。所属するコースは入学時に決められていますが、他コースの科目の履修も可能です。また、領域横断的に履修する共通科目には、国内外でのインターンシップやフィールドワークなどの科目もあります。文学部では深い専門性と広い教養の両立を目指しています。

### 卒業論文の執筆に向けて、 論理力を高める

文学部では卒業論文が必修となっています。関心を持ったことを徹底的に調べ、論理的に考え、他人にも理解できる言葉に置き換える論文執筆は学生にとってかけがえのない体験になります。本学部では、1年次から少人数制の導入ゼミを設けて、自分の関心に基づいて調べ、発表するという学習を始めます。さらに、学年が上がるごとに学生主体の発表による演習を数多く行いながら、4年次の卒業論文に向かって能力を高めていきます。

### 海外の大学と学生交流する 千葉大学で留学を実現

現在、どの学問においても国際的な視点が不可欠です。文学部の領域も例外ではなく、外国語や異文化理解の能力があることで、学びの視野は大きく広がります。本学部では、外国人教員や留学経験のある教員が数多くいるとともに、それぞれの専門分野で国際的な活躍をしています。また千葉大学では、海外の大学と学生交流の提携をしていますので、文学部の学生も多くが短期・長期の留学を実現し、学びへの動機を高める機会を得ています。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 西千葉キャンパス

人文学科

# 行動科学コース

## 「人間とは何か」この最大の謎に挑む

「人間の意識や心の働き」「人間の知性や社会的・文化的特性」「人間に特有な言語や生物としての特性」といったさまざまな視点から人間の行動を解明するため、独自の研究方法や対象を持った「哲学」「認知情報科学」「心理学」「社会学」「文化人類学」の5つの専修において、学生は幅広く多面的に学習しながら、人間の行動の本質を学びます。

### コースの紹介・特色

行動科学コースでは、1年次に、共通基礎科目で行動科学の基礎を5つの専修から広く学びながら、各専修で行われる専門的な研究を具体的に知り、2年次で、自身の関心に応じていずれかの専修に所属します。そして3年次にかけて多様な専門講義科目、実験・実習科目、さらには演習（ゼミ）科目などを通じてより専門的な知識を習得していきます。4年次で、学びの総仕上げとして、各自の選択したテーマに関する卒業論文をまとめます。

#### 哲学専修

古代ギリシア哲学から現代哲学、中国哲学、倫理学など様々な研究テーマを掲げる教員とともに、世界や人間の根本的問題を言語によって徹底的に考え抜きます。

#### 認知情報科学専修

生物学や行動学から心理学、言語学、情報学、統計学、論理学、経済学、芸術等に至る広範囲なスペクトルで人間行動にアプローチし、人間の認知過程全般を探究します。

#### 心理学専修

人間の心の働きについて、知覚、認知、記憶、パーソナリティ、社会行動などを中心に、自ら計画・実施する実験や調査等による実証科学的な方法を重視して解明します。

#### 社会学専修

現代社会におけるコミュニケーション、家族、労働、地域、文化などを多様な調査方法に基づき明らかにするなど、人間の行動を社会的な側面から研究します。

#### 文化人類学専修

人類の多様性を文化・社会の面から実証的比較研究を通じて考察し、「ヒト=文化をもった生物」の総合的な解明を行います。

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 哲学専修

哲学基礎演習、論理学の哲学、科学史、東洋哲学概説、価値論、西洋古代中世哲学、現代哲学 など

#### 認知情報科学専修

認知情報科学基礎演習、認知情報科学基礎実習、認知行動基礎論、知的情報処理論、データ解析基礎論、言語情報処理論、比較認知論 など

#### 心理学専修

心理学基礎演習、心理学初級実験、心理学研究法、人格心理学、社会心理学、認知心理学、高次認知論、知覚心理学 など

#### 社会学専修

社会学原論、社会調査概説、社会調査実習、家族社会学、ジェンダーの社会学、地域社会学、医療と福祉の社会学 など

#### 文化人類学専修

文化人類学研究法、文化人類学調査概説、文化人類学演習、文化人類学調査実習、生態人類学、医療人類学 など

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 科学基礎論演習（哲学専修）

国内外の哲学者や思想家のテキストや最新の研究論文の読解を行います。毎回該当箇所の担当者を決めて内容の要約や翻訳や解釈などをレジュメにまとめてもらい、それをもとに参加者全員で問いを出し合い、あれこれと議論していきます。

#### 認知情報科学基礎実習（認知情報科学専修）・心理学初級実験（心理学専修）

認知情報科学基礎実習では認知情報科学にかかわる現象を理解するために必要な知識と実験・分析方法を、心理学初級実験では心理学の様々な分野での基礎的な実験手法およびデータ分析方法を、各専修の学生がそれぞれ実習形式で学びます。

#### 社会調査実習（社会学専修）・文化人類学調査実習（文化人類学専修）

社会学専修と文化人類学専修では、フィールドワークという方法論を学ぶための「調査実習」を3年次に行っています。社会や文化なるものを現場で直接観察・記述するために、学生が主体的に調査を企画・実施し、成果を報告書にまとめます。

人文学科

# 歴史学コース

人類の生み出した文化や社会の諸相を、  
時間軸に沿って考究する

歴史学の成果を尊重しつつ、従来の枠組みを超えて研究を展開します。歴史を、考古資料・美術作品などの「モノ」、  
図像資料・映像資料などの「イメージ」、そして文献資料としての「文字」という3つの史資料を丹念に分析し、  
考えることが特徴です。多彩な史資料情報を複合的に活用しつつ、世界的視野に立って人類の生み出した文化  
や社会の諸相をより深く、多面的に考察することを目指します。

## コースの紹介・特色

歴史学コースでは、日本史、東洋史、西洋史という基本的な3研究  
領域を包摂し、アジア・アフリカ研究、イスラーム地域史、東南アジ  
ア史なども研究対象としており、中心から周辺を、そして周辺から  
中心を同時に照射するグローバルな歴史研究を目指しています。

また、「モノ」を対象とする考古学関係の授業や、「イメージ」を対  
象とする美術史関係の授業を通して文献資料以外の扱いについても  
学習することができ、さらに、分野縦断的な視野のもとで歴史を考  
察する、思想史、マイノリティ史研究、ジェンダー研究、人種・民族  
研究など新しい分野の歴史学に触れることもできます。

これら多様な歴史の領域から、学生は、特定の地域・方法・分野に偏  
ることなく、自己の関心に応じてさまざまなテーマの歴史を、多様  
な方法を媒介として学ぶことができます。



歴史学コース1年次研修 国立歴史民俗博物館(千葉県・佐倉市)

## カリキュラム(主な専門科目)

### 1、2年次

世界史基礎、日本史基礎、文化資料論基礎、  
史料学基礎演習、アジア史基礎、ヨーロッ  
パ・アメリカ史基礎、考古学基礎実習、文化  
財学基礎実習

### 2、3、4年次

考古学、美術史、日本史、東アジア地域史、  
東南アジア地域史、イスラーム地域史、中  
東・アフリカ地域史、ヨーロッパ地域史、環  
大西洋移動交流史、社会文化史、古代中世  
社会論、日本思想論、ヨーロッパ美術史、考  
古学演習、図像解釈学演習、古文書実習、記  
録史料演習、東南アジア社会論演習、イス  
ラーム地域史演習、近代記録史料演習、比  
較ジェンダー史演習、社会文化史演習、卒  
業論文特別演習

カリキュラムツリー▶



## 授業紹介

### アジア史基礎 c

西アジア・中央アジアのイスラーム史の基礎を解説  
する講義です。歴史のみならず現代社会の理解にも  
重要なイスラーム初期史ですが、この授業は特にム  
スリムの支配層とユダヤ教徒やキリスト教徒という  
「マイノリティ」の関係を考察します。

### 図像解釈学

ヨーロッパの絵画や彫刻に見られる様式や表現の  
ルール、図像学の伝統、背景にある思想等を学び、  
具体的な作品を取り上げて分析します。制作状況や  
歴史的背景を考察し、ディスクリプションを交えて  
「イメージを読み解く」ことを実践します。

### 記録史料演習

日本近世史を学ぶうえで不可欠な崩し字を読む演習  
です。「市中取締類集」という史料を読むことで、古  
文書を読解するスキルを身に付けるだけでなく、史  
料読解を通じて近世都市社会やそこに生きた人々の  
生活、天保改革の内実を考察します。



人文学科

# 日本・ユーラシア文化コース

## 日本・ユーラシア文化の多様性を学ぶ

日本・ユーラシア文化コースは、日本及びその周辺のユーラシア諸地域における民族の多様な言語・文化・文学などを見つめ、考えていくコースです。また、日本語、日本文化を世界に発信する力も養います。これらの学問を通じて、日本とユーラシアの文化の確かな知識を育み、グローバルな社会にも的確かつ柔軟に対応できる能力を身につけます。

### コースの紹介・特色

日本・ユーラシア文化コースは、主に日本語学、日本文学・文化、ユーラシア言語・文化等の学問分野を担っています。本コースは、教員の専門研究領域により「日本語・日本文学専修」と「ユーラシア言語・文化専修」の2つの専修から成っていますが、実際の授業カリキュラムにおいては、この区分とは関わりなく、学生は全く自由に自らの履修プランを組み立てられるようになっています。

#### 日本語学

日本語の成立・歴史・構造、地域言語等の特性をはじめ、教育、文化、社会との関係等、日本語をさまざまな側面から学んでいきます。

#### 日本文学・文化

伝承文学・芸能文化を重視しながら古代から近代の各時代を通じた文学・文化を考え、さらに、韻文・散文・劇といった文学の形態や思想等にも配慮し、総合的に日本文化を考察します。

#### ユーラシア言語・文化

国内アイヌ民族などを含め、シベリア、モンゴル、中国といった日本近接のユーラシア諸地域の少数民族や先住民族等の言語・民族文化・口承文芸等を、言語学と文化人類学の立場から考察します。

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

人文科学入門、日本・ユーラシア文化論基礎、ユーラシア人類学基礎、日本文学基礎講読、日本文学史、日本語学基礎、言語学基礎

#### 2、3、4年次

伝承文学論、古代文学論演習、中世文学論、中世文化論演習、近世文学論、近世文化論演習、近代文学論、現代文学論演習、民俗文化論、芸能文化論、日本思想論、日本語史、日本文法論、古代日本語論演習、現代日本語演習、日本地域言語学形態論演習、言語体系論、言語機能論演習、音声学、アイヌ語、アイヌ語学演習、アイヌ文化論、ユーラシア文化論、ユーラシア言語類型論演習、ユーラシア口承文芸論、内陸アジア文化論、東北アジア文化論演習、フィールド調査法演習、大学図書館論、資料・情報組織演習、情報サービス演習、情報検索演習、日本・ユーラシア文化論研究演習(3年次)、卒業論文特別演習(4年次)

文学部

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 日本文学史 a・b・c・d

「日本文学」を専門とする教員が、古代・中世・近世・近現代の各時代にわたり、それぞれの専門性を生かして文学史を講義します。多岐にわたる作品や人物を取り上げ、文学の生成する場や環境をも考察する本授業は、聴きどころ満載です。

#### 日本・ユーラシア文化論基礎

コースに所属するすべての教員が1年次生に向けて、図書館情報学、民族文化、言語学、日本語学、日本文学といったそれぞれの専門領域の研究について、その魅力を語る授業です。各領域の入門的な知識と手法を学ぶことができます。

#### フィールド調査法演習

2年次からはじまる演習授業です。実際のフィールドワークを通じて、テーマ選定、聞き取り調査、データ整理、発表、記述の一貫した作業を行います。文化人類学の方法論とその実践、民族誌記述の基礎を習得することができます。

人文学科

# 国際言語文化学コース

## 世界に開かれた広場・ことばと文化の饗宴

国際化と多様化の時代に対応して、主に欧米の言語、文学、文化の多様性・流動性・国際関連性、さらにはその内部構造についての多角的・多面的な研究・教育が行われます。言語構造、英語圏文化、ヨーロッパ文化、超域文化という4つの専門分野の中から自由に選択できるようになっています。英語だけではなく、もうひとつの自分の言語を身に付けることができるコースです。

### コースの紹介・特色

本コースでは、学生はその関心に応じて、2年次から、言語構造専修、英語圏文化専修、ヨーロッパ文化専修、超域文化専修のいずれかに属して履修します。また本コースでは、2つ以上の近代西洋語を中心とする外国語の高度な運用能力を習得することが求められ、外国語を徹底的に習得するための様々な授業が準備されています。現在専門科目として本コースが開講している外国語は、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語です。

#### 言語構造専修

言語コミュニケーション、語学研究、言語理論、意味論、歴史言語学などの研究を行います。語学に強い関心があって、専門的に勉強しようという人に適しています。

#### 英語圏文化専修

イギリス、アメリカを中心とした英語圏を巡る文化や文学を研究します。卒業論文を30ページ程度の英文で書くことになるため、入学時よりも飛躍的に英語力が高まります。

#### ヨーロッパ文化専修

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語などのヨーロッパの言語の学習を基礎として、英語圏以外の多様で特色あるヨーロッパ文化、文学をさまざまな視点から学び、研究します。

#### 超域文化専修

2021年度から新たに発足した専修で、比較文学、比較文化論、文学理論、多言語多文化接触論など、言語、地域、学問領域を横断する研究を行います。

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 共通基礎科目

英語圏文化論基礎、比較文化論基礎、英語学概説、人文学の課題:世界を知る、英会話、英作文、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、言語コミュニケーション論、アメリカ文化論、フランス文化論、ドイツ語圏文化論、ロシア文化論、ラテン語入門

#### 専門科目

スラヴ文化論演習、芸術メディア論演習、多言語多文化接触論、演劇論、英語音声学、比較文化論演習、生成文法理論演習、アメリカ現代文化論、アメリカ文化論演習、ドイツ文化論演習、英語圏文学演習、イギリス文学演習、アメリカ文学演習、ドイツ文学演習、フランス文学演習、ロシア文学演習、スペイン文学演習、イギリス文学史、アメリカ文学史、ドイツ文学史、英語史、英文化、国際言語文化学研究演習、スペイン語学概説、ロシア語学概説、ドイツ語学概説、ラテン語演習、ドイツ語史演習、現代ドイツ事情

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 人文学入門

1年次の必修科目で、言語や言語文化を学問として学んでいく上での基礎を修得します。少人数のクラスに分かれ、主題を設定し、文献を調査し、作品を分析する能力を養います。図書館での実習や院生による研究・大学院紹介も行われます。

#### ラテン語演習

ラテン語文法を習得した学生を対象に、文法事項の復習をかねて、ラテン語文献の講読を行います。代表的な古典作品の原典に触れることで、古典古代の言語文化に対する素養を身に付けます。

#### ロシア文化論演習

19世紀から21世紀まで、文学・舞台・映画・美術など、ロシア文化の粋というべき作品を鑑賞し、種々の辞典・文献を参照しながら分析する作法を学びます。ロシア語文献の精読や翻訳を通じて、語学力を養うことも目指しています。

あるべき社会を  
創造する力を身に付ける

# 法政経 学部

Faculty of  
Law, Politics and Economics

法政経学科 | 法学コース

法政経学科 | 経済学コース

法政経学科 | 経営・会計系コース

法政経学科 | 政治学・政策学コース

環境問題、格差拡大、民族・宗教対立など、いま世界はひとつの学問領域だけでは解決できない課題に直面しています。千葉大学法政経学部は、法学、政治学、経済学など社会諸科学の柱となる伝統的学問を深く探求するとともに、21世紀の世界の問題を発見、そして解決することで社会に貢献する「問題解決のプロフェッショナル」を育成します。新たな情報ネットワークを駆使しながら、課題解決に総合的に取り組み、政策立案・実証実験・結果評価まで一連の過程を体感できるカリキュラムを提供することによって、皆さんの学びを支援します。

## 法政経学部の特徴

### 全国でもユニークな 社会諸科学系の総合学部

法政経学部は、学部名の通り1つの学部で、広い社会諸科学を学ぶことのできる法学、経済学、経営・会計系、政治学・政策学の4つのコースからなり、2年次に進級する際に自分に適したコースが自由に選択できる全国でもユニークな学部です。

### 専門性と総合性の追求

法政経学部では、4つのコースでの専門性を軸に、コースを横断することで総合的な社会諸科学の専門能力を同時に習得し、将来の複雑な社会に適用していく応用力を身に付けていきます。

### 広範な知識の習得による 現代社会での活躍

法政経学部では、現代社会の様々な事象に関心をもち、その本質を学びたい学生にとって最適な学びの場を提供します。というのも、社会事象の理解に不可欠な社会諸科学の幅広い知識を1つの学部にながら学ぶことができるからです。法政経学部で学ぶことによって、未来の社会で活躍する能力を身に付け、皆さんの豊かな創造力をぜひとも発揮してください。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 西千葉キャンパス

## 法政経学科

# 法学コース

## 法的な考え方を修得し、社会問題に取り組む

本コースは、法現象の基本構造を学習し、新たな問題に対処し得る柔軟な思考力を養成することを目的としています。そこで、国家および国家間の生活領域に関する規律、さらにはその本質をより深く洞察する教育体制を充実させ、急速に変貌する現代社会の教育需要に応えることに努めています。本コースで得られる知識や知恵は、自分の可能性を様々な形で発見していくことにつながります。

### コースの紹介・特色

学生のニーズに合わせて、法学の基本を学ぶ科目から、法律専門職を目指すための応用力を身に付ける科目まで、幅広く学ぶ機会を提供します。まず、法学の基本科目である憲法、民法、刑法を講義で学びつつ、併せて「2年法学演習」という少人数での授業を通じて、基礎的なスキルを修得できるようにします。その上で、「六法」科目をはじめ、基礎法学から先端・展開分野まで、多様な科目を選択して履修することができます。

### 法曹コース・プログラム

千葉大学法科大学院と連携し、最短で学部3年間＋法科大学院2年間の併せて5年間で司法試験受験資格、最短約6年で法曹資格を取得することを可能とします。4年間での履修内容を3年間に圧縮するため相当ハードであり、受講にはかなりの努力が必要となります。



授業風景

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

入門基礎法学、入門基礎法史学、入門基礎ミクロ経済学、入門基礎マクロ経済学、入門基礎経営・会計学、入門基礎政治学、入門基礎政策形成論

#### 2年次

社会科学英語(法学)、日本公法史、日本私法史、法哲学、憲法、民法、家族法、刑法、2年法学演習

#### 3・4年次

行政法、民法、会社法、民事手続法、刑事手続法、英米法、法社会学、国際法、社会保障法、消費者法、環境法、医事法、著作権法、特許法、労働法、商取引法、保険法、民事執行法、倒産法、経済法、刑事政策、少年法、法学演習

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 入門基礎法学

法律家の仕事とは？憲法・民法・刑法の原則とは？民事紛争・刑事裁判とは？…このような問題について初学者向けに解説します。また、千葉県弁護士会によるパネルディスカッションや、裁判官・検察官・弁護士を招いての講義も予定しています。

#### 法哲学 I

法とは何か。正義とは何か。規範とは何か。価値とは何か。権利とは何か。自由とは何か…。法哲学の問題は尽きません。本講義では、法を根源的・哲学的に考えます。そして、法の問題や正義論等についてできるだけ平易な言葉で解説します。

#### 環境法

環境問題の歴史を振り返りつつ、環境基本法、水質汚濁防止法、廃棄物処理法、省エネ法、有効資源利用促進法など、環境についての主要な法令の仕組みを講義します。また、環境問題をめぐる紛争をいかにして解決するかについても解説します。



法政経学科

# 経済学コース

## 数理知識と歴史理解を組み合わせる社会問題に挑む

経済学は、機会の不平等・プラットフォーム企業の超巨大化・極端な円安等の複雑な社会現象を個人の合理性という単一の切り口から数理分析し、歴史と照らし合わせつつその本質を解明・解決しようとする学問です。本コースの目標は、少人数教育によって学生にこの経済学の考え方を身に付けてもらうとともに、外国語・データ解析の手法も十分に使いこなせる人材を育成することです。社会科学の国際語である経済学を身に付けることは、自らの可能性を開花させる大きな力になります。

### コースの紹介・特色

本コースの第1の特色は、国内外の多様な大学で博士号を取得した教員が、自らの研究に根差した講義を提供している点です。第2の特色は、留学や国際ビジネスで活躍することを希望する学生を念頭に、複数の講義科目を英語で提供していることです。また、成績優秀者を対象とした「早期卒業制度（経済学特進プログラム）」も用意しています。

#### 経済学特進プログラム

1年次から専門教育科目を集中的に学ぶことができ、所定の要件を満たすと3年間で早期卒業が可能となるプログラムです。受験時点で経済学を専攻することを決めている方、1日でも早くビジネスの世界や経済専門職・研究者の道へ進むことを希望する方々の挑戦をお待ちしています。



授業風景

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

入門基礎ミクロ経済学、入門基礎マクロ経済学、初級統計学、初級経済史、入門基礎法学、入門基礎政治学、入門基礎経営・会計学

#### 2年次

中級ミクロ経済学、中級マクロ経済学、中級統計学、中級経済数学、データ解析、計量経済学、金融工学、産業組織論、ゲーム理論、金融論、医療経済学、日本経済史、財政学、社会科学英語（経済学）

#### 3・4年次

情報科学、開発経済学、西洋経済史、上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学、上級統計学、上級経済数学、外国語文献講読、ゼミナールⅠ（3年次）、サブゼミナール（3年次）、ゼミナールⅡ（4年次）、卒業論文（4年次）

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 入門基礎ミクロ経済学

ミクロ経済学は個人や企業の行動を分析する学問です。入門基礎ミクロ経済学では、価格を通じてモノやサービスを取引する状況に焦点をあて、個人の消費活動や企業の生産活動を分析することで、ミクロ経済学の基本的な考え方を学習します。

#### 医療経済学Ⅰ・Ⅱ

経済学を応用して、医療問題を考えます。どれだけ健康に投資するか？医療保険の仕組み、なぜ依存症になるのか？効率的な病院運営、医師のサービス提供行動など、幅広いテーマを経済的視点から分析し、具体的な解決策を提示します。

#### 日本経済史Ⅰ・Ⅱ

なぜ日本は、非西欧圏の中でいち早く経済発展を達成し、先進国の仲間入りを果たすことができたのか。この講義では、この問題について、日本の歴史を振り返り、社会制度のあり方が経済に与えた影響に注目しながら考察します。



## 法政経学科

# 経営・会計系コース

## 経営課題を多面的に理解し、解決策を考える

経営学とは、いかにして企業が従業員を動機づけ、消費者やユーザーのニーズに合った製品・サービスを開発・生産・販売し、そして利潤を従業員や株主などの利害関係者に分配していくかを研究する学問です。一方会計学とは、その企業行動から生じた富の存在と変動、損益に関する情報の作成と伝達の行為を研究する学問です。本コースの目的はこれらの学問を通して、時代の変化とともに生じる企業の経営課題を多面的に理解し、解決するための考え方を養うことです。

### コースの紹介・特色

経営・会計系コースでは、経済学コースなどで提供される基礎的な講義科目をベースに、経営学・会計学の基礎から応用、理論から実践まで、幅広い講義科目を用意しています。講義では、担当教員が最新の企業事例や研究成果を交えて、教科書には描ききれない理論と現実の関係を説明します。また少人数で行われるゼミナールの授業では、直近の企業経営に関わるテーマについて、学生同士で活発な議論がなされます。学生はゼミナールを通して友人たちと切磋琢磨し人間力を高め、より実践的な能力を身に付けます。



授業風景

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

経営学総論Ⅰ・Ⅱ、簿記原理Ⅰ・Ⅱ、初級統計学、初級経済数学、入門基礎経営・会計学、入門基礎ミクロ経済学、入門基礎マクロ経済学

#### 2年次

中級ミクロ経済学、中級マクロ経済学、中級統計学、中級経済数学、経営管理総論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング論、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、財務諸表論Ⅰ・Ⅱ、社会科学英語(経営・会計系)

#### 3・4年次

中小・ベンチャー企業論、イノベーション論、マーケティングリサーチ、人的資源管理論、ビジネスデータ解析、経営戦略論、組織論、財務管理論、管理会計論、会計マネジメント論、監査論、連結会計論、外国語文献講読、ゼミナールⅠ(3年次)、特定課題研究(経営・会計系)(3年次)、会計実務実習(3年次)、ゼミナールⅡ(4年次)、高度化ゼミナールⅠ・Ⅱ(経営・会計系)(4年次)、卒業論文(経営・会計系)(4年次)

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 入門基礎経営・会計学

この授業では、初めて経営学や会計学を学ぶ学生を対象に、経営学や会計学に係わる身近な現象を踏まえつつ、学問としての経営学や会計学に取り組みやすいように、コース担当の複数の教員によって広範な視点から講義が行われます。

#### マーケティングリサーチ

マーケティング活動を行うには、市場の競争状況を把握し、対象とする消費者を理解する必要があります。この講義では、消費者の態度や行動への理解を深めるためのマーケティングリサーチの考え方やデータ分析方法について学びます。

#### ゼミナールⅠ・Ⅱ

ゼミナールでは、各担当教員の専門領域における理論や研究手法などをより深く学び、学んだことを活用して研究を行います。また、学生間の討論や学内・外の他のゼミナールとの交流、ゲストスピーカーの招聘、合宿なども行われます。

法政経学科

# 政治学・政策学コース

## 現代社会の政治の仕組みを理解し、 政策構想・提言を行う

本コースは、現代社会の公共的な基盤を形成する政治の仕組みを政治学という視点から、また現代社会の構造変容から生じる諸課題を政策学という視点から、教育・研究することを目的とします。法学・経済学等の複合学部であるメリットを活かし、幅広い社会科学の教養を持ち、その上で政治学そして政策学の観点からより良い社会を構想する能力のある人間を養成します。本コースでは現代社会の変化に伴う国内外の諸課題に具体的に取り組みます。

### コースの紹介・特色

政治系科目と政策系科目を中心とする講義科目と、英語開講科目・少人数演習科目を含む各種の実践系科目を設けています。また、公共系大学院への進学を目指す演習科目も用意しています。これらの学問に対する時代と社会の要請は、単なる理論家の養成をこえた現実的な問題発見・解決能力を持つ人間の育成にあります。したがって政治学・政策学コースでは、基礎的知見や方法の習得とあわせて実践的能力の習得をも重視します。研究面では、実態調査などフィールドワークや政策実施母体とのネットワークを強化します。



フィールド・スタディ(国際)

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

入門基礎政治学、入門基礎政策形成論、社会思想史Ⅰ・Ⅱ、入門基礎各科目(法学、法史学、ミクロ経済学、マクロ経済学、経営・会計学)

#### 2・3・4年次

政治哲学、比較政治、公共哲学、ヨーロッパ政治史、政治思想史、アジア政治、行政学、日本政治史、公共政策論、環境政策論、国際政策論、労働経済論、社会保障論、外国語演習、外国事情、国際経済論、政治政策演習、フィールド・スタディ(3年次)、ゼミナールⅠ(3年次)、ゼミナールⅡ(4年次)、卒業論文(4年次)

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 入門基礎政治学

政治学の基礎概念と政治哲学・政治思想・地域政治・国際政治といった政治学の各分野について、基本的な知識を獲得します。その知識及び分析手法を活用し、グローバル化する現代世界のダイナミズムを把握できるようになることを目指します。

#### 環境政策論

環境問題に関する基本的な政策の動向について、政策の状況、問題の現状と課題について解説します。環境問題と環境政策の動向について把握するとともに、脱炭素社会など関連するキーワードの内容を理解できるようになることを目標とします。

#### 比較政治

比較政治学の展開及びその源流の検討を踏まえ、巨視的理論を中心に、様々な政治形態を概説し、その中で日本の政治の特色を説明します。特に、憲法と政治の関係や政治体制について理解し、日本政治の特色を自ら考えて発言することを目指します。

学ぶ楽しさを伝える  
教育者の育成

# 教育学部

Faculty of Education

学校教員養成課程 | 小学校コース

学校教員養成課程 | 中学校コース

学校教員養成課程 | 小中専門教科コース

学校教員養成課程 | 英語教育コース

学校教員養成課程 | 特別支援教育コース

学校教員養成課程 | 乳幼児教育コース

学校教員養成課程 | 養護教諭コース

千葉大学教育学部では、時代のニーズと変化に対応できる指導的立場に立つ教員の更なる育成を目指し、小学校、中学校、小中専門教科、英語教育、特別支援教育、乳幼児教育及び養護教諭の7つのコースを編成し、教員養成を行っています。異なる専門コースがある環境で学生たちは互いに刺激し合いながら学ぶとともに、総合大学の強みを活かした多彩な分野の教員が指導に当たっています。本学部を卒業した学生は、教員採用試験においても安定した合格率を維持しています。

## 教育学部の特徴

### 充実した教育実習と学校体験で 学ぶ楽しさを伝える教師を目指す

教育学部では、ただ教員免許を取得するだけでなく、「よい教師」を目指すための指導とカリキュラムが用意されています。大きな特徴は、1年次から4年次までの各学年で教育実習を実施していることです。さらに学校現場では、教育活動を体験する授業も多く用意されており、教師としての実践力を養います。4年間を通じて子どもたちに学ぶ楽しさを伝えることのできる教師を目指します。

### 校種・教科を越えた 複数免許が取得できる

学校現場では、幼稚園と小学校との連携や、小学校と中学校との連携といった、校種を越えた連携や、教科を越えた連携の重要性が指摘されています。教育学部では、多くのコースで複数免許を取得して卒業するカリキュラムを用意し、校種連携や教科連携に対応できる教員や保育士を養成しています。

### 現代の課題に対応する多数の授業 科目で実践力と応用力をつける

教育学部では、附属幼稚園・附属小学校・附属中学校が学内に隣接し、附属特別支援学校も千葉市内に近接しています。その立地条件を活かし、大学と附属学校園を行き来する授業が設けられており、実践力の強化をきめ細かく進めることができます。また、学校でのニーズの高い小学校英語教育、特別支援教育（インクルーシブ教育）等の大学独自の教科群があり、現代の課題に対応できる力を身に付けることができます。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 西千葉キャンパス

## 学校教員養成課程

# 小学校コース

## 専門性が高く、さらに英語や道徳にも 自信を持って対応できる教員を目指す

小学校コースでは、国語科選修、社会科選修、算数科選修、理科選修、教育学選修、教育心理学選修、技術・ものづくり選修の7つの選修に分かれて学習し、全ての教科に対応できる力を身に付けることはもちろんのこと、その中でもとくに一つの教科等に強みを持った小学校教員の養成を目指します。

### コースの紹介・特色

小学校コースでは、教育の基礎的理解に関する科目により、教育の原理や思想・歴史、教員の使命や職務の意義等の理解を深めながら、小学校の全ての教科及び教科の指導法を学び、小学校教員に必要な知識・技能を修得します。また、それぞれ所属の選修に関する科目を履修し、当該教科等の学びを深めます。さらに、英語を現場で自信を持って教えることができるよう、小学校英語に関する科目が多数用意されているほか、道徳に関する科目や、国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な教育課題に対応する科目も豊富に用意されており、興味・関心に応じて履修することができます。

#### 小学校コースの選修

国語科選修、社会科選修、算数科選修、理科選修、教育学選修、教育心理学選修、技術・ものづくり選修

#### 教育実習

- 1年次：スタート・アップ実習
- 2年次：プレ実習
- 3年次：コア実習4週間（附属小学校または実習協力校）
- 4年次：フォロー・アップ実習、教育実習総合討論

#### 卒業と同時に取得する（必須の）教員免許状

・小学校教諭一種免許状

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

新入生セミナー、授業研究入門、発達と学習の心理学、特別支援教育の理論と方法、総合的な学習の時間の指導法、学校教育実践の基礎演習、小学校セレクト実習、教育ボランティア研修Ⅰ、教科に関する専門的事項（9教科）

#### 2年次

特別活動の理論と実際、各教科の指導法（10教科）、教科に関する専門的事項（9教科）、教育実習事前指導（プレ実習）、教育ボランティア研修Ⅱ、小学校英語指導技術、教育英語、専門英語（理科）

#### 3年次

道徳教育の理論と方法、生徒指導・教育相談の理論と実際、各教科の指導法（10教科）、教育実習（コア実習）、教育ボランティア研修Ⅲ、小学校英語特論、第二言語習得理論

#### 4年次

教育実習事後指導（フォロー・アップ実習）、教職実践演習、教育ボランティア研修Ⅳ、卒業論文

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 小学校社会

小学校社会科の授業づくりに不可欠な内容について、理解を深めます。「小学生の空間認識の発達過程」「身近な地域の歴史や先人の働き」「人間の生活と経済活動との関係」などを取り上げ、複数の教員がオムニバス形式の授業を行います。

#### ICT授業実践入門

生成AIやデジタル教科書、実物投影機など多様な事例を学び、体験を通して学校教育におけるICT活用の意義や課題の理解を深めます。さらに、模擬授業を通じて指導力を高め、ICTの実践的な活用方法を身につけていきます。

#### 小学校理科教育法

小学校の理科教育について、多角的に学びます。小学校理科授業およびそれを取り巻く様々な環境について現状と課題を把握しながら、理科教育学の基礎的知見を検討する中で、理科授業づくりや評価の方法について習得することを目指します。

## 学校教員養成課程

# 中学校コース

## 教科の高い専門性を持ち 他教科との連携も視野に入れた教員を目指す

中学校コースでは、国語科教育分野、社会科教育分野、数学科教育分野、理科教育分野、技術科教育分野の5つの分野に分かれ、少人数教育による学習を進めることにより、高い専門性を持った中学校教員を養成します。専門とする教科の中学校教諭一種免許状のほかに、他教科の中学校教諭二種免許状または特別支援学校教諭二種免許状を取得することで、社会のニーズに応え現代的な課題に対応できる教員を目指すことができます。

### コースの紹介・特色

中学校コースでは、教育の基礎的理解に関する科目により、教育の原理や思想・歴史、教員の使命や職務の意義等の理解を深めながら、所属分野が開講する多様な授業科目から教科及び教科の指導法を学び、高い専門性を持った中学校教員に必要な知識・技能を修得します。各コースには、教科の内容と教育法との横断的な科目も用意されており、小人数を活かしながら実践的に教える力を身に付けることができます。

また、本コースの特色として、専門教科の中学校教諭一種免許状のほかに、他教科または特別支援学校教諭の二種免許状（第2免許）の取得が必須となっており、当該教科等の教科及び教科の指導法等を同時に学んでいきます。

#### 中学校コースの分野

国語科教育分野、社会科教育分野、数学科教育分野、理科教育分野、技術科教育分野

#### 教育実習

1年次：スタート・アップ実習

2年次：プレ実習

3年次：コア実習4週間（附属中学校で1週+3週）

4年次：フォロー・アップ実習、教育実習総合討論

※第2免許で特別支援学校教諭二種免許を選択した場合、上記のほか、2週間の障害児教育コア実習が必要です。

#### 卒業と同時に取得する（必須の）教員免許状

・中学校教諭一種免許状（所属分野の教科）

・中学校教諭二種免許状（所属分野以外の教科）

または特別支援学校教諭二種免許状

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

新入生セミナー、授業研究入門、教育基礎論、発達と学習の心理学、特別支援教育の理論と方法、当該教科の指導法、当該教科に関する専門的事項、第2免許の教科の指導法、第2免許の教科に関する専門的事項、学校教育実践の基礎演習、中学校セレクト実習、教育ボランティア研修Ⅰ

#### 2年次

教育方法・技術、当該教科の指導法、当該教科に関する専門的事項、第2免許の教科の指導法、第2免許の教科に関する専門的事項、教育ボランティア研修Ⅱ、教育英語、専門英語（理科）、教育実習事前指導（プレ実習）

#### 3年次

道德教育の理論と方法、進路指導の理論と実際、当該教科の指導法、当該教科に関する専門的事項、第2免許の教科の指導法、第2免許の教科に関する専門的事項、教育ボランティア研修Ⅲ、教育実習（コア実習）

#### 4年次

教育実習事後指導（フォロー・アップ実習）、教職実践演習、教育ボランティア研修Ⅳ、卒業論文

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 技術科教育法

中学校技術科の教材研究の一環として、3Dプリンタやレーザーカッターなどを駆使して、日常生活をより豊かにする製品を実際に設計・製作します。実践的な活動を通して、ものづくりの技能を高めると同時に、教材開発の力量も高めます。

#### 国語科教育概論

中学校国語科の目標・内容・方法に関する理解を深め、国語科教員としての実践力を養うことを目的としています。教科書で扱われている言語活動に自ら取り組むなど、「活動を通して言葉を学ぶ」ことを意識した活動をふんだんに盛り込んでいます。

#### 発達と学習の心理学

教育に携わる者として知っておくべき、心身の発達に関する理論や、心理学における学習の基本的な概念やメカニズムを学び、学校教育における応用の仕方や、ケース事例への対応の仕方について議論を行います。

## 学校教員養成課程

# 小中専門教科コース

## 高い専門性を活かし

## 小学校と中学校の連携も図れる教員を目指す

小中専門教科コースでは、小学校及び中学校で専門性が求められる教科である音楽科、美術科（図画工作）、保健体育科、家庭科に特化して、高い実技力や専門性を有する小学校及び中学校教員を養成します。本コースの大きな特徴は、すべての学生が小学校教諭免許と中学校教諭免許の両方の免許状を取得することです。小学校と中学校との有機的な連携を図り、教科の専門性を身に付けつつ、複合的な視野を持った教員を目指します。

### コースの紹介・特色

専門教科に特化した小中専門教科コースでは、講義科目のみならず実技・演習・実習科目を多く開講しており、小学校及び中学校に関する教科及び教科の指導法を広く学びながら、校種によらない高い実技力や専門性を身に付けます。

本コースの特色は、学生がA選択またはB選択に分かれて学ぶことです。A選択では、小学校教員養成に重点を置き、小学校教諭一種免許状と所属する教科の中学校教諭二種免許状を、B選択では、中学校教員養成に重点を置き、所属する教科の中学校教諭一種免許状と小学校教諭二種免許状を、それぞれ卒業時に取得します。

#### 小中専門教科コースの教育分野

音楽科教育分野、図画工作・美術科教育分野、保健体育科教育分野、家庭科教育分野

#### 教育実習

1年次：スタート・アップ実習

2年次：プレ実習

3年次：コア実習4週間（A選択は小学校、B選択は中学校）

4年次：コア実習2週間（A選択は中学校、B選択は小学校）

フォロー・アップ実習、教育実習総合討論

#### 卒業と同時に取得する（必須の）教育免許状

・A選択：小学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状（所属分野の教科）

・B選択：小学校教諭二種免許状、中学校教諭一種免許状（所属分野の教科）

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

新入生セミナー、授業研究入門、教育基礎論、発達と学習の心理学、特別支援教育の理論と方法、教育課程論、総合的な学習の時間の指導法、学校教育実践の基礎演習、小学校教科に関する専門的事項

#### 2年次

教育方法・技術、小学校各教科の指導法、小学校教科に関する専門的事項、中学校当該教科の指導法、中学校当該教科に関する専門的事項、教育実習事前指導（プレ実習小学校・中学校）

#### 3年次

道徳教育の理論と方法、生徒指導・教育相談の理論と実際、小学校各教科の指導法、中学校当該教科の指導法、中学校当該教科に関する専門的事項、教育実習（コア実習4週間 小学校・中学校）

#### 4年次

教育実習事後指導（フォロー・アップ実習小学校・中学校）、教職実践演習、教育実習（コア実習2週間 中学校・小学校）卒業論文

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### デザイン基礎演習

1.課題発見 2.リサーチ 3.アイデア・コンセプト立案 4.表現 5.評価 といった一連のデザインプロセスを学びます。これはあらゆる創造活動のプロトタイプの一つであり、図画工作・美術教科指導における「創造性の育成」の体得につながります。

#### 保健体育科教育Ⅱ（教材・教授）

保健体育における効果的な教材・教授方法について理論的・実践的に学び、実際に教具を作成して模擬授業を行います。さらに、自身の模擬授業について、どのような行動・発言をしていたかを分析し、授業実践能力を高めます。

#### 小学校音楽科教育法、 小学校家庭科教育法

それぞれの専門教科における指導法の基礎について理解を深めます。音楽科では、共通教材の歌唱や音楽づくりなど、家庭科では、小学生がよりよい生活をつくっていけるような授業づくりを教育理論や実践を通して学びます。

## 学校教員養成課程

# 英語教育コース

## 国際的な視野を持った 英語教育のリーダーとなれる教員を目指す

英語教育コースでは、即戦力人材として小学校、中学校または高校の教員となって、子どもたちの英語力と国際感覚を養うことのできるリーダーを養成します。1年次から継続して行われる英語トレーニングの授業と留学や海外研修などにより、自らの英語力の向上を目指すのはもちろんのこと、多様な授業科目により小学校及び中学校または高校で英語を教える力を磨き、さらに国際理解教育を担える教員を育成します。

### コースの紹介・特色

英語教育コースでは、専門教科としての中学校英語において、その指導法の修得に加え、英語学、英語文学、英語コミュニケーション、異文化理解の枠組みの中から、中学校、高校教員として必要な専門知識をバランスよく学びます。また、小学校英語において、児童の発達段階を踏まえた教育の指導法や教科としての小学校英語を学びます。

学生はA選択またはB選択に分かれて履修します。A選択は小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状(英語)を、B選択は中学校教諭一種免許状(英語)と小学校教諭二種免許状をそれぞれ取得します。また、希望と追加の履修により他方の校種の一種免許状の取得、さらには高等学校教諭一種免許状(英語)の取得も可能です。

#### 教育実習

1年次：スタート・アップ実習

2年次：プレ実習

3年次：コア実習4週間(A選択は小学校、B選択は中学校)

4年次：コア実習2週間(A選択は中学校、B選択は小学校)

フォロー・アップ実習、教育実習総合討論

#### 卒業と同時に取得する(必須の)教育免許状

・A選択：小学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状(英語)

・B選択：小学校教諭二種免許状、中学校教諭一種免許状(英語)

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

新入生セミナー、授業研究入門、発音トレーニング、Writing I、英語文学セミナー I、英語文学通論、English Communication

#### 2年次

英語科教育法総説、英語学概論、英語文学概論、Understanding Other Cultures: Basic、英語科教育法 I、英語科の専門的基盤(英語文学)、Writing II、小学校英語指導技術、小学校英語実践、教育実習事前指導(プレ実習小学校・中学校)

#### 3年次

英語科の専門的基盤(英語学特論)、応用言語学、Presentation&Discussion、Understanding Other Cultures: Advanced、小学校英語特論、第二言語習得理論、英語科教育実践研究 A・B、教育実習(コア実習4週間 小学校・中学校)、学術英語

#### 4年次

英語科の専門的基盤(Academic Writing)、英語科教育法 II、教育実習事後指導(フォロー・アップ実習小学校・中学校)、教職実践演習、教育実習(コア実習2週間 小学校・中学校)卒業論文

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 小学校英語実践

本科目では、市内の公立小学校を訪問し、学生自身が計画した授業案で外国語活動の授業を実践します。教科書をなぞるだけではなく、目の前の子どもたちに合った活動を組み立てることで、学習者の理解に応じた瞬時の対応を学びます。

#### 発音トレーニング

英語教師として学習者の手本となれるように、英語の発音を基礎から学ぶ授業です。英語と日本語の発音の違いについて知り、自分の発音を修正する力を身に付けます。さらに、英語らしいリズム、イントネーションを練習します。

#### 英語教育工学

この授業では、英語教育におけるAI活用を学びます。生成AIを教育現場で活用するにはどうすればよいでしょうか。機械翻訳を効果的に活用するコツは何でしょうか。こうした疑問に対し、グループワークを通して検討していきます。

## 学校教員養成課程

# 特別支援教育コース

## 特別支援学校に加えて、特別支援学級や通級指導教室、 また通常学級で一人一人に合わせた教育を行う

特別支援教育コースでは、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）の教育を担える教員を養成します。また、社会が大きく変化中、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒が増えていることから、特別支援学校での教育だけでなく、小学校・中学校等の特別支援学級や通級指導教室、通常学級での教育も担えることを視野に入れた専門的知識、技能を身に付けます。

### コースの紹介・特色

本学部特別支援教育コースにおいて取得することができる特別支援学校教諭免許状の領域は、「知的障害者」、「肢体不自由者」及び「病弱者」の三領域です。これら領域を中心として、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育を行うために必要な専門的知識や技能を学びます。

本コースでは、特別支援学校教諭一種免許状を取得するほか、その基礎資格として、小学校教諭一種免許状を取得します。

#### 教育実習

1年次：スタート・アップ実習

2年次：障害児教育プレ実習

障害児教育コア実習Ⅰ 1週間（附属特別支援学校）

3年次：障害児教育コア実習Ⅱ 3週間（附属特別支援学校）

基礎資格コア実習4週間（小学校）

障害児教育フォロー・アップ実習

4年次：教育実習総合討論

#### 卒業と同時に取得する（必須の）教育免許状

・特別支援学校教諭一種免許状

・（基礎資格として）小学校教諭一種免許状

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

新入生セミナー、特別支援教育概論、知的障害心理・生理・病理Ⅰ・Ⅱ、肢体不自由心理・生理・病理Ⅰ・Ⅱ、病弱心理・生理・病理Ⅰ・Ⅱ、LD等・重複障害総論Ⅰ・Ⅱ、視覚障害教育総論Ⅰ・Ⅱ、聴覚障害教育総論Ⅰ・Ⅱ

#### 2年次

障害児教育課程論、知的障害教育学Ⅰ・Ⅱ、肢体不自由教育学Ⅰ・Ⅱ、病弱教育学Ⅰ・Ⅱ、通常学級における特別支援教育Ⅰ・Ⅱ、特別支援学級の子どもの理解と支援、障害児教育実習Ⅰ

#### 3年次

障害児教育実習Ⅱ、知的障害心理検査法演習、知的障害教育演習・心理演習、肢体不自由教育演習・心理演習、病弱教育演習・心理演習

#### 4年次

卒業論文、教職実践演習

※特別支援教育コースでは、基礎資格として小学校教諭一種免許状を取得するため、上記のほか、基礎資格免許の取得に向け、小学校コースのカリキュラムを履修します。

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 特別支援教育概論

特別支援学校教員免許状の必修科目として位置づいています。特別支援教育教員養成における全ての科目の最も基本となる講義で、教育理念・制度・歴史をはじめ、各種障害についての教育・心理・生理・指導法について概説しています。

#### 肢体不自由心理・生理・病理

一般的な乳幼児がたどる運動発達を確認しながら、身体の動きがどのような営みに支えられているのかを学びます。また肢体不自由児の抱える身体のニーズと、言語や社会性など、他の発達領域との関係について、事例を交えながら考えます。

#### 知的障害心理検査法演習

障害名にかかわらず、児童生徒の実態やニーズはそれぞれ大きく異なります。この授業では、検査を通して子ども達の実態を理解する術を学び、学校や家庭での支援に繋げていく方法を実践的に学びます。

## 学校教員養成課程

# 乳幼児教育コース

## 人生の基盤となる乳幼児期の教育を担い、 幼保小の円滑な接続を実現する教員を目指す

乳幼児教育コースでは、生涯にわたる人格形成及び学校教育の基礎としての乳幼児期の教育、ならびに乳幼児期の発達に関する専門的な理論・知識を学び、高度な実践力を養います。幼児教育と小学校教育との円滑な接続を目指し、新たな教育的課題に積極的に取り組む姿勢と問題解決能力を有する教員を養成します。

### コースの紹介・特色

乳幼児教育コースでは、乳幼児期の教育と発達に関する専門的な理論・知識及び高度な実践力を有する教員を養成します。理論と実践を調和させたカリキュラムを通じ、人生の基盤となる質の高い乳幼児教育と、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を実現できる実践力、研究力を養います。幼児教育学、幼児心理学、保育内容学等の授業では、附属幼稚園での観察や実験、ミュージカルの創作実演など、実践現場と緊密に連携しています。

本コースでは、幼稚園教諭一種免許状と小学校教諭二種免許状を取得します。また、保育士資格を取得することも可能です。

#### 教育実習

- 1年次：スタート・アップ実習①
- 2年次：スタート・アップ実習②
- 3年次：プレ実習、コア実習①3週間（附属幼稚園）  
フォロー・アップ実習①
- 4年次：コア実習②2週間（附属幼稚園）  
フォロー・アップ実習②  
教育実習総合討論

#### 卒業と同時に取得する（必須の）教育免許状

- ・幼稚園教諭一種免許状
- ・小学校教諭二種免許状

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

保育・幼児教育学概説、発達心理学、子どもと表現Ⅰ（音楽表現）、保育内容「環境」の指導法、保育内容「健康」の指導法、保育・幼児教育総合指導法、保育・教育者論

#### 2年次

臨床発達心理学、保育・教育臨床相談、幼保小教育の連携と接続、子どもと健康、子どもと環境、子どもと児童文化財、子どもと表現Ⅲ（造形表現）、保育内容「表現」の指導法、保育内容「人間関係」の指導法、保育内容「言葉」の指導法、乳児保育

#### 3年次

発達心理学演習、子ども理解の理論と方法、幼児教育の理念と実践、子どもと人間関係、保育・幼児教育研究法、発達心理学実験、発達心理学データ解析、子どもと表現Ⅱ（身体表現）、保育内容総論Ⅰ・Ⅱ、保育・子育て支援実践演習、インクルーシブ保育

#### 4年次

幼児教育学専門演習、幼児心理学専門演習、保育実践学専門演習、保育内容学専門演習、幼児音楽論専門演習、教職実践演習、卒業論文

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 保育・幼児教育学概説

近代以降の日本及び西欧の保育・幼児教育、子育ての歴史（思想、制度、実践）について学びます。本授業での学びが保育・幼児教育の理解の基盤となることを目指しています。グループでの対話や課題文献の発表を行い、理解を深めます。

#### 発達心理学実験

心の発達を研究するための基本的技法（実験法、観察法、検査法、調査法）を学びます。学生同士で様々な実験等を行うだけでなく、附属幼稚園に出向き、「幼児を対象として実験等も行う」といった、国内では希少な実験実習を行う授業です。

#### 子どもと表現Ⅰ（音楽表現）

幼児の音楽表現の発達や環境の構成、保育者の役割について学びます。実践的音楽活動と幼児の事例検討の往還によって、総合的に指導する実践力を磨きます。3年次に取り組む幼児向けミュージカルはこうした表現の学びの集大成となります。

## 学校教員養成課程

# 養護教諭コース

## 児童・生徒の成長を心と体の両面から支える教員を目指す

養護教諭コースでは、発育・発達段階に応じた児童・生徒の健康と成長を支援できる専門性の高い養護教諭を養成します。とくに、養護教諭は児童・生徒とのかかわりや教職員との連携が重要であることから、様々な活動や体験を通して教養豊かで社会常識を持ち、豊かな感性と柔軟なものの見方、コミュニケーション能力を身に付けた養護教諭を目指します。

### コースの紹介・特色

養護教諭コースでは、学校保健や養護概説など、養護に関する科目を学び、養護教諭としての基礎知識・技能を身に付けるとともに、小学校や中学校での実習に加え、千葉大学医学部附属病院での臨床実習を行うことで、医療や介護の活動や役割を学び、実践力を身に付けます。また、健康教育に関する科目を学び、健康教育を行う力や保健の授業を担当する力を身に付けます。

本コースでは、養護教諭一種免許状を取得するほか、わずかな履修の単位により中学校教諭一種（保健）、高等学校教諭一種（保健）の免許状を取得することができます。

#### 教育実習

1年次：スタート・アップ実習①

2年次：スタート・アップ実習②

3年次：プレ実習

4年次：コア実習①2週間（小学校・中学校等）

コア実習②2週間（小学校・中学校等）

フォロー・アップ実習、教育実習総合討論

※副専攻で中学校教諭一種（保健）を取得しようとする場合、別途、中学校での教育実習が必要です。

#### 卒業と同時に取得する（必須の）教育免許状

・養護教諭一種免許状

### カリキュラム（主な専門科目）

#### 1年次

新入生セミナー、医学概論、教育基礎論、教職概論、小児保健学、学校保健、解剖学、人間機能学、微生物学

#### 2年次

受胎・発育・成長、衛生学及び公衆衛生学、衛生行政、保健行動概論、養護実践学概論、学校ヘルスプロモーション論、養護活動演習、精神保健学、小児科学Ⅰ、外科学・整形外科学、養護教諭と看護、健康教育論、環境と健康に関する学習

#### 3年次

保健統計学、口腔保健学、保健指導の理論と実際、学校保健情報処理、養護活動特別演習、健康相談活動Ⅰ、思春期精神保健学、眼科学、耳鼻咽喉科学、皮膚科学、内科学、学校救急処置活動、学校看護実習Ⅰ・Ⅱ、臨床実習、保健科教育演習、性教育、からだの学習

#### 4年次

養護実習、教職実践演習、健康相談活動Ⅱ、卒業論文

### 授業紹介

#### 受胎・発育・成長

健康に生きていくうえで「時間軸」を考えることは重要です。生命の時間における変化を学び、これがどのようにコントロールされるのかを遺伝子、細胞、体という観点から考えます。そして将来にわたる健康について考える基礎を身に付けます。

#### 学校救急処置活動

学校における救急体制・児童生徒に多い傷病についての知識・救急処置や対応技術を学びます。具体的な事例に基づいたロールプレイ演習を通して、医療的および教育的側面から救急処置の過程を理解し、的確な判断と処置能力を身に付けます。

#### 健康相談活動Ⅰ・Ⅱ

養護教諭の行う相談活動の基礎的な内容を学びます。加えて、養護教諭役・子ども役に扮して行う寸劇をビデオ撮影し、その映像を繰り返し視聴しながら行う議論を通じて子どもの気持ちや変化に気づくための実践的な資質・能力を身に付けます。

カリキュラムツリー▶



新しい発想と探究心を友とし、  
自然界の未知なる分野を拓こう

# 理学部

Faculty of Science

数学・情報数理学科

物理学科

化学科

生物学科

地球科学科

理学部が対象とする基礎科学は、私たちの世界を成り立たせている自然の謎を解明していくものです。本学部では、「知りたい」という純粋な欲求を原動力に、過去から脈々と受け継がれてきた真理の発見に挑戦していきます。入学後は、科学の基礎を学んだうえで、幅広い分野から自分の専門を選び、探求します。専門と教養のバランスのよい教育課程によって、社会で科学を適切に応用するための倫理観や価値観、そして問題解決能力も養います。

## 理学部の特徴

### 必修科目を学習し、 専門分野を学ぶ基礎を固める

各学科には多様な分野で最先端の研究を進める教員がいます。理学の専門的な内容を学ぶためには、その土台となる基礎の学習が必要です。このため、1～2年の必修科目で、理学の基礎を学びながら、より深く学びたい分野を探し当てていきます。学生と教員の距離は近く、気軽に研究内容を聞くこともできるので、研究者の思考法や実験に取り組む姿勢に触れることで、研究に取り組む姿勢が身に付きます。

### 社会で通用する 論理的な思考を身に付ける

数学・情報数理学、化学、生物学、物理学、地球科学。理学部が対象とする分野はどれも密接に関係しながら発展を遂げてきました。重要な科学的な発見は、限られた分野だけでなく、幅広い領域の科学の発展に寄与するのです。しかし、科学的な発見が領域を越えた真理として共有されるには、論理的な裏付けが必要です。千葉大学理学部では論理的な思考法を徹底的に学びます。物事を論理的に考える力は、研究職だけでなく社会のあらゆる分野で応用できます。

### 倫理観の高い、 社会のリーダーを育成する

科学は使い次第で人々の暮らしを脅かすものになりえます。理学を学び、応用する者には高い倫理観が求められるのです。千葉大学理学部では、普遍教育と専門教育のバランスを重視し、理学者としての倫理を養います。また、自分の専門領域が地球規模ではどのような位置にあり、いかにして持続可能な社会の発展のために役立てられるかも学んでいきます。高度な知識を持ちつつ、科学と社会の仲立ちとなるようなリーダーを育成します。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 西千葉キャンパス

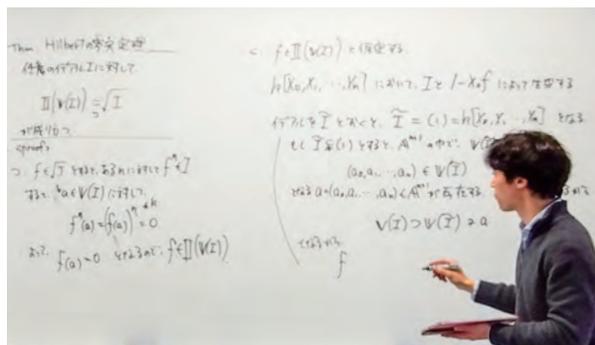
# 数学・情報数理学科

## 数学的思考によって自らの価値を高め、 社会の諸分野で活躍しよう

数学と情報数理の両方が一つの学科になっているところが、千葉大学の数学・情報数理学科の特長です。数学についての深い素養を持ち、計算機およびソフトウェアの基盤となる情報数理についての高度な知識も合わせ持つ人材を養成します。

### 学科の紹介・特色

カリキュラムにおいて、数学と情報数理の基礎の部分は1・2年次で共通に学び、3年次から、数学コース(約8割)、情報数理学コース(約2割)に分かれ、より専門的な講義を履修します。4年次になると、少人数(4人程度)のグループに分かれて卒業研究が行われ、各指導教員のもとで、学部4年間の勉強の仕上げや高度な勉学の基礎固めとともに、議論や発表の訓練も行います。



セミナー風景(卒業研究)

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

微積分学、線形代数学、数学・情報数理学基礎セミナー、数学の基礎、プログラミング、情報システム基礎論、情報学演習

#### 2年次

微積分学統論、線形代数学統論、代数学、代数学演習、位相空間論、位相演習、統計学、コンピュータ数理学、計算機科学概論、データ構造概論

#### 3年次

代数学統論、幾何学、トポロジー、複素関数論、現代解析、微分方程式論、多様体論、数理統計学、確率論、情報数学、プログラミング言語論、ソフトウェア演習、符号理論

#### 4年次

卒業研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 代数学統論

体とガロア理論を学びます。ガロア理論から5次以上の方程式には解の公式が存在しないことが分かります。

#### プログラミング

プログラム言語Pythonの文法とこの言語を用いて書かれたプログラムを理解し、プログラムを書くことを通して、計算機プログラムの実際を理解し、論理的思考を学ぶことを目的とします。

#### 卒業研究

専門分野に関する専門書や論文を読んで、その分野に対する理解を深めるとともに、それをプレゼンする能力を身に付けます。専門の文献を、細部まで興味さなく読み込むとはどういうことかを経験として理解できるようになることが目的です。

# 物理学科

## 幅広い物理学の基礎知識と 創造性豊かな科学的思考力を身に付けよう

物理学は素粒子から宇宙までの広範な自然現象を対象としています。このような幅広い内容に対応できるよう9つの教育研究分野が作られ、最先端の研究ときめ細かな教育が行われています。

### 学科の紹介・特色

物理学の基礎科目の講義と演習、および実験指導が、きめ細かく整備されたカリキュラムに基づいてなされています。また、物性物理学、原子核物理学、素粒子物理学、宇宙物理学といった専門的な講義、および物理学に必要な数学などの講義が数多く開講されています。さらに4年次には、希望する分野の研究室に所属し、各専門分野の研究指導を少人数教育の形で受けることになります。なお、早期卒業制度があり、成績優秀者は3年で卒業することも可能です。



新入生研修旅行での講演の様子

### カリキュラム(主な専門科目)

1年次	現代物理学、物理数学、力学基礎、電磁気学基礎、物理学基礎実験、微積分学、線形代数学
2年次	物理数学、力学、電磁気学、熱・統計力学基礎、量子力学基礎、計算物理学、物理英語、素粒子原子核基礎実験
3年次	量子力学、統計物理学、物理学実験、物性物理学、素粒子物理学、原子核物理学、宇宙物理学、特殊相対論、流体力学
4年次	卒業研究、物理学演習、力学特論、電磁気学特論、相対論特論、場の量子論入門、物性論特論

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 物理数学 I

物理学を学ぶために必須である数学の知識を修得するため、物理学科では「物理数学」として4つの必修科目を開講しています。特に、物理数学 I では、テイラー展開、微分方程式の解法、多重積分、ベクトル解析の基礎について学びます。

#### 物理学実験

基礎的な実験を通して実験機器の使用法とデータ処理法を学び、実験科学の基礎知識を身に付けます。光学、強磁性、超電導現象、磁気輸送現象、非線形現象、結晶構造解析、電気電子回路の7つのテーマを実施します。

#### 量子力学演習 I

量子力学の講義として量子力学 I・II を開講しており、習熟を図るためそれぞれ演習科目を設置しています。量子力学演習 I では、量子力学の基礎原理、波束の伝播、水素原子の電子状態、角運動量の量子力学的取扱いに関する演習を行います。

# 化学科

## 広い視野を持つ化学の専門家になり、 人類と国際社会に貢献しよう

物質の性質、構造、反応などの基本原理を追求するのが化学科です。当化学科では高校の理論化学をさらに発展させた物理化学分野、高校でなじみ深いさらに奥を究めた有機、無機、分析化学分野、それと生物と化学の境界領域である生物化学の分野の研究が行われています。

### 学科の紹介・特色

基盤物質化学と機能物質化学の2領域が互いに協力して教育・研究活動をしています。数多く実際の物質に触れることを目指し、1年次から4年次まで絶え間なく実験や演習を組み入れることにより、化学的なセンスの養成に力を注いでいます。1年次から専門的な化学の授業があり、2、3年次では応用分野に関連する授業や多くの実験・演習がカリキュラムに組み込まれています。最終年次では、先端的研究に触れることにより学生個々の能力をさらに伸ばすため、各研究室に所属し卒業研究を行います。



最先端の研究に取り組む様子

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

化学基礎セミナー、基本物理化学Ⅰ・Ⅱ、基礎無機化学Ⅰ・Ⅱ、有機化学概論、基礎有機化学

#### 2年次

物理化学実験Ⅰ、無機・分析化学実験Ⅰ、有機化学実験Ⅰ、生化学実験Ⅰ、物理化学演習Ⅰ-1・1-2、化学統計熱力学Ⅰ-1・1-2、化学統計熱力学Ⅱ-1・Ⅱ-2、量子化学Ⅰ-1・1-2、分析化学Ⅰ-1・1-2、無機化学Ⅱ-1・Ⅱ-2、錯体化学-1・2、分析化学Ⅱ-1・Ⅱ-2、有機化学Ⅰ-1・1-2、有機化学Ⅱ-1・Ⅱ-2、有機元素化学-1・2、蛋白質・核酸化学Ⅰ-1・1-2、蛋白質・核酸化学Ⅱ-1・Ⅱ-2、細胞生化学-1・2、酵素化学-1・2

#### 3年次

物理化学実験Ⅱ、無機・分析化学実験Ⅱ、有機化学実験Ⅱ、生化学実験Ⅱ、物理化学演習Ⅱ-1・Ⅱ-2、量子化学Ⅱ-1・Ⅱ-2、表面物理化学-1・2、物質結合論-1・2、分子分光学-1・2、物性化学-1・2、無機・分析化学演習Ⅰ-1・1-2、無機・分析化学演習Ⅱ-1・Ⅱ-2、有機化学Ⅲ-1・Ⅲ-2、有機化学演習Ⅰ-1・1-2、有機化学演習Ⅱ-1・Ⅱ-2、生化学演習Ⅰ-1・1-2、生化学演習Ⅱ-1・Ⅱ-2、生化学研究法-1・2、遺伝子生化学-1・2、免疫化学-1・2

#### 4年次

卒業研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 化学基礎実験

有機化学、無機化学、生物、物理化学の基礎となる実験を行います。具体的にはpHメーターによる中和滴定、UV吸収に基づく反応速度論の解析、アスピリンの合成、酵素アミラーゼによるデンプンの加水分解などに取り組みます。

#### 有機化学演習Ⅱ-1

有機化学において、ジエン・アリアル化合物、(ヘテロ)芳香族、カルボニル化合物に関して多様な性質、反応性を学ぶとともに演習問題を解くことで理解を深めます。その他、Diels-Alder反応や硫黄・リン・ハロゲンについても学びます。

#### 蛋白質・核酸化学Ⅰ

蛋白質と核酸の講義として一次構造及び高次構造について学ぶとともに、それらの生物学的役割についての分子レベル・化学反応レベルでの理解を深めます。Ⅰでは主に蛋白質について講義します。

# 生物学科

## 生命現象を分子から集団のレベルに至る 様々な視点でとらえよう

生命現象を理解するために、分子や細胞などのミクロなレベルから、生物個体や群集などのマクロなレベル、さらに時間軸を交えた発生や系統進化にわたる様々なレベルでの研究に取り組んでいます。

### 学科の紹介・特色

分子細胞生物学領域(ゲノム生物学、分子生理学、細胞生物学、発生生物学)と多様性生物学領域(生態学、系統学)の2つの研究領域に加え、海洋バイオシステム研究センターも研究や教育に密接に関わっています。1学年の定員は約40名と比較的少数であり、きめ細かい指導のもとで急速に発展している生物学に対応できる人材を育成しています。大学祭で開催する水族館は30年以上の歴史があります。



菅平高原での野外実習の様子

### カリキュラム(主な専門科目)

1年次	生命科学(1~6)、生物学セミナー、生物学基礎実験、生物学実験
2年次	分子生物学、生理化学、細胞生物学、発生生物学、系統進化学、生態学、生物学論文演習、発生生物学実験、分子遺伝学実験、細胞遺伝学実験、組織学実験、動物学臨海実験
3年次	進化発生学、神経科学、植物分子生物学、形態形成学、生理生態学、植物系統学、生物学総合演習、分子生物学実験、生理化学実験、細胞生物学実験、系統学実験、生態学実験、植物学臨海実験、遺伝子工学
4年次	分子生物学演習、生理化学演習、細胞生物学演習、発生生物学演習、生態学演習、系統学演習、水界生態学演習、卒業研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 生命科学

1年次の必修の授業で、複数の教員が担当してCampbell生物学(英文原書)の全章を1年間かけて学びます。生化学、細胞生物学、生態学、進化など最新の生物学を広く学ぶとともに科学英語を身に付けることも目的としています。

#### 生物学基礎実験B

1年次の必修の実習で、複数の教員が担当してタンパク質の分画、DNAの抽出、顕微鏡観察、解剖、野外での採集、スケッチ、統計解析、画像解析など、研究を行う上で必須の技術を広く学びます。一部の実習は大学外の施設で行います。

#### 生物学論文演習

3年次の必修の授業で、少人数に分かれて生物学の発展に大きく寄与した論文を読みます。論文で用いられている技術や結果から導かれた新しい概念などに関して議論を深める中で、卒業研究に取り組む姿勢を身に付けます。



# 地球科学科

幅広い地球科学の基礎知識と創造性豊かな思考力、  
国際性を身に付けよう

地球は46億年の歴史を持ち、今なお活発に活動し続けています。この地球の生い立ちから未来について、多様な観点と手法で研究しているのが地球科学科です。地形の形成や自然災害、水の挙動にともなう侵食・堆積作用や物質循環、地層の形成や生物進化、氷河の消長などの地球表層部での諸現象から、地球内部での構造形成や物質移動などの運動像の解析まで、幅広い研究と教育を行っています。

## 学科の紹介・特色

他大学の地球科学関連の学科と比較しても広い分野をカバーしており、地球についてもっと知りたい、自分の手で何か新しいことを明らかにしたい、というみなさんの興味にきっと応えられることとします。野外調査や船上観測も毎年多数行われており、実践的・専門的な能力を身に付けることができます。地球内部科学・地球表層科学・環境リモートセンシングの3領域で構成されています。



岩石鉱物学実験Ⅱ／偏光顕微鏡実習の様子

## カリキュラム(主な専門科目)

### 1年次

地球科学基礎セミナー、地球科学入門A・B、  
地学基礎実験A・D

### 2年次

岩石鉱物学概論Ⅰ-1・2、地球ダイナミクス概論-1・2、層序学概論-1・2、環境リモートセンシング概論-1・2、地表動態学概論-1・2、地球科学基礎数学-1・2、地球科学英語、地質調査法、地質学野外実験Ⅰ、地球科学基礎演習1・2、地球科学基礎実験1・2、地球科学・技術者倫理-1・2

### 3年次

岩石鉱物学実験Ⅲ、地球物理学実験Ⅱ、地史古生物学実験Ⅰ、雪氷学実験、地球化学実験、リモートセンシング・GIS実習、地質学野外実験Ⅱ

### 4年次

地球科学演習、卒業研究(3年次後期より開始)

カリキュラムツリー▶



## 授業紹介

### 地球科学入門B

地球科学の初修者を主な対象とし、地球表層で起きた(起きている)自然現象について幅広く学びます。現在、私たちが手にすることができる試料やデータを、どのように読み解いて利用するのか、地球科学的な考え方を身に付けます。

### 地学基礎実験A

1年次第1第2タームで履修する必修の地学基礎実験Aでは、実際に野外に出て岩石や地層の観察を行います。この実験では、野外での岩石や地層の特徴や含まれる物質の観察を行い、岩石や地層がどのような成り立ちでできたのかを考察します。

### 地質調査法

地質調査法は、地球科学科2年次に受講する必修の専門科目です。実際の地質調査の方法を学ぶのではなく、地質調査の結果に基づき、地表および地下に地層がどのように分布しているかを理解し、表現する方法を学ぶ実習形式の講義です。

# Science Promenade

## 千葉大学サイエンスプロムナード

サイエンス  
プロムナード  
Webサイト



### 科学を「見せる」、科学で「魅せる」ミニミュージアム

西千葉キャンパスにある理学部2号館の1階と3号館の一部には「サイエンスプロムナード」があります。千葉大学で行われている先端研究に関する展示や体験型の展示を通して科学への興味・関心を深めてもらうことを目的としています。平日や土日には現役の学生による展示物の解説を聞くこともできます。

#### 千葉大学のミニミュージアム

サイエンスプロムナードがあるのは理学部の建物ですが、展示の内容は工学部などに関連するものもあります。最新の技術に関するものから、中学・高校の教科書に載っているような物理現象を体感できるもの、生物の標本まで幅広い分野の展示を扱っています。また、3号館の中庭にある「フーコーの振り子」(写真)は日本でも最大級のものであり、当館最大の見どころの一つです。

#### サイエンスプロムナードの社会的役割

様々な情報があふれる現在の社会では、誰もが科学に対して関心を持つことが求められています。学外の人たちも含めた多くの人に、科学への興味を持ってもらう機会を提供することは、社会的な教育機関としての大学の重要な役割です。サイエンスプロムナードはその一翼を担う存在であり、最近では一般の人々が関心を持っている科学的なことについての情報発信なども行っています。

#### 現役の学生による運営

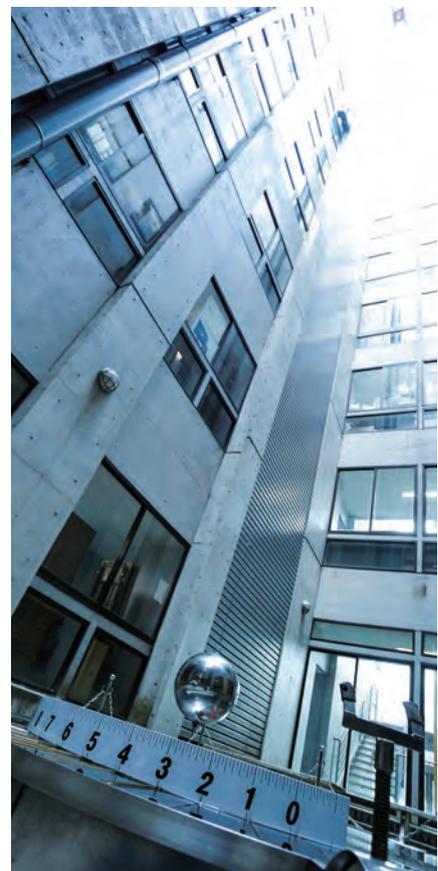
土曜日の午後には学生の有志が「学生スタッフ」として展示の解説を行っています。様々な学部の学生が活躍していますが、皆科学や博物館に深い関心を持っています。学生スタッフは展示の解説のみならず、展示物の管理をはじめとした運営にも携わっています。また、大学祭時には自主的な展示の作製なども行っています。このような取り組みは全国的にも珍しく、学生スタッフの存在はサイエンスプロムナードの大きな魅力のひとつです。

開館時間 平日/随時※X(旧Twitter @sci-pro)にてお知らせ  
土曜日/13:00-15:00(見学自由)

学生スタッフ対応時間 平日/随時※X(旧Twitter @sci-pro)にてお知らせ  
土曜日/13:00-15:00



▲サイエンス  
プロムナード  
X(旧Twitter)



フーコーの振り子

想像力で将来を担う  
技術を拓く

# 工学部

Faculty of Engineering

総合工学科 | 建築学コース

総合工学科 | 都市工学コース

総合工学科 | デザインコース

総合工学科 | 機械工学コース

総合工学科 | 医工学コース

総合工学科 | 電気電子工学コース

総合工学科 | 物質科学コース

総合工学科 | 共生応用化学コース



◀ 学部 Web サイト



◀ 学部パンフレット

● 西千葉キャンパス

千葉大学工学部では、よりよい社会を構築するための新たな技術を創造しています。建築物やロボットから画像やプログラムまで、幅広い分野で将来の社会を支える新しい「ものづくり」を担う人材を育てます。私たちの教育が目指す人材像は、グローバルに活躍できる高度専門職業人。知的な好奇心・探究心を基礎とした創造力を持ち、将来の社会で必要とされる「もの」を見極め、その実現のための技術をあきらめずに開拓する人材です。近年は半数以上の学生が卒業後大学院へ進学する傾向にあり、女子学生もたくさん活躍しています。

## 工学部の特徴

### 産業の将来を支える 多様な8コース

千葉大学工学部には「総合工学科」の下に8コースを設置し、多様な専門と価値観を持つ教員と学生が刺激し合いながら学んでいます。どのコースも将来を担う分野です。まず、産業の基礎を成す基幹工学分野である、建築学、デザイン、機械工学、電気電子工学といったコース。さらに将来的な成長の見込まれる複合・先端分野である、都市工学、医工学、物質科学、共生応用化学といったコースです。

### 関連分野をまとめた 3つの系

千葉大学工学部では、8コースを3つの系に分けています。2年進級時には、一定の制限はありますが、所属する系の中別のコースへの進級を希望することも可能です。ただし、別のコースへの進級を希望する場合には、面接により教育上の必要性を判断します。上述のとおり2年進級時に進路変更が可能のため、1年次の基礎科目は、8つのコースにおいて共通する部分が多くなっています。

### 震災復興をはじめ、 地元で根ざした研究活動

千葉大学工学部の研究は幅広い領域にわたっており、関東はもとより日本全国の地域と連携しています。特に、地元・千葉においては、自治体やその関係団体と緊密な連携を取って、産学連携を推進しています。また、地元において工学への要請があると強い協力体制が機動的に築かれます。2011年3月に発生した東日本大震災において千葉県は被災地となりました。県内各所で起きた液状化現象への対応、そして県内の防災マップの作成などで本学部が全面的に協力しています。そのほか震災復興に関する共同事業は20件以上あります。

総合工学科

# 建築学コース

## 芸術と技術の融合した建築物をつくる

人間の暮らしに不可欠な衣・食・住のうち、建築は、人間の住まいを創造する仕事です。社会基盤を構成する建築分野は、いつの時代においても不可欠であり、創造と進歩が常に求められる分野です。技術者教育プログラムを評価・認定する機関であるJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けているため、本コースの卒業生は技術士の一次試験が免除されます。所定の科目を履修することで、一級建築士試験の受験資格が得られ、多くの卒業生が一級建築士として活躍しています。

### コースの紹介・特色

建築学コースのカリキュラムは、歴史・設計・環境・設備・構造・生産など、多岐にわたります。建築を多面的に捉えられるように、3年次までは幅広い領域を学べるよう構成されています。建築設計カリキュラムでは、少人数制の演習を実践し、建築設計の授業では、建築作品を各自設計し、最後にそれを教員・学生の講評会で発表します。構造の授業では講義で知識を学ぶだけでなく、実際に構造物を製作し、その強さを予測した上で、実際に力を加え変形を調べるなど、構造物の強さを体感するプログラムになっています。



墨田サテライトキャンパスでの地元発表会の様子

### カリキュラム（主な専門科目）

1年次	世界建築史、構造力学、図学演習
2年次	建築設計、建築環境計画、都市環境デザイン、建築材料、材料力学、構造設計、建築構法、建築計画、日本建築史、建築デザイン基礎
3年次	建築設計、建築の保全と再生、建築史野外研修、建築設備計画、火災安全工学、建築施工、材料・構造実験、近現代建築論、都市地域デザイン
4年次	建築振動論、建築構造デザイン、建築設計、卒業設計、卒業論文

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 建築環境計画 I

建築物の室内の光音熱空気等の環境性能は、建築自体の設計に加えて外部空間の条件および室内での人の活動によってもたらされています。室内環境の不快感を防止するだけでなく、より快適にするための総合的な知識を学習します。

#### 建築設計

建築設計では、小規模で身近な住宅から、複合的で大規模な小学校等の設計課題を通し、用・強・美を備えた設計方法を学び、卒業設計では自ら課題を設定して設計提案します。いつでも利用できる充実した製図室で切磋琢磨しながら学びます。

#### 材料・構造実験

鉄筋コンクリート梁を作製し、型枠製作・鉄筋加工・コンクリート打込みの過程でその施工方法を学びます。材料試験を通して鉄筋とコンクリートの強度特性を理解し、作製した梁の加力実験を通してその強度と破壊性状を考察します。

総合工学科

# 都市工学コース

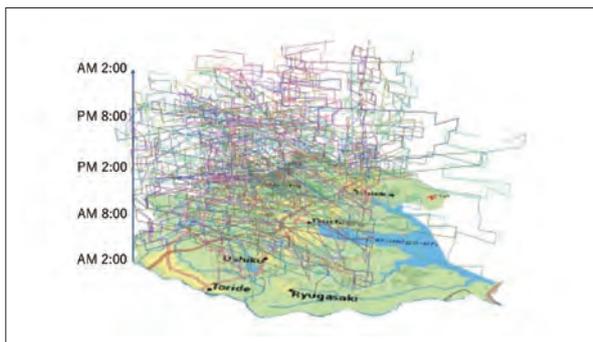
## 魅力ある都市を創る技術を拓く + 究める

持続的で豊かな都市の創造を目指して、探究心と総合的視野を持ちつつ、多様化する都市の課題に積極的に取り組む意欲のある人を求めています。

都市空間計画（ソフト系）、都市基盤工学（ハード系）の2つの領域から構成され、都市計画、住環境計画、交通計画、都市デザイン、都市情報、都市施設構造、都市防災、建設材料、水循環システム、都市エネルギー、リモートセンシングなどのテーマについて、2つの領域が密接に連携しながら教育と研究を進めています。

### コースの紹介・特色

都市生活の基盤となるハード対策、人と人とのコミュニティなどのソフト対策に関する工学的技術を幅広く学び、確かな専門性を身に付けることができるように、1) 現場での体験型演習や実験、2) 実社会との連携、3) 少人数による実践的トレーニング、4) 常に新鮮で実践に生きる知識、5) 国際交流の5つを重視して構成されています。



1日の人の移動軌跡の再現シミュレーション

### カリキュラム（主な専門科目）

1年次	工学基礎セミナーⅠ・Ⅱ、工学入門A、B、C
2年次	都市環境デザイン、都市計画、構造力学、測量学、水理学
3年次	都市空間工学演習、交通計画、数値計画法、振動工学、防災工学、都市情報処理、都市エネルギーシステム、通信工学概論
4年次	卒業研究（卒業計画）

※令和8年度入学者より、カリキュラムの変更を予定しています。  
詳細については、順次工学部ホームページで公開する予定です。

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 測量学

都市開発を行う上で測量技術は必須です。本授業では、誤差の扱い方から様々な測量の手法について学びます。また、最近の動向としてリモートセンシングなどの遠隔測定技術があり、その原理や応用例についても重点的に学習します。

#### 都市工学基礎演習

地理情報システムを用いた課題・研究発表、建物模型を用いた振動・破壊実験、エネルギー輸送に関する熱・物質輸送の基礎実験、ブレインストーミングや現地調査などによる「まちの地図」計画と、様々な都市に関する基礎的分析を行います。

#### 都市情報処理Ⅰ・Ⅱ

この講義では、Pythonによるプログラミングを通じて、都市に関わる諸問題に関する数値シミュレーションを実施します。確率・統計、デジタル信号処理、深層学習・機械学習(AI)について、実際の都市のデータを用いて学習します。

## 総合工学科

# デザインコース

## 感性と知性とを備えた世界のデザインをリードする人材の育成

2021年に創立100周年を迎え、「デザイン・リサーチ・インスティテュート(dri)」を立ち上げました。教育カリキュラムにおいては、“dri”の所属教員が中心となって、理論・技術の教授のみならず、イノベーション拠点である「墨田サテライトキャンパス」を活用しながら、リアル／バーチャル両面における多数のデザイン実践を行います。こうして、科学や技術に裏打ちされた人間性・芸術性豊かなデザイン能力を涵養し、世界のデザイン界をリードする人材を育成します。

### コースの紹介・特色

1年次は、専門教育の基礎となる講義や演習によって、デザインに求められる基本的知識や技術を身に付けます。専門教育においては、2年次から3年次までの2年間にわたって用意された、5つの演習科目群[工業デザイン、トランスポートデザイン、コミュニケーションデザイン、環境デザイン、デザイン科学]を通して、基礎から応用まで一貫した教育を体系的に学ぶことができます。4年次では、卒業研究・デザイン総合プロジェクトを自ら選んだ研究室に所属して実践し、1年間の時間をかけて自身のデザインの専門性を極めます。



墨田サテライトキャンパスで実施したデザイン活動報告と地域で実践している様子

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

図学演習、デザイン造形実習、統合デザイン演習、デザイン論、デザイン科学

#### 2年次

工業デザイン、トランスポートデザイン、環境デザイン、コミュニケーションデザイン、デザイン科学演習(以上5つの演習科目は3年次まで継続)、立体造形演習、形の工学、ヒューマンインタフェース論、デザイン材料

#### 3年次

デザイン数理解析論、色と形の心理学、環境人間工学、生活行動の心理学、プログラミング演習、デザイン文化計画演習、工学倫理

#### 4年次

材料計画演習、人間工学演習、卒業研究、デザイン総合プロジェクト

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### デザイン科学演習Ⅰ～Ⅳ

材料計画、意匠形態学、人間工学分野において、観察や発想、制作、実験などを必要とするさまざまな課題を、機械や電気、プログラミング、人体生理といった科学と工学の幅広い領域にまたがって解決していきます。

#### 工業デザインⅠ～Ⅳ

2、3年次を対象とした、プロダクト、UX、サービス、システムなど幅広いデザインに取り組む演習授業です。現場のデザイナーを講師として招き、最先端かつ実践的な課題、情報、技術を学び、新しいデザインの創造に取り組みます。

#### デザイン総合プロジェクト

デザインは人々の日常の活動に密着して価値を生み出します。卒業研究に位置づけられるこの授業は、個々の学生がデザインのテーマを持ってプロジェクトチームを作り、デザインを求める現場に向きあい、革新的なデザインを創出します。

総合工学科

# 機械工学コース

## 身の回りから最先端までのあらゆる機械の設計

工業製品の多くは機械工学技術によって製造されています。私たちの身の回りにある日常製品から遠い宇宙空間の製品まで、大型機械から原子サイズの構造物まで、輸送機械、情報機器、医療機械などは先端の機械工学を基にした製品です。物理、化学、生物学的な現象を工学に応用し、新しい学問分野を開拓することも機械工学の重要な使命です。まさに工学の最先端を担っているのが機械工学なのです。

### コースの紹介・特色

機械工学コースは、「プロ」の技術者、研究者を育成することを目的としています。そのためには、数学、物理学などの基礎科目を十分に修得したうえで専門科目を学びます。基礎的な科目は1、2年次で集中的に学ぶように配慮し、2年次から徐々に専門科目を勉強します。4年次になると各研究室に配属されて前述のいずれかの教育研究領域において、これまでの学習の集大成として卒業研究を行います。



機械工学実習の様子

### カリキュラム(主な専門科目)

1年次

微積分学、線形代数学、物理学(力学、電磁気学)、化学基礎

2年次

プログラミング、微分方程式、工業数学、解析力学、材料科学、鉄鋼材料、材料力学、熱力学、流体力学、基礎制御理論

3年次

機械振動学、塑性力学、連続体力学、非鉄金属材料、機械加工学、数値計算法、計測基礎論、バイオメカニクス、ロボット工学、機械工学実験・実習、機械設計製図、インターシップ、工学英語

4年次

自動車工学、卒業研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 基礎制御理論 I

制御工学では、産業用機械から家庭用電化製品、航空機、自動車、ロボットに至るまで、様々な機械の操作に必要な基本的な原理を扱います。多種多様な対象において共通する動特性を一般化することで、制御手法を数学的に導出します。

#### 機械工学実習

ものづくりの基本となる加工技術を実際に体験するとともに、加工工程を把握し、生産設計/計画を行うことのできるエンジニアセンスを育成します。具体的には、旋盤加工、フライス盤加工、アーク溶接、手仕上げといった加工法を習得します。

#### 機械設計製図

3年次までに学習した科目の集大成として、簡単な機械を設計します。構想した機械を、機構、強度、生産、経済性、環境など、さまざまな面から解析、検討の後、図面として具現化します。これを通して、設計方法の一連の工程を習得します。

## 総合工学科

# 医工学コース

## 医療・福祉・健康に寄与するエンジニアの養成

医工学コースでは、社会的要請に応える人材を少人数教育環境によって育成しています。数学や物理などの基礎科目を低学年で修得した後、高学年になるにつれて情報・電気電子・機械工学の技術体系を母体とする医工学分野の専門科目を学んでいきます。また、4年次では研究室に配属され、教員と話し合っただけで決めたテーマに沿って卒業研究に取り組みます。

### コースの紹介・特色

医工学コースの教育プログラムは、工学部の他コースはもとより、フロンティア医工学センター、医学部、看護学部、薬学部、理学部、文学部など、学内の様々な教育研究組織とも連携して実施されています。また、医工学コースには医学部附属病院の医師である教員も所属しており、医療現場を身近に感じながら実践的な教育を受けることができます。



内視鏡外科手術トレーニングシステムを体験する様子

### カリキュラム(主な専門科目)

1年次	物理学基礎実験、工学基礎セミナー、生体生理工学Ⅰ・Ⅱ、臨床医学概論
2年次	回路理論Ⅰ・Ⅱ、電子回路Ⅰ、プログラミング基礎、データ構造とアルゴリズム、プログラミング特講Ⅰ・Ⅱ、医工学実験Ⅰ
3年次	医工学実験Ⅱ・Ⅲ、システム制御工学Ⅰ・Ⅱ、医用画像機器工学、通信工学概論、感覚情報処理、デジタル画像処理、メカトロニクス工学、応用電磁工学、電子計算機、プログラミング設計、医用データ解析、情報理論、信号処理論、生体力学論、医用支援機器
4年次	卒業研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 生体生理工学Ⅰ・Ⅱ

人体解剖学および生理学の基礎を学び、医療機器開発や人間工学に基づく研究に向けた基礎作りをします。医師資格を持った教員が講義を担当し、近年注目されている医学的な話題についても解説します。

#### 医工学実験Ⅰ

医工学分野の研究・開発を進める上で主要要素となる生体計測、アナログ回路、プログラミング、製図について実験・演習を行います。医療現場で使用される診断装置に関する必要な知識を、実験・演習を通じて理解を深めることが目標です。

#### 医工学実験Ⅱ：亥鼻IPE

亥鼻キャンパスの医学部・看護学部・薬学部と共に専門職連携教育(IPE)を学習します。医学の歴史や現状を学び、入院患者へのインタビューを通じて、問題提起とその解決策について学部を超えた学生グループで議論します。

総合工学科

# 電気電子工学コース

## 電気電子工学の基礎学問から先端的应用分野まで

電気電子コースでは、基礎学問の素養を身に付けるとともに、他の分野や工学以外の異なるバックグラウンドの人材と協調して、新しい技術を創造できる学際的な素養を持った人材の養成を目指しています。研究組織は、電気システム工学、電子システム工学、情報通信工学の研究領域から構成され、世界トップレベルの研究教育拠点形成を目指して活発に活動しています。

### コースの紹介・特色

電磁気学、回路理論を出発点として、高度情報化社会の根幹を担う情報通信の分野から、文明社会を支えるエネルギー変換とその利用技術および様々な半導体集積回路や材料、最新の電子工学の発展に裏付けられたコンピュータハードウェアやロボット制御に至る分野までの、教育・研究を総合的に実践していきます。4年次に進級すると研究課題を選択して研究分野に所属し、教育に加え研究の第一線で活躍する教員のもとで知的興味を喚起される卒業研究を行います。



高性能なフレキシブル薄膜デバイス

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

電磁気学基礎1、プログラミングおよび実習、微積分学B1・B2、線形代数学B1・B2、物理学基礎実験I

#### 2年次

電気電子工学実験I、電磁気学Aおよび演習、電磁気学Bおよび演習、回路理論I・II、微分方程式、応用数学、基礎電子物性、電気電子計測

#### 3年次

電気電子工学実験II・III、計算機の基礎、基礎電子回路、制御理論I・II、半導体物性、通信工学基礎、電力システム、半導体デバイス

#### 4年次

卒業研究、先端情報産業論、光エレクトロニクス、電力変換システム設計、技術者倫理

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 電磁気学A、Bおよび演習

電磁気現象の中で、静電磁界および電流、動的な電磁界に関する諸現象と基本原理を学び、電磁気学全体を体系的に理解することができます。具体的には、クーロンの法則、ガウスの法則、電流と磁界、マクスウェルの方程式などについて講義し、関連する演習を課します。

#### 電気電子工学セミナー

電磁気学や物理学、数学などの知識を活用しながらものづくりを体験するとともに、学修済みの知識が実際にどのように応用されているのかを学びます。前半は制御基盤の製作、後半は製作したものの特性を評価し、それらを応用した回路等の作成を実施します。

#### 電気電子工学実験I・II・III

種々の現象の基本原理を把握し、定量的に評価できる解析能力およびその現象の有用性を洞察して活用する方法を構想し、所期の目的を達成する方法を具体化する合成的能力を伸ばすことを目的とします。

総合工学科

# 物質科学コース

物理学／化学の枠組みを超えて、物質の本質に迫り、その機能を応用する

物質科学コースは、物理学および化学を基礎としつつ、その枠組みを超えて、さまざまな物質の性質・機能を探り、またそれを工学的に応用・活用することを目指しています。物理と化学の素養をもち、エネルギー、環境、機能材料、応用化学、光物性、量子・固体物性などを基礎として、高度情報化社会を支える物質についての科学を深く掘り下げると同時に、幅広い眼で全体を俯瞰し、また応用展開できる人材の育成を目指します。

## コースの紹介・特色

1～2年次に数学・物理・化学などの専門基礎科目や工学入門などの工学に共通した科目を学び、その後、専門性の高い科目を学んでいきます。物質科学の根幹を成す物理と化学の両方をしっかりと学ぶ中で、広く自然科学や工学技術一般についても理解を深めます。4年次には研究課題を選択して研究分野に所属し、研究の第一線で活躍する教員のもとで知的興味を喚起される卒業研究を行います。早期卒業、中学・高校理科教職免許状取得、先端科学探究プログラムといった特別プログラムが用意されていることも特色です。



物質科学コースにおける発表会の様子

## カリキュラム(主な専門科目)

### 1年次

化学基礎A・B、力学基礎1・2、電磁気学基礎1、化学基礎実験、物理学基礎実験I  
プロジェクト研究I～VI(1～3年次)

### 2年次

物理化学I・II、振動と波動、量子力学基礎、有機化学、物理数学I・II、無機物質化学、物質科学基礎実験、物質科学実験I

### 3年次

量子力学I・II、物性物理学I・II、機器分析科学、応用光学、電気化学、物質科学産業汎論、物質科学実験II・III、機能性材料設計論

### 4年次

卒業研究、物質科学演習I・II、特許法概論、国際実習

カリキュラムツリー▶



## 授業紹介

### 物質科学基礎実験A・B

物理と化学の基礎実験を通じて、実験装置や器具の操作、データ収集と解析を行い、その結果を理論に基づいてレポートにまとめます。物理と化学の両方における理工系実験に必要な実践的なスキルを身に付けます。

### 応用光学

光を直線として取り扱う幾何光学により、光の反射、屈折、レンズ作用等の光学系の諸性質を理解し、光を波として取り扱う波動光学により、回折、干渉等の光の諸性質について更に理解を深め、応用光学への展開を説明します。

### 機能性材料設計論

物質科学の視点から、資源・環境・エネルギー問題を解説し、環境に配慮した材料の機能や製造プロセス、リサイクルシステムを講義します。資源・環境・エネルギー問題と物質科学の関連を学び、求められる材料特性や製造プロセスを考察します。



総合工学科

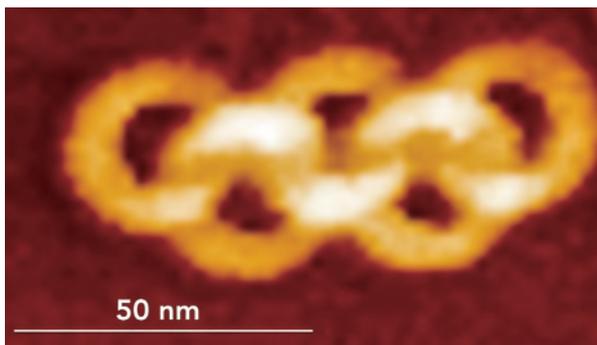
# 共生応用化学コース

## バイオと環境をキーワードとする新しい応用化学

共生応用化学コースでは、化学はもちろんのこと、専門分野の基礎となる数学・物理学・生物学などの素養を1年半の共通基礎の教育により涵養し、その後の専門教育では化学及び化学に関連する工学を幅広く修得できるようになっています。人類が環境と調和し、他の生命と共生していくというSDGsを目指し、新しい化学及び化学プロセスの開発を担う人材の養成を目的にしています。

### コースの紹介・特色

多角的な視点から新しい機能や高度な性能を持つ物質の開発、生体機能を代替あるいは模倣する人工材料の創製、環境適合性プロセスや材料の設計などを自主的に学べるように「無機化学・分析化学」、「物理化学・化学工学」、「有機化学」、「高分子化学」、「生化学」に関連する多様な授業科目が体系的に構成されています。3年次後期には研究室に配属され専門分野のセミナーに参加し、4年次には最先端の研究に自主的に取り組む卒業研究を行います。



分子集合体でつくるナノサイズの五輪マーク

### カリキュラム(主な専門科目)

1年次	化学基礎、無機化学、有機化学、化学基礎実験
2年次	物理化学、分析化学、生体分子の化学、分析化学実験、高分子科学、環境化学、安全工学、化学工学基礎、固体化学
3年次	有機構造解析、生体高分子化学、環境適合無機材料、エネルギー資源工学、セミナーⅠ、共生応用化学実験、触媒化学、反応工学、有機機能化学
4年次	セミナーⅡ、卒業研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 環境化学

化学と身の回りの社会・環境の問題との接点をどのように結び付けていくかを思考する習慣を学生が身に付けることを目的とし、環境問題の諸事象・トピックについて幅広くかつ環境化学的視点から講義し、学びの具現化を実感します。

#### 分析化学実験

溶液化学における分離・容量分析実験により、化学に共通の基本的な実験技術を身に付けます。実験内容は、化学平衡を基礎とし、特徴的な検出法を利用した分子・イオンの定性・定量分析であり、分離と検出に関する化学の基礎を学びます。

#### 共生応用化学実験

無機化学・分析化学、物理化学、有機化学、高分子化学・生化学に分かれて、専門的な実験テーマに取り組み、実験装置や実験器具の取扱いや実験結果のまとめ方を学びます。さらに、各実験操作、実験結果、現象の化学を考察していきます。

多種多様なデータを駆使して  
社会的課題の解決に応用できる  
人材を育てる

# 情報・データ サイエンス 学部

Faculty of Informatics

情報・データサイエンス学科 | データサイエンスコース

情報・データサイエンス学科 | 情報工学コース

我が国では、高齢化が進展する中での社会活動の維持・発展や、環境問題、エネルギー問題、食糧問題などの社会的課題の解決の両立が必要となっており、高度に発展した情報技術を有効に利用し、社会の様々な場面で取得された大量のデータを分析し、的確で迅速な意思決定を行える社会《Society 5.0》の実現が求められています。千葉大学情報・データサイエンス学部では、この新たな社会の実現に対応するため、社会の多種多様なデータを分析し、それをもとにした判断を支援あるいは実行するという一連の流れを担うことができるデータサイエンス技術者を育成します。

## 情報・データサイエンス学部の特徴

### 学生の趣向に応じた コースの設置

本学部では、データサイエンスの本質を理解し、社会的課題の解決に応用できる人材を育成する「データサイエンスコース」と、情報工学の専門性を備え、データサイエンスの実現と高度化に応用できる人材を育成する「情報工学コース」を設置しています。学生は、1～2年次で共通のカリキュラムを学びながら、両コースの特色を理解し、自らの興味に適したコースを3年次進級時に選択します。

### 総合大学の強みを生かした 実践的なカリキュラム

本学部のカリキュラムは、総合大学である千葉大学の強みとして実績のある研究分野の3つのカテゴリ「医療・看護」、「環境・園芸」、及び「人間・感性」に対応する「データサイエンス系専門科目群」と、本学部の前身である工学部総合工学科情報工学コースの教育研究力を活かしたデータサイエンスの基幹的技術に対応する「情報工学系専門科目群」等から構成される実践的なカリキュラムとなっており、当該科目群をコース横断的に履修することができます。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 西千葉キャンパス

# 情報・データサイエンス学科

## データサイエンスを実践的に担う データサイエンス技術者を育成する

データサイエンスの本質を理解し、社会的課題の解決に応用できる人材(実践的データサイエンティスト)及び情報工学の専門性を備え、データサイエンスの実現と高度化に応用できる人材(データサイエンス及び周辺技術の高度化を担う人材)を養成します。

### 学科の紹介・特色

情報・データサイエンス学科では、実践的カリキュラムを所属するコースに応じて横断的に履修しながら、現実のデータを分析し、本質を明らかにする能力である《データサイエンス力》、様々な現実の問題の解決にデータサイエンスを応用する能力である《データサイエンス展開力》、データサイエンスを支える情報工学技術の運用能力である《データエンジニアリング力》を有するデータサイエンス技術者となることを目指します。

### 基礎から専門・応用分野までを体系的に学ぶカリキュラム

1、2年次では、一般教養、基礎的な数学や物理の知識やプログラミングスキル、基礎的なデータサイエンス力、情報工学技術の基礎等を習得します。3年次からは、いずれかのコースに所属し学修します。「データサイエンスコース」は、データサイエンス展開力に重点を置くコースであり、データサイエンスの様々な社会応用を学ぶ「データサイエンス系科目」を中心に履修します。「情報工学コース」は、データエンジニアリング力に重点を置くコースであり、「情報工学系科目」の履修を通して情報工学技術を身に付けます。加えて、両コースとも、社会性・倫理観、国際的コミュニケーション能力等の習得や課題解決能力やプレゼンテーション能力の涵養を目的とする「共通科目」を履修します。

カリキュラムツリー▶



### カリキュラム(主な専門科目)

#### 共通専門 基礎科目

力学基礎、電磁気学基礎、線形代数学、微積分学、複素解析、微分方程式、情報・データサイエンス入門、プログラミング入門、プログラムの設計と実現、プログラム演習、マルチメディア工学入門 など(演習含む)

#### データ サイエンス系 専門基礎科目

確率論、統計学、機械学習、数値計算、多変量解析 など(演習含む)

#### 情報工学系 専門基礎科目

フーリエ解析、集合・代数・論理、アナログ信号処理、コンピュータシステム入門、離散数学、情報工学実験、情報理論、コンピュータネットワーク

#### 共通専門科目

情報倫理、情報・データサイエンス基礎英語、情報知的所有権セミナー、情報と職業、ソーシャルイノベーション、インターンシップ、国際実習、卒業研究 など

#### データ サイエンス系 専門科目

【医療・看護】医療データサイエンス入門、データサイエンス看護学概論、医用データ解析、医療統計学・疫学、データサイエンス看護学演習  
【環境・園芸】環境空間情報学、IoTと環境センシング、データ同化、農村地理情報学、リモートセンシング工学  
【人間・感性】カラーサイエンス、デジタル画像処理、視覚情報処理、ヒューマンインタフェース、コンピュータグラフィックス、感覚・知覚測定法、生体情報工学、デザイン・シンキング  
【共通】データサイエンス系プロジェクト研究

#### 情報工学系 専門科目

オートマトン、オペレーティングシステム、コンピュータアーキテクチャ、情報システム概論、最適化理論、符号理論、時系列信号処理、インタプリタとコンパイラ、分散情報処理、メディアセキュリティ、確率過程とマルコフ解析、情報工学系プロジェクト研究

### 授業紹介

#### プログラムの設計と実現Ⅰ～Ⅲ

多種多様なデータの解析手段となる様々なプログラミング言語を学びます。講義と演習を通じて、手続き型やオブジェクト指向などの目的に応じた適切な言語を用いてプログラミングする能力を身に付け、アルゴリズム構築について学習します。

#### 機械学習Ⅰ／演習

人間が経験から学ぶように、機械がデータから学習することを機械学習と呼び、AIの中心技術となっています。2年次で学ぶ確率論や統計学の知識を利用して、データから現象を機械で予測する方法を、講義と演習を通じて学習します。

#### 情報工学実験Ⅱ

少人数のチームに分かれてロボット製作を行うことにより、プロジェクト開発を学びます。センサーから取得したデータに基づいてロボットを制御するアルゴリズムを考えて実装し、課題ごとに競技会(タイムレースや試合など)を行って考察を深めます。

食と緑の国際総合学府

# 園芸学部

Faculty of Horticulture

園芸学科

応用生命化学科

緑地環境学科

食料資源経済学科

千葉大学園芸学部では、100年以上の歴史を通じて、緑と人間との関わりを探究しています。国立大学では唯一の園芸学部の研究は、時代の要請とともに柔軟に変化してきました。その領域は今、バイオテクノロジーや資源・エネルギー、環境保全と再生、ランドスケープの創造、そして医学と福祉の分野へと広がりを見せています。本学部では、都市に拠点を置きながら、社会の課題の解決に寄与し、世界で通用する技術者や研究者の育成を目指しています。

## 園芸学部の特徴

### 食・緑・健康をテーマに 多様な課題に取り組む

「園芸」という言葉からイメージされるのは花や野菜の栽培、造園といった限られた分野かもしれませんが。しかし、千葉大学園芸学部が網羅するのは、「食・緑・健康」に関する幅広く、深い領域です。「園芸」「応用生命化学」「緑地環境」「食料資源経済」の4学科に7つの教育プログラムが設けられています。私たち人類が直面する、食料や資源、開発、環境、健康、生命など多様な課題に取り組むための学びがあります。

### 具体的な課題に取り組む 教育プログラム制度

園芸学部では教育プログラム制度を採用しています。入学後にはまず基礎的な力を養ったうえで、2年次後期に7つの教育プログラムから専攻を選択し、具体的な研究課題に取り組んでいきます。教育プログラムは、少人数による実習や演習、専攻研究が中心です。教員の目が行き届く少人数体制で、課題を設定し解決する柔軟な能力を養っていきます。また、大学院での研究とも連動しているので、より専門的な能力を途切れることなく高められます。

### 国際交流を通じて、 広い視野を持つ人材を育成

園芸学部がテーマとする食料や環境の課題は日本のみならず世界規模のものです。本学部では、海外の大学や研究機関との交流を積極的に進めるとともに、学生に対しても海外への交換留学や語学研修を後押ししています。また、本学部は国際的にも評価が高く、海外への留学や外国人留学生との交流を通じて、広い視野を身に付けられるのも千葉大学園芸学部の特長です。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 松戸キャンパス

# 園芸学科

## 幅広く体系的な知識で未来の地球環境を支える

園芸学科には、栽培・育種学プログラムと生物生産環境学プログラムがあり、互いに提携しながら国際競争力のある都市園芸産業の実現を目指した教育、研究を行います。園芸植物の生産に関わる先端の栽培技術やそれらを支えるバイオテクノロジー、植物を取り巻く生態的、物理的・化学的環境の管理や修復技術など、さまざまな専門分野の知識や技術を幅広く学びながら、視野の広い豊かな創造性を備えた実行力のある人材を養成していきます。

### 学科の紹介・特色

#### [栽培・育種学プログラム]

園芸植物の高度栽培技術、それらと密接に関わる品種改良に関する先端の技術、バイオテクノロジー、およびそれらの総合知識を体系的に修得し、園芸生産のエキスパートを育成します。

#### [生物生産環境学プログラム]

作物生態系の基盤である気象および土壌を学び、そこに生息する植物、昆虫、微生物等の知識を持ち、施設農業およびフィールド農業の環境を幅広く理解し、理工学的、生物学的、化学的な素養を合わせ持って植物生産環境の創生・管理ができる人材を育成します。



実験材料の皇帝ダリアの栽培

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

園芸学セミナー、化学基礎、生物学A、栽培・育種学概論、生物生産環境学概論、農場実習Ⅰ

#### 2年次

技術者倫理、植物生理学、園芸植物繁殖学、果樹園芸学総論、花卉園芸学総論、蔬菜園芸学総論、遺伝学、育種学、作物学総論、農業気象・環境学、植物環境工学、ポストハーベスト工学、植物保護学、土壌学、植物栄養学、植物病学総論、昆虫学、化学生態学、農場実習Ⅱ

#### 3年次

落葉果樹栽培論、花卉開花制御論、植物環境制御学、微気象学、植物病理化学、害虫防除論、栽培育種学実験、栽培・育種学専門実習、生物生産環境学実験、生物生産環境学専攻実習

#### 4年次

専攻研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 農場実習Ⅰ

園芸学科では植物を取り扱う実習教育が重要で、実習を通じて、学生は植物の成長と管理に必要な基礎知識や技術を習得します。さらに、専門科目の理解を深め、学習効果を高めるだけでなく、2年次以降の基盤を構築することにも役立ちます。

#### 栽培・育種学概論

園芸学を学ぶ醍醐味はその多様性の理解にあります。まず、品目として果樹、蔬菜、花卉、作物について栽培や育種に必要な視点学びます。そして園芸品種の多様性を生み出す遺伝や育種、植物細胞工学について概要を学びます。

#### 生物生産環境学概論

栽培植物はその生産過程において物理的・生物的・化学的な環境の影響を受けます。気象や土壌、植物内外に生息する植物、昆虫、微生物といった視点から、それらの環境を制御することが生産過程にどのように関わっているかを学びます。

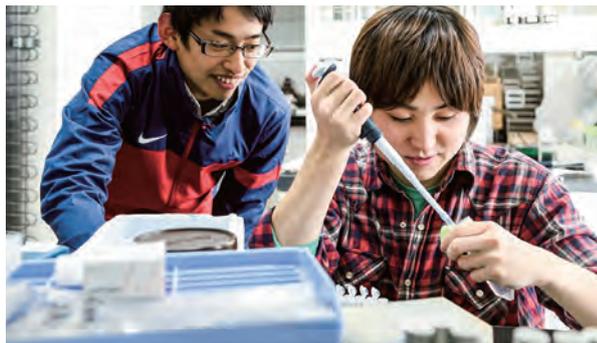
# 応用生命化学科

## 生物機能を生物学的・化学的に解明し諸問題の解決に挑む

応用生命化学科では、生命の営みに関わる物質とその動態を探求できる知識、理論、技術の習得を基礎に置きながら、生物や食品の機能解析、代謝生産物、情報伝達分子などに関する基礎・応用研究を行います。また、これら解析に必要な生化学、食品化学、微生物学、分子生物学、有機化学などを習得します。これにより、食料問題、資源問題、環境問題、感染症など、人類が直面しているさまざまな問題を解決するための方法論の確立と人材の育成を行います。

### 学科の紹介・特色

1年次前期に開講される応用生命化学セミナーでは、教員1名に対し、学生4～5人という少人数のセミナー形式をとり、課題を通じて一般教養を学び、さらにプレゼンテーション、議論する力を養います。1～2年次に一般教養および化学や生物に関係する専門基礎科目を学びます。3年次ではさらに専門性の高い科目と実験を中心としたプログラムを組んでいます。3年次の途中、各研究室に分かれ、指導教員のもとで卒業研究を行い卒業論文を完成させます。



植物から機能性成分を抽出し、分析を行っている実験風景

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

生命技術者倫理、応用生命化学セミナー、物理学の世界、化学基礎、生物学A、化学基礎実験Ⅰ、化学基礎実験Ⅱ

#### 2年次

有機化学、食品化学、生物化学、酵素化学、バイオインフォマティクス、基礎微生物学、分子生物学、分析化学、植物代謝生理学A・B

#### 3年次

栄養化学、生物資源利用学、環境微生物学、生物有機化学、食品保蔵・畜産物利用学、食品衛生学、分子生体機能学、食品製造実習、応用生命化学専攻実験、食品栄養学実験、分子生物学実験、生物化学実験、微生物工芸実験、植物分子機能学実験

#### 4年次

専攻研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 食品化学

この授業では、食品に含まれる成分の化学、成分の変化を解説するとともに、食生活と健康を考える上で重要な食品の機能や健康・栄養食品の制度について説明します。さらにフードマイレージの低減など食料と環境問題について議論します。

#### 分子生体機能学

この授業では、ゲノム上の遺伝子がどのように発現しタンパク質が合成されるか、またそれがどのように調節されて多様な生命現象が成り立つかについて解説します。また、分子生物学の研究手法やゲノム解析の現状などについても紹介します。

#### 環境微生物学

この授業では、およそ40億年前に地球上に生命が誕生して以来、現在まで生き続けている微生物についてわかりやすく解説します。特に、微生物の系統分類や他生物との共生、炭素や窒素循環に与える微生物の影響などについて議論します。

# 緑地環境学科

## エコロジカルで快適な環境の保全・創造を目指す

私たちを取り巻く自然環境や日常生活を営む環境について、特に緑地環境を対象としてその仕組みの解明や保全の技術、さらには快適なランドスケープを創造または再生していくための調査・計画・施工・管理の技術、自然環境の管理技術、環境に関する文化論、心身の健康の向上を目指した緑の利用などに関わる教育・研究を総合的に行っています。本学科は環境造園学、緑地科学、環境健康学の3教育研究プログラムから構成されています。

### 学科の紹介・特色

[環境造園学プログラム]ランドスケープ空間の設計、風景保護、都市や農山村の環境再生・整備のために、自然と共生する生活環境を美しく構成・管理する理論と技術を学びます。

[緑地科学プログラム]フィールドワークを基礎にして、緑地に生ずる諸過程のモデリング、緑地建設、自然環境管理のために、緑地環境の形成や自然再生の理論と技術を学びます。

[環境健康学プログラム]園芸療法やアロマセラピー等の療法的・福祉的な植物の利用、医療福祉施設の緑化、薬用資源植物、環境教育などについて理論と技術を学びます。



野外での都市緑地調査実習

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

統計学A、物理学入門、化学基礎、生物学A、地学概論A、植物形態分類学、緑地環境学セミナー、緑の環境を育む

#### 2年次

都市緑地学、庭園デザイン学、緑地植物学、緑地福祉学、緑地土壌学、群落生態学、環境植栽学、緑地環境管理学、都市計画学、造園学原論、自然環境保全学、環境ガバナンス論、ランドスケープ空間表現学、インタープリテーション論

#### 3年次

生態遺伝学、環境空間情報学、森林管理学、再生生態学、風景計画学、ランドスケープ設計論、園芸療法論、樹木医学、環境文化史学、地域再生計画学、安全管理・野外救命法、GIS利用論

#### 4年次

専攻研究

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 緑地環境学セミナー

緑地環境学科で学ぶ上で必要な内容として、緑地・ランドスケープ空間事例の現地見学、緑地環境学科の研究分野や卒業後の職業等を知るワーク、社会的・職業的自立のための基礎的な考え方を学ぶ講義やワーク等を行います。

#### 緑地環境学実習

この授業では、緑地環境学の基礎的な知識と技能の習得のため、植生の観察、樹木の維持管理、農作物の栽培管理、植物のセラピー利用、環境学習、緑地空間・環境デザイン等に関する様々な内容の基礎的な実習を行っています。

#### 緑地福祉学

現在、心身の障害やストレスを緩和する植物の療法的効果が期待されています。本講義では植物の保有する療法的効果について、医学的エビデンスを元に紹介するとともに、それらを取り入れた緑地計画や園芸療法などについて解説します。

# 食料資源経済学科

## 社会科学の視点からフードシステムへアプローチ

農学と社会科学の視点から、フードシステム全体（生産・流通・消費）を的確に理解して評価できる人材、環境・農業・地域・開発に関する施策やプロジェクトの立案と評価ができる問題解決能力を持った人材の育成を目標としています。

### 学科の紹介・特色

資源環境経済学とフードシステム学の二つの専門分野があり、自然科学的基礎知識をもとに、園芸に関連した経済学や経営学などの社会科学を習得します。そして「食と緑」に関する社会的要請に応えるため、国際競争力を持つ園芸経営、安全性の高いフードシステムの設計、食品産業の多様な発展、農村資源の有効活用について学び、食料生産や環境・国際協力などの領域の諸問題に適切に対処できる専門職業人を育成しています。



日系移民が経営するカリフォルニアの園芸農場の調査風景

### カリキュラム（主な専門科目）

1年次

食料資源経済学セミナー、農業経済学概論、経済学基礎理論、農業経営学、園芸作物管理・収穫実習

2年次

応用統計学、フードシステム学、アグリフードビジネス論、農村調査分析論、ソーシャルファーム論・演習、園芸作物栽培・加工実習、国際食品企業論、データアナリシス、農村社会学、園芸ビジネス論

3年次

資源計量経済学、応用ミクロ経済学、消費者行動論、統計数理モデリング、食品マーケティング論、農村開発経済学、国際農業マネジメント、農村地理情報学、フードシステム学演習、資源環境経済学演習

4年次

卒業研究、専門演習1、専門演習2

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 農業経済学概論

世界の食料問題を理解するために必要な最新の知識と、それを深く理解するために必要な経済学の基礎理論を学びます。日本の食料や農業をめぐる最新の動向も説明します。グローバル／ローカル双方の視点から食料と農業の問題を考えます。

#### ソーシャルファーム論・演習

農業分野で障害者の働く場等の創出を目指す「農福連携（ソーシャルファーム）」の現状と課題を多彩な講師陣から学び、実習でその魅力を体感するとともに、演習を通じて日本の農業に期待される社会貢献について考える力を身に付けます。

#### 消費者行動論

いくら素晴らしい商品でも、消費者が欲しいものでなければ売れません。この授業では、売り上げなどの市場データを様々なツールを使って分析する力、エビデンスに裏付けられた販売促進方法を明らかにする力を身に付けることができます。

次世代の医療を担う  
エキスパートを育成する

# 医学部

School of Medicine

医学科

千葉大学医学部の歴史は非常に古く、まだ世の中は明治維新改革の最中の1874(明治7)年、近隣の篤志家の寄付によって設立された「共立病院」が原点であり、地域から愛され、信頼されてきました。地域に貢献する医療の実践を目指した建学の精神は、今も脈々と受け継がれています。医学部のある亥鼻キャンパスには薬学部と看護学部、そして附属病院があり、医療に関する複合的な拠点を形成しています。本学部では、他大学に先駆けて画期的な教育プログラムを導入しながら、社会の要請に対応できる医療人を育成しています。

## 医学部の特徴

### アウトカム基盤型教育

本学部では、医学生が卒業時に到達する学修成果を3つ掲げ、それらを達成するのに必要な能力(卒業コンピテンス)を6年間で段階的に向上させる順次性のあるカリキュラムを導入しています。

卒業コンピテンス

- I. 倫理観とプロフェッショナリズム
- II. コミュニケーション
- III. 医学および関連領域の知識と応用
- IV. 診療の実践
- V. 社会と医療
- VI. 科学的探求

### 臨床医だけでなく、 基礎研究の人材を育成

医学の発展や教育には、患者に直接対応する臨床医だけでなく、基礎研究分野の専門家がが必要です。本学部では教育機構の改革を行い、「研究医枠」を設けました。入学後、研究医を目指す学生に早い段階から専門的な知識を学ぶ機会を提供するとともに、奨学金を提供し学生が研究に専念できる環境を整えています。また、臨床と基礎研究が融合したかたちの講座も設け、学生がバランスよく学べるカリキュラムも盛り込まれました。

### 薬学や看護の学生とともに 学ぶ亥鼻IPE

亥鼻キャンパスには医学、薬学、看護学という医療の中心を成す3学部が集まっています。2007年からは3学部の学生が具体的な課題や実習を通じてともに学ぶIPE(Interprofessional Education、専門職連携教育)をスタート。入学当初からともに学ぶことで、互いの専門職の重要性を理解し、尊重する精神とともに、「チーム」としての総合力による医療を行っていくコミュニケーション能力を身に付けられます。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 亥鼻キャンパス

# 医学科

## アウトカム基盤型教育による 次世代を担う有能な医療人・研究者育成

医学科では、病気と治療を研究者の視点から科学的に考察する「基礎医学」と、様々な病気の原因や症状、診断、治療を講義と実習で学ぶ「臨床医学」の両方に力を入れています。医療を取り巻く環境を理解し、将来医師を目指すものとしての態度や習慣を身に付けていきます。また、医学研究の基礎を学び、研究に取り組む学生を育成する「研究医養成プログラム」を取り入れており、6年一貫のスカラシップ・プログラムにより、配属先研究室での研究、抄読会、カンファレンス等に参加したり、各自の研究テーマを遂行し研究発表や論文作成等を行ったりするほか、奨学金制度により、学生を経済的な側面からサポートする体制も整っています。

### 学科の紹介・特色

医学科では、アウトカム基盤型教育を導入し、卒業コンピテンシーを達成するための順次性のあるカリキュラムを実施しています。1年次で倫理観や医療プロフェッショナルを学び、1～3年次で基礎医学、3～4年次で臨床医学、4年次で社会医学を学び、これら全てを修得した学生が4～6年次で診療参加型臨床実習を行います。臨床実習では72週間、附属病院を中心として学内外の医療機関で実習を行い、患者の診療に携わる医師として必要な臨床能力を修得します。

### 6年一貫医学英語プログラム

医療のグローバル化が広がる現代において、国内での外国人患者の増加等へ適切に対応できるよう、シミュレーション教育を中心とした基礎から実践まで徹底した指導により、英語による医学・医療コミュニケーションを実践できるようにする本学部6年一貫の英語教育です。6年次で海外協定校等に臨床実習留学を行う場合もあります。

### 医師国家試験合格率

97.6%

令和6年度  
第119回医師国家試験合格率

98.1%

令和5年度  
第118回医師国家試験合格率

95.0%

令和4年度  
第117回医師国家試験合格率



### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

統合数学、生物統計、AI数理科学入門、医系生物学、基礎化学、ヒューマン・バイオロジー、導入PBLテュートリアル、チーム医療Ⅰ(IPEⅠ)、医学入門Ⅰ・Ⅱ、組織学、遺伝分子医学、スカラシップ・ベーシック、医学英語Ⅰ、地域医療学(1～6年次)、異文化コミュニケーション(1～6年次)

#### 2年次

生命倫理演習、チーム医療Ⅱ(IPEⅡ)、生化学、肉眼解剖学、発生学、神経科学、生理学、行動科学、免疫学、微生物学入門、薬理学総論、スカラシップ・ベーシック、医学英語Ⅱ

#### 3年次

基礎医学ゼミ、医師見習い体験学習、チーム医療Ⅲ(IPEⅢ)、病理学総論、臨床病態治療学Ⅰ、臨床入門Ⅰ、臨床テュートリアルⅠ、病理学各論、統合臨床微生物学、統合臨床薬理学、スカラシップ・アプライド、医学英語Ⅲ

#### 4年次

衛生学、公衆衛生学、法医学、医療経済情報学、チーム医療Ⅳ(IPEⅣ)、臨床病態治療学Ⅱ、臨床入門Ⅱ、臨床テュートリアルⅡ、臨床実習Ⅰ(4～5年次)、(共用試験CBT・OSCE)、イノベティブ先端治療学・アドバンスト、スカラシップ・アドバンスト、医学英語アドバンスト

#### 5年次

臨床実習Ⅱ(5～6年次)、スカラシップ・アドバンスト、医学英語アドバンスト

#### 6年次

地域医療実習、スカラシップ・アドバンスト、医学英語アドバンスト

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### AI数理科学入門(1年次)

医学研究・医療において数理・データサイエンス・AIの重要性が高まっており、画像、時系列データなど様々なデータの扱いと解析ツールの使い方を実践的に学び、データサイエンスの基本的な考え方を修得することを目指します。

#### 医学英語Ⅰ(1年次)／ Ⅱ(2年次)／Ⅲ(3年次)

6年一貫医学英語プログラムの一部として、医学英語論文の読み書きや国際学会等で発表するための知識・技術の習得、および英語による診察・診断推論ができることを目指し、英語模擬患者を活用した実践的な授業を行っています。

#### スカラシップ・ベーシック (1・2年次)／アプライド(3年次)

希望する研究室の研究・抄読会・カンファレンス等に参加し、最先端の医学研究に触れることで、医療の発展のために必要となる、さらに高い学識的な思考と研究開発のための知識、技術、倫理観を修得することを目指します。

生命創薬研究者・高度薬剤師を  
育成する

# 薬学部

Faculty of  
Pharmaceutical Sciences

薬学科

薬科学科



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 亥鼻キャンパス

薬学は生命、健康や環境について研究する総合的な  
応用科学です。基礎科学と違うのは、「人類の健康、  
福祉に貢献する」という明確な目的があることです。  
千葉大学薬学部では、薬剤師の受験資格が得られる  
6年制と研究職を目指す4年制を設けています。亥  
鼻キャンパスで、チーム医療の一員として高度な知  
識と技能を身に付けた薬剤師、医薬品の開発や研究  
に携わる研究者、化学物質と人間の関係を探求する  
研究者といった志の高い人材を育てています。

## 薬学部の特徴

### 6年制の薬学科と 4年制の薬科学科を設置

千葉大学薬学部では6年制の薬学科と4年制の薬科  
学科を設置しており、各入学者選抜で配属される学  
科が異なります。一般選抜前期日程の入学生は学科  
を決めずに一括入学します。一般選抜後期日程の入  
学生は4年制の薬科学科に配属されます。学校推薦  
型選抜の入学生は6年制の薬学科に配属されます。  
一般選抜前期日程の入学生は2年間をかけて自分自  
身の適性を見きわめたくうえで3年次進級時に学科選  
択を行います。希望が片寄った際には専門科目と  
英語の成績によって振り分けます。

### 1年次から他学部の 専門職と学べる亥鼻IPE

薬学部のある亥鼻キャンパスには、千葉大学の医療  
系の3学部が集まっています。3学部は合同で「亥鼻  
IPE」を実践しています。IPEとはInterprofessional  
Education(専門職連携教育)のことで、薬学、医学、看  
護の学生たち(工学部の一部の学生も参加)がチームを  
組みながら医療現場での協力関係を養える実習に取り  
組んでいます。「亥鼻IPE」は1年次からスタートしま  
すので、医療現場に携わるか、研究職に進むかを判断す  
るうえでも大きな材料となります。

### 問題を発見し、 解決する論理的な思考を鍛える

大学に入るための受験勉強には答えがあります。し  
かし、薬学部で行う研究では、学生自らが仮説を立  
て、それを検証していきます。そのためは、既存  
の考えを鵜呑みにせず、「本当にそうなのだろう  
か?」と問いかける習慣が大切です。さらに、自分の  
学説を他者に理解してもらうには、論理的に説明す  
る能力も必要です。薬学部ではすべての教員が学生  
たちの論理的な思考を鍛えることに力を入れ、学生  
の問題解決能力の育成に努めています。

# 薬学科

## 臨床の最前線で高度医療を支える

6年制の薬学科では、病院や調剤薬局、行政、公衆衛生分野で指導的立場に立つ薬剤師育成を目的とします。また、医薬品開発職や治験協力者として医療の発展に貢献できる人材も養成します。本学科に続く4年制大学院博士課程（先端医学薬学専攻）では、臨床薬学を基にした研究・教育を実施し、大学や研究所での薬学研究、企業での医薬品研究・開発、高度な研究能力を医療に生かす薬剤師を育てます。

### 学科の紹介・特色

薬学科では、1～2年次で履修する科目は4年制の薬科学科と共通で、主に薬学の基礎となる専門科目を履修します。また、2年次後期から3年次にかけて一般実習が行われ、実験技術の基礎を習得します。3年次では、主に薬剤師や医薬品の臨床開発職に必要な専門科目を履修し、後期からは各研究室に配属され4年次以降の特別実習に備えます。4年次後期には事前実務実習と共用試験（OSCE、CBT）があり、5年次で病院と薬局においてそれぞれ約11週ずつの実務実習を行います。6年次後期には薬剤師国家試験受験のための薬学特別演習があります。

#### 基礎的知識や技能・態度を評価する共用試験

6年制の薬学教育課程では、実践能力を持つ薬剤師の養成を目的に参加型の実習を行います。薬剤師免許を持たない薬学生が参加型実習を行うにあたり、患者の安全や権利等を確保するためのひとつの条件として、薬学生が実務実習を行うために必要かつ十分な基礎的知識や技能・態度を備えているかどうかを評価し保証するのが共用試験です。共用試験は、主として知識を評価するCBTと主として技能と態度を評価するOSCEの2つで行われます。

### 薬剤師国家試験実績

98.0% 令和6年度  
第110回薬剤師国家試験

90.0% 令和5年度  
第109回薬剤師国家試験

94.9% 令和4年度  
第108回薬剤師国家試験



### カリキュラム（主な専門科目）

1年次 有機化学Ⅰ・Ⅱ、物理化学Ⅰ、生物化学Ⅰ、分析化学Ⅰ、薬理学Ⅰ、化学・生物基礎、機能形態学、専門職連携Ⅰ

2年次 物理化学Ⅱ・Ⅲ、生物化学Ⅱ・Ⅲ、有機化学Ⅲ・Ⅳ、分析化学Ⅱ、薬理学Ⅱ・Ⅲ、薬剤学Ⅰ・Ⅱ、衛生薬学Ⅰ、免疫学Ⅰ、基礎医療薬学、生薬学、微生物学、推測統計学、薬剤師と医療、社会で活躍する薬学研究者、有機化学演習、薬学英語演習、専門職連携Ⅱ、一般実習

3年次 有機化学Ⅴ、創薬有機化学、物理化学Ⅳ・Ⅴ、細胞生物学、薬剤学Ⅲ・Ⅳ、衛生薬学ⅡA・ⅡB、免疫学Ⅱ、医療薬学Ⅰ、疾病学、医薬品安全性学、臨床薬物動態学、臨床薬理学、臨床検査・診断薬学、臨床感染症学、感染制御学、腫瘍制御学、製剤工学Ⅰ・Ⅱ、医療薬学演習、専門職連携Ⅲ、臨床研究総論、研究倫理総論、一般実習

4年次 衛生薬学Ⅲ、医療薬学Ⅱ、薬物治療学Ⅰ・Ⅱ、調剤学、薬事法規・薬局方、医療行政学、病態治療学、専門職連携Ⅳ、薬物治療解析学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、医療管理経営学演習、実践社会薬学演習、先端基礎薬学演習Ⅰ・Ⅱ、臨床英語基礎演習、研究英語基礎演習、事前実務実習、特別実習Ⅰ

5年次 薬局実習、病院実習、臨床英語実践演習、研究英語実践演習、特別実習Ⅱ

6年次 薬学特別演習Ⅰ・Ⅱ、特別実習Ⅲ

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 医療薬学実習（薬学科）

薬剤師として医薬品の適正使用に必要な知識や技能を修得するために、模擬服薬や服薬管理グッズ体験、薬物相互作用の演習、処方鑑査・疑義照会・模擬患者への服薬指導の体験、フィジカルアセスメントの方法や一時救命処置を身に付けます。

#### 生物化学Ⅱ（共通）

生物化学は、生命現象を分子の挙動として理解する学問であり、薬学および広く生命科学分野を学ぶための基礎となります。生物化学Ⅱでは、グリコーゲンなどの生体分子の代謝、核酸、タンパク質の合成と調節などについて学習します。

#### 有機化学Ⅲ（共通）

有機化学Ⅲでは、アルケン、アルキン、非局在化したπ電子系、ベンゼン誘導体などの多重結合を含む有機分子に関して、それらの合成法を解説するとともに、ベンゼン誘導体の反応性と分子構造の相関などについても詳しく講義します。

# 薬科学科

## 化学・生物学・物理学を駆使して、 創薬や疾病の予防の最前線で活躍

4年制の薬科学科では、主に3年次までに行う薬学基礎教育に加えて、3年次後期からの所属研究室での実習を通して、創薬科学分野や生命科学分野で能力を発揮できる人材を育成しています。多くの学生は大学院修士課程に進学し、続く大学院博士課程を含めた大学院課程でさらに研究経験を重ねることで、創薬関連分野あるいは大学や研究機関での薬学教育・研究に必要な、問題解決能力や独創的な発想を身に付けた人材の育成を行います。

### 学科の紹介・特色

1～2年次で履修する薬科学科の科目の多くは6年制の薬学科と共通で、主に薬学の基礎となる専門科目を履修します。また、2年次後期から3年次前期にかけて一般実習が行われ、実験技術の基礎を習得します。薬科学科3年次に進級した学生は、生命科学や創薬科学に関連する専門科目を重点的に学びます。こうした座学に加え、3年次後期からは各研究室に配属され、卒業論文のための研究として薬科学基礎実習(3年次後期)や特別実習(4年次)を行います。薬科学科では、卒業生の9割以上が大学院修士課程に進学しています。

#### 薬学研究の最先端を知り卒業後のキャリアを描く

薬科学科に進む学生に向けた授業科目として「薬科学研究概論」や「社会で活躍する薬学研究者」を2年次に開講しています。研究室見学や教員・大学院生との交流等を通して基礎薬学分野における研究の最前線を実体験するほか、様々な分野で研究職として活躍している卒業生を講師として招き、現職の業務内容や意義を学ぶことで、卒業後の具体的なキャリアを描きます。学部3年次後期から所属研究室にて各自のテーマについての研究を進め、興味を持った分野の専門性を高めます。



### カリキュラム(主な専門科目)

1年次	有機化学Ⅰ・Ⅱ、物理化学Ⅰ、生物化学Ⅰ、分析化学Ⅰ、薬理学Ⅰ、化学・生物基礎、機能形態学、専門職連携Ⅰ
2年次	物理化学Ⅱ・Ⅲ、生物化学Ⅱ・Ⅲ、有機化学Ⅲ・Ⅳ、分析化学Ⅱ、薬理学Ⅱ・Ⅲ、薬剤学Ⅰ・Ⅱ、衛生薬学Ⅰ、免疫学Ⅰ、基礎医療薬学、生薬学、微生物学、推測統計学、薬剤師と医療、社会で活躍する薬学研究者、有機化学演習、薬学英語演習、専門職連携Ⅱ、薬科学研究概論、一般実習
3年次	有機化学Ⅴ、創薬有機化学、物理化学Ⅳ・Ⅴ、細胞生物学、薬剤学Ⅲ・Ⅳ、衛生薬学ⅡA・ⅡB、免疫学Ⅱ、疾病学、医薬品安全性学、臨床薬物動態学、臨床薬理学、臨床検査・診断薬学、臨床感染症学、製剤工学Ⅰ・Ⅱ、医薬化学、天然物化学、医薬品合成化学、薬品物理化学、遺伝子応用学、分子イメージング薬剤学、一般実習、薬科学基礎実習
4年次	衛生薬学Ⅲ、薬物治療学Ⅰ・Ⅱ、薬事法規・薬局方、研究英語演習、特別実習

カリキュラムツリー▶



### 授業紹介

#### 薬剤学Ⅰ(共通)

薬が体内に吸収され、分布、代謝、排出される一連の仕組みについて、生物学および物理化学的な側面から学びます。患者個別の投与設計、狙った部位に薬を送達するドラッグデリバリーシステムを実現するための基盤となる学問です。

#### 製剤工学(共通)

日本で流通する医薬品の品質規格書として日本薬局方があります。授業では日本薬局方を理解する上で必要な事項、固形製剤を含む各種剤形や一般試験法について学びます。また製剤の調製法や物理化学的性質を理解することで知識を深めます。

#### 薬理学実習(共通)

薬理学は生体と薬物との相互作用を学ぶ学問です。薬理学実習では、マウスを用いて薬物の薬理効果と安全性の評価のために必要となる基礎的な実験手技、およびデータ解析のための生物学検定法等を習得します。

健康と生活を支える  
ナース・サイエンティストを育成する

# 看護学部

School of Nursing

看護学科

千葉大学には、国立大学で唯一の「看護学部」があります。1975（昭和50）年4月に設立された本学部は、看護師や保健師、助産師の国家試験受験資格を取得するだけでなく、「看護の発展とは何か」を深く見つめながら、看護の倫理と専門知識・技術を身に付け、医療や保健の分野に限らない幅広い社会で貢献できる人材育成を目指しています。看護学の研究者や高度実践看護師を育成する大学院看護学研究科も設置されています。

## 看護学部の特徴

### 理論と実践で「看護の発展とは何か」を問いかける

看護職は、病気や障がいのある人々、また健康に生活している人々が本来持っている力を発揮し、自分で課題を解決できるように、共に考え、支える身近な支援者です。社会が複雑になるにつれて、今現れている問題だけでなく、潜在的あるいは今後予測される問題をも理解する鋭い洞察力やコミュニケーション能力が求められています。千葉大学看護学部では、講義や演習を通して看護の本質や専門知識・技術を学び、様々な領域の実習を通じてこれらを統合し、看護職者として必要な能力を習得していきます。

### 医療系3学部が共に学ぶ 亥鼻キャンパス

看護学部の学生は西千葉キャンパスで学ぶ科目において、他学部の学生と交流し、学際性を育む大切な機会を得ることができます。亥鼻キャンパスでは、看護学・医学・薬学の医療系3学部の学生たちが共に学んでいます。2007年からスタートした「亥鼻IPE」では、医学・薬学の学生（2017年度より工学部の一部の学生も参加）との演習・実習を通じてお互いの専門性を理解し、連携する力を身に付けることで、看護の専門性を高めていきます。

### 大学院で 専門性を究める

千葉大学には、専門性を深め看護学を追究したり、新たな看護を創出・検証し看護実践をよりよいものにしていくために研究活動を通して学修する大学院看護学研究科が設置されています。研究力を高めるために学部卒業後すぐに進学する、臨床経験を積んだ後に看護の教育・研究者あるいは高度実践看護師を目指して進学する、看護管理者として在職のまま進学するなど、看護の専門性を究める多様な選択肢があります。



◀ 学部Webサイト



◀ 学部パンフレット

● 亥鼻キャンパス

# 看護学科

## 人々の健康生活を支援する

看護学部では、看護学およびその関連知識・技術を、体系的に4年間を通して学びます。臨地実習では、医学部附属病院をはじめ、保健所や地域包括支援センター、介護保険施設、訪問看護ステーション、精神科病院、保育園、小学校等にて実際に対象者と関わり、各専門領域に必要な看護について学修します。また、研究に関連する科目、海外の看護大学との学部間協定による留学のプログラムも充実しています。

### 学科の紹介・特色

看護学科では、豊かな人間性を養うための一般教養と、看護学の基礎となる人間のからだや生活、保健医療のしくみ、専門的実践的な看護学を4年間でバランスよく学びます。カリキュラムは一般教養を身に付けるための「**普遍教育科目**」、看護学の基礎となるからだや生活、保健医療のしくみを学ぶ「**専門基礎科目**」、専門的実践的な看護学を学ぶ「**専門科目**」で構成されています。また、研究に関連する科目が各年次にあり、4年次で卒業研究を行うために必要な基礎的な能力を1年次から積み上げていきます。

#### 臨地実習

看護学の専門科目を学びながら学内演習や臨地実習を通して看護実践能力を磨いていきます。

- 1年次：生活者との交流実習
- 2年次：看護基礎実習(8～9月)
- 3年次：訪問看護実習(6～7月)  
コア実習(10月～6月)
- 4年次：統合実習(6～7月)



### 国家試験合格率

	看護師	保健師	助産師
令和6年度	98.7%	100%	100%
令和5年度	98.7%	98.6%	100%
令和4年度	98.7%	98.7%	100%

### 授業紹介

#### 看護学原論

看護とは何か、看護の視点から看護の対象がどのようにみえ、看護の役割は何かについて学びます。看護の本質を捉え、看護実践に必要な基礎的知識と思考過程を理解し、質向上に対する看護職者の責務について理解します。

#### 生活者との交流実習

地域の多様な実習フィールドに向き交流や対話を通して、看護の対象である人々を生活者として理解すると同時に、個々人の健康や生活をとりまく環境について把握し、その人の健康と生活をより豊かにするための支援について学習します。

#### 形態機能学・病態生理学演習

身体の中での血糖変動や人体解剖生理学について実験・実習を行います。マクロ実習では、いろいろな疾患の肉眼標本を観察し、疾病に対する理解を深めます。ミクロ実習では、組織標本を観察・スケッチし、細胞や組織の違いを理解します。

### カリキュラム(主な専門科目)

#### 1年次

形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、代謝栄養学(生化学・栄養学)、病態生理学Ⅰ(病理学総論)、感染看護学(微生物学・免疫学)、人々の生活と健康Ⅰ(多様性の理解)、看護の革進Ⅰ(入門)、連携協働実践Ⅰ、看護学原論、看護実践と研究Ⅰ、健康セルフマネジメント演習、生活者との交流実習

#### 2年次

形態機能学・病態生理学演習、病態生理学Ⅱ(病態学各論)、薬理学、感染看護学演習(微生物学・免疫学)、連携協働実践Ⅱ・Ⅲ、看護技術論Ⅰ・Ⅱ、成熟期にある人々の健康障害と看護、人々の生活と健康を守る制度、コミュニティの生活と健康を支える看護、精神健康問題をもつ人々の看護、家族看護学、人々の生活と健康Ⅱ(生活支援方法)、育成期にある人々の理解と支援Ⅰ・Ⅱ、看護教育学、疫学・保健統計学Ⅰ、成熟期にある人々の看護方法、東洋医学概念に基づく看護ケアの手法、看護実践と研究Ⅱ、助産概論、Global Health and NursingⅠ・Ⅱ、コミュニケーション英語(日常生活・アカデミック会話)、看護専門英語(入門編・チャレンジ編)、看護基礎実習

#### 3年次

疫学・保健統計学Ⅱ、公衆衛生看護実践論、看護テクノロジー論、成熟期看護シミュレーション演習、看護実践と倫理、地域生活支援シミュレーション演習、人々の生活と健康Ⅲ(国際社会・地球規模的な課題と挑戦)、育成期看護シミュレーション演習、看護の革進Ⅱ(自己教育)、看護実践と研究Ⅲ、連携協働実践Ⅳ、臨床推論実践演習、アカデミック英語(基礎・中級)、助産診断学、看護教育学演習(問題解決過程)、助産実践学、助産ケア方法、Global Health and NursingⅡ、訪問看護実習、育成期看護コア実習、成熟期看護コア実習、地域生活支援コア実習

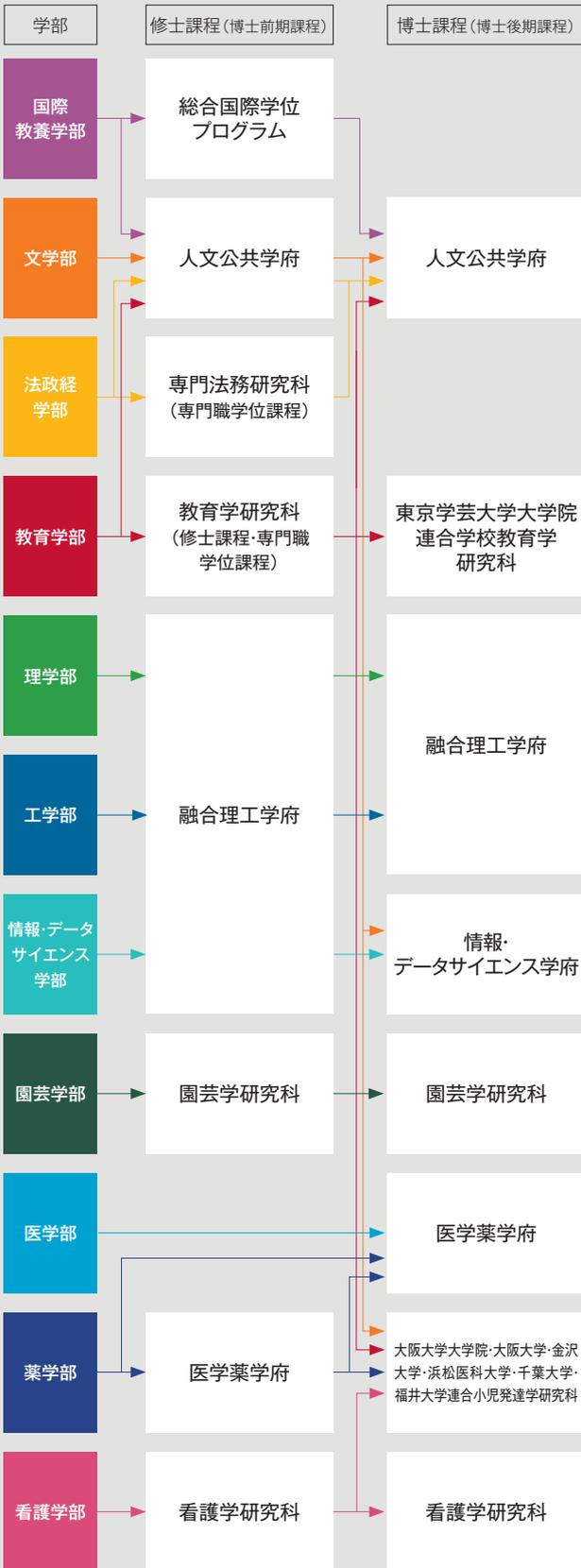
#### 4年次

臨床推論実践演習、看護の革進Ⅲ(拡大)、看護開発(革進力)演習、看護学セミナー、看護実践と研究Ⅳ(卒業研究)、看護テクノロジー演習、発達障害看護学、エンドオブライフケア看護論、助産ケア演習、助産管理学、Global Health and NursingⅡ、看護専門英語(入門編・チャレンジ編)、育成期看護コア実習、成熟期看護コア実習、地域生活支援コア実習、統合実習、看護マネジメント実習【看護の革進Ⅳ(創造)】、助産実習

カリキュラムツリー▶



# 大学院



## 総合国際学位プログラム

### 修士課程

全国初の学位プログラムで  
学際研究を推進する

人文公共学府及び融合理工学府との緊密な関係・協力のもと、教育課程を実施します。既存の学問領域を超え、分野を横断して問題の解決を目指した知識生産を行うトランスディシプリナリーな教育・研究を展開し、自主的・自律的に研究計画を立案するセルフ・デザインド・メジャー等の特徴としています。中心的な学問分野としては、(1) 移民・難民研究、(2) 科学技術社会論、(3) 環境科学、(4) 身体論という越境的・横断的な探求課題を設定しています。

## 教育学研究科

### 修士課程

#### 専門職学位課程

教育現場のリーダーとして

挑戦的に取り組むことのできる人材を育成する

学校教育学専攻では、教育の諸問題を科学的・実践的視点から捉え、的確に対応できる人材育成や、教育の現場と教育学との架橋を図る研究をしています。高度教職実践専攻では、社会や学校現場の変化に対応できる指導力や、教職員等の集団を機能的かつ効果的に対応させるマネジメント力を高めるために3つの分野を設け、高い専門性を持つ人材育成をしています。

## 園芸学研究科

### 博士前期課程

### 博士後期課程

食と緑の未来を創造する、日本唯一の園芸学研究科として、  
文理融合で専門性を深め、実践的な研究スキルを習得

食料資源や環境問題、健康・福祉など、現代社会が抱える課題解決に貢献する人材を育成する、日本唯一の園芸学研究科です。「園芸」と「ランドスケープ」を専門領域とし、自然科学、社会科学、人文科学を融合した独自の教育・研究プログラムを提供します。高度な専門知識と幅広い視野を兼ね備えた、世界をリードする研究者・実務家を育成します。

## 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科

### 博士課程

教科教育学の発展を研究の主な目標とし、  
学校教育のより一層の充実に結びつける

東京学芸大学・埼玉大学・千葉大学・横浜国立大学を母体として構成される後期3年のみの課程からなる独立研究科です。研究の中心は教科教育学の発展を主な目標とし、学校教育の主要部分である各教科教育の目的・内容・方法等の研究を高度化し、さらに学校教育の場面で生じている課題の解決を目指した現実的な研究を活性化させ、学校教育のより一層の充実に結びつく研究を展開することを目標としています。

## 人文公共学府

博士前期課程  
博士後期課程

既存の枠組みを超えた革新的な人文公共学研究の構築を目指す人文社会科学を基盤とした学際的カリキュラムを通じ、社会的課題の発見・解決力、社会との対話・発信力、多様な課題への実践力をもつ次世代型グローバル人材を養成します。博士前期課程は2専攻6コースを有し、学修支援専門員を育成する学校教育・学修支援コースや講義・論文指導を英語で行うEconomics in Englishコースを設置。博士後期課程は1専攻とし、公共学的視点を基盤とする強固な学際融合的な研究教育を推進します。更にDigital Humanitiesとアジアユーラシア研究を掛け合わせた卓越大学院プログラムにより他大学等と連携して博士5年一貫教育を実施しています。

## 融合理工学府

博士前期課程  
博士後期課程

理学と工学の協奏的教育による  
高度な理工系人材の育成

理学および工学分野において、両者を俯瞰し協奏を誘起できる幅広い学識と深い専門性、問題解決能力を有する高度専門人材あるいは先導的・指導的研究者を養成することを目的としています。理学から工学にわたる5専攻の下に17のコースを置き、専門教育を行っています。さらに専攻単位での横断的教育や学府全体としてのキャリア教育・イノベーション教育の実施など理工系大学院共通教育の充実も図り、高い専門性と広い視野を涵養します。

## 医学薬学府

修士課程／4年博士課程  
後期3年博士課程

世界をリードする生命科学の研究者・医師・薬剤師の養成

医学研究院・薬学研究院・附属病院・真菌医学研究センター・予防医学センターなどの教員に加え、理化学研究所、量子科学技術研究開発機構、千葉県がんセンター、産業技術総合研究所、かずさDNA研究所、国立環境研究所、医薬品医療機器総合機構などの連携講座から優れた教授陣を迎え、世界の新しい医療の開発と発展に貢献すべく、生命科学の革新的な研究を担う研究者、医薬品・医療機器などの研究開発を目指す人材、高度医療に対応できる医師・薬剤師を養成することを目的としています。

## 連合小児発達学研究所

博士前期課程  
博士後期課程

5大学の特長を合わせ持ち、学際的かつ実際のな  
「子どものころ」の真のプロフェッショナルを養成

5つの国立大学が連携した、2年制の博士前期課程、3年制の博士後期課程の大学院です。千葉校は、こころの認知行動科学講座に、認知行動療法学、メンタルヘルス支援学、認知行動脳科学の3つの研究領域を有し、子どものころの発達教育研究センターの教員が指導します。心理学、教育学、医学、保健学、福祉学、脳科学、情報科学などの新しい学際領域で子どものころの問題に対して科学的な視点で対処できる人材を育成します。

## 専門法務研究科

専門職学位課程

現役法曹等による少人数教育で、  
高度な専門知識と柔軟な思考力を持つ法曹を養成

法曹養成に特化した教育を行う標準修業年限3年の専門職大学院で、高度な専門知識と柔軟な思考力を修得した、常に生活者の視点を忘れない「心」ある法曹を養成することを目的としています。また、すべての学生に弁護士事務所実習する機会を提供しています。令和2年には、千葉大学法政経学部のほか、明治学院大学法学部および鹿児島大学法文学部と連携協定を締結し、これら各学部の法曹コースを修了した者は、本研究科2年コースの特別入試を受験できるようにしました。

## 情報・データサイエンス学府

後期3年博士課程

※令和10年度に博士前期課程の設置を構想しています。

データサイエンスにおける  
イノベーションを先導する高度専門人材の育成

現代社会が直面する諸課題に対して深い知識と理解を有し、データサイエンススキルを高度に展開させて解決策を導き出す「データサイエンス高度展開力」と、データサイエンス及びそれを支える周辺技術に関する深い知識と理解のもと、その一層の技術の深化や新たな価値創造を司る「データサイエンスイノベーション力」の両方を高度なレベルで備え、データサイエンスにおけるイノベーションを先導する人材を育成します。

## 看護学研究科

博士前期課程  
博士後期課程

看護実践と研究の往還をグローバルに展開する  
教育研究者と高度実践者の育成を目指す

日本における最大規模の看護学の大学院です。博士前期課程は、看護学コースと看護実践学コースから成り立ち、さらに看護実践学コースは、看護管理学、高度看護実践学、特定看護学の3つのプログラムで構成されます。コースやプログラムを超えて、大学院生が共に学ぶ共通基盤科目が多数開講されています。博士後期課程では、看護学の教育研究者としてグローバルに活躍するための能力を育成し、災害看護副専攻プログラムを学修することもできます。



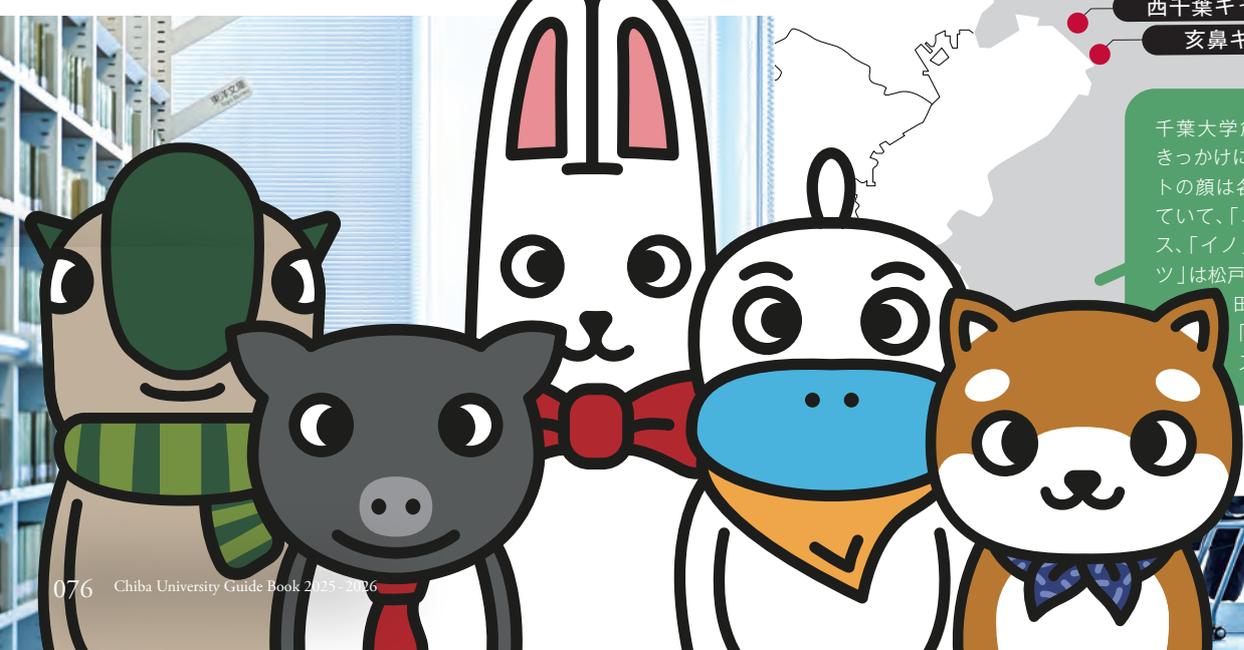
CHIBA UNIVERSITY

# CAMPUS LIFE

*Join us!*



千葉大学創立70周年記念事業をきっかけに誕生しました。マスコットの顔は各キャンパスの形になっていて、「ニシ」は西千葉キャンパス、「イノ」は亥鼻キャンパス、「マツ」は松戸キャンパス、「スミ」は墨田サテライトキャンパス、「カシ」は柏の葉キャンパスの形をしています。



# LOCATION

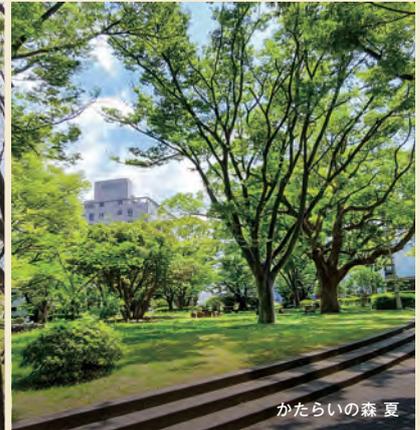
都心からほど近い立地でありながら、緑豊かな千葉大学のキャンパス。学生生活を送るなかで四季の移ろいを感じることができます。それぞれに魅力のあふれる5つのキャンパスをご紹介します。

## NISHICHIBA CAMPUS

西千葉キャンパス



弥生通り 春



かたらいの森 夏



千葉大生協  
フードコート



アエレカフェ

## INOHANA CAMPUS

亥鼻キャンパス



医学部棟



スタンダードスキルズラボ  
(看護学部)

## MATSUDO CAMPUS

松戸キャンパス



附属図書館松戸分館 内観



研究圃場

## SUMIDA SATELLITE CAMPUS

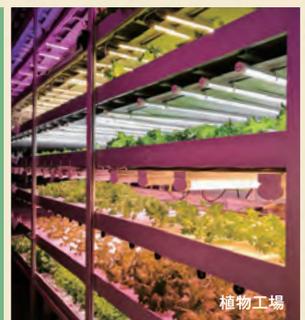
墨田サテライトキャンパス



デザイン・リサーチ  
インスティテュート

## KASHIWANOHA CAMPUS

柏の葉キャンパス



植物工場

VOICE  
01



質の高い教育環境の下で  
かけがえのない仲間と  
教員を目指して

直井 凜 さん

教育学部 学校教員養成課程 小学校コース  
(千葉県立佐倉高等学校出身)

私は千葉県で教員になりたいと考え千葉大学教育学部を志望しました。現在は小学校の免許に加え、中・高等学校の国語科の免許を取得するべく学んでいます。千葉大学教育学部は1年次から教員になるために必要なことを学びます。教育に関することや科目に加え、模擬授業を行うこともあります。さらに大学の中だけでなく学校現場に行く実習も1年次からあり、実際の教育現場や先生方から学ぶことができます。その中でも千葉大学教育学部の一番の魅力は、質の高い教育環境の中で同じ教員を目指している仲間と出会えることです。私自身、この仲間との出会いが支えとなり、普段の授業はもちろん採用試験や実習など、さまざまな場面を乗り越えることができました。さらに卒業後、教員になった際にも欠かせない存在になるに違いありません。みなさんもそんな仲間と出会い教員を目指しませんか？

MY TIMETABLE

一週間の時間割 (3年次第1、2ターム)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	小学校体育科 教育法			インターンシップ 実習	小学校理科	
2	生徒指導・教育相談の理論と実際	学校の安全管理と 安全教育	国語科学習指導論Ⅱ	インターンシップ 実習	小学校園画工作科 教育法	
3	国語科の専門的基盤 (国語学・文法)	国語学演習Ⅳ (古典の言語と文章)	国語学講義Ⅰ (構造・機能)	インターンシップ 実習	小学校生活科 教育法	
4	道徳教育の 理論と方法	日本の古典を読む (韻文と散文)		インターンシップ 実習		
5	進路指導の 理論と実際	ゼミ		インターンシップ 実習		
6		ゼミ				

CAMPUS LIFE

千葉大生の声

CHIBADAI

山本 優希 さん

理学部 数学・情報数理学科  
(静岡県立静岡東高等学校出身)

千葉大学の数学・情報数理学科では、その名の通り数学だけでなく情報科学も学びます。1年次から3年次までに、微積分や統計、プログラミングなどの、数学と情報科学の基礎的な分野を一通り学び、4年次でより専門的な勉強へと進んでいきます。このように情報科学と数学を同時に学ぶことができるのが、この学科の魅力の一つです。純粋数学は、しばしば実用的でない分野だと思われがちで、数学が好きであったとしても数学科への進学がためられる場合もあるかもしれません。そんな中、数学科にしながら純粋数学以外の分野の選択肢を持ると、ハードルは少し下がるのではないのでしょうか。また、情報科学は数学と密接に結びついており、一方の知識が、もう一方の知識を深めてくれることが往々にしてあります。あなたが数学・情報科学のどちらを志していたとしても、きっと良い環境となることでしょう。

MY TIMETABLE

一週間の時間割 (3年次第3ターム)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	符号理論	情報数学Ⅱ				
2		数値計算法	微分方程式論Ⅱ		現代解析Ⅱ	
3	トポロジー	計算理論	数理統計学演習	代数学特論		
4		多様体論Ⅱ	数理英語		確率論Ⅱ	
5		幾何学特論			解析学特論	
6						

VOICE  
02



隣接分野を同時に  
学ぶことのできる楽しさ

# VOICE 03



研究で膠芽腫の  
新たな治療法発見の  
足掛かりになりたい

野口 駿成 さん  
医学部 医学科  
(神奈川県立湘南高等学校出身)

自分が医学部を志望した理由の一つに、「まだ治療法が確立していない病気を自分の手で治したい」という思いがありました。そのため、自分は2年次に、スカラシップという千葉大学医学部の制度を利用して、脳神経外科の研究室で膠芽腫に関する基礎研究に携わることで、「自分で教科書を作成していく」という領域の学びをすることができました。大学院の先輩の適切な指導のおかげで、のびのび研究をすることができています。千葉大学は、研究だけでなく、自分のやりたいことを好きなようにできる環境がよく整備されている大学だと思います。周りの学生の中には、インターンに挑戦したり、会社の運営に携わったりしている人もいます。学業とそれ以外の活動をうまく両立させることができるのは、千葉大学のプログラムあってこそものだと考えます。

## MY TIMETABLE

一週間の時間割(4年次第2ターム)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	衛生学ユニット	公衆衛生学ユニット	公衆衛生学ユニット	法医学ユニット	法医学ユニット	研究室
2	衛生学ユニット	公衆衛生学ユニット	公衆衛生学ユニット	法医学ユニット	法医学ユニット	研究室
3		臨床入門		衛生学ユニット	法医学実習	研究室
4	女性・成長 チュートリアル	臨床入門	女性・成長 チュートリアル		法医学実習	研究室
5	女性・成長 チュートリアル		女性・成長 チュートリアル			
6						

# VOICE

4名の学生に千葉大学の志望理由や学部での学びについて聞いてみました！2024年10月に開催のオープンデイでも発表していますのでぜひアーカイブもご覧ください。

大和田 ゆら さん  
看護学部 看護学科  
(私立磐城緑蔭高等学校出身)

千葉大学看護学部では、1年次から2年次にかけては看護の基礎となる形態機能学や薬理学について学び、2年次以降は徐々に看護技術の授業や病院・地域での実習が増えていきます。玄鼻IPEという主に医薬品の3学部が合同で行う授業では、臨床に出た際に他の専門職と連携する能力を身につけることができます。2年次の看護基盤実習では、座学で地道に積み上げてきた知識が、科目の枠を超えて融合されて実際に看護実践に繋がる瞬間があり、より一層看護に対する興味が引き立てられました。看護学部の授業は、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力を育成することを目指しており、各専門領域の第一人者である先生方のもとで学ぶことができます。また、共に学ぶ仲間は皆勉強熱心で、お互いに切磋琢磨し、支え合いながら学びを深めています。

## MY TIMETABLE

一週間の時間割(2年次第5ターム)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			連携協働実践Ⅲ		Critical Thinking in English(73)	
2			連携協働実践Ⅲ		看護教育学	
3	疫学・保健統計学Ⅰ	看護技術論Ⅱ	連携協働実践Ⅲ	育成期にある人々の理解と支援Ⅱ	成熟期にある人々の看護方法	
4	疫学・保健統計学Ⅰ	看護技術論Ⅱ	連携協働実践Ⅲ	育成期にある人々の理解と支援Ⅱ	成熟期にある人々の看護方法	
5			看護専門英語(チャレンジ編)			
6						

# VOICE 04



充実した教育環境のもとで  
生涯成長できる看護職者になる

CAMPUS LIFE  
Nanako's  
ONE DAY

高校生の時、このパンフレットを読んで「やってみたい」と思ったことは、大学生活で全て叶えることができます。憧れだった社会学の学びと並行して、興味があったまちづくりを副専攻で学んだり(ローカル・イノベーション学)、タイへ留学に行ったり、ボランティアをしたり(ふれあいの環)、プロの狂言師の方と創作狂言を作ったり(普遍教育「伝統文化をつくる」)…たくさんのチャンスに溢れていることが千葉大学イチの魅力だと感じます。皆さんが大学で叶えたいことは何ですか？

小藤 那奈子 さん(東京都立武蔵野北高等学校出身)  
文学部 人文学科 行動科学コース



TODAY'S PICK

12:50 3・4限開始



社会調査実習の授業は、仲間たちとディスカッションをしながら進めていきます。

19:00 サークル



演劇サークルに所属しており、平日は授業後に2~3時間ほど稽古を行います。



これは3年次のスケジュールです



CAMPUS LIFE  
CAMPUS  
CALENDAR

4 April

- ・千葉大学入学式
- ・新入生ガイダンス
- ・TOEFL ITP実施

5 May

第1ターム

10 October

- ・千葉大学オープンデー
- ・戸定祭(松戸キャンパス)

11 November

- ・千葉大祭(西千葉キャンパス)
- ・亥鼻祭(亥鼻キャンパス)
- ・創立記念日

第4ターム

## TODAY'S PICK

14:30 空きコマ・自習

16:30 部活の練習



空きコマを課題や勉強の時間にあてます。お昼前後に空きコマがあるときは、友達と早め(遅め)の昼食に行くこともあります。

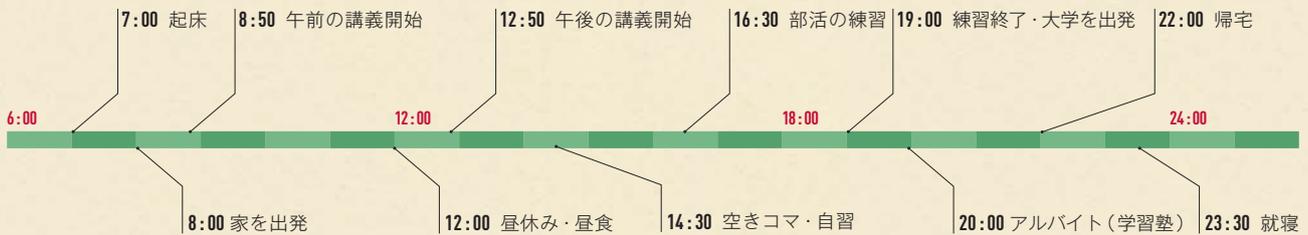
火水金土の週4日、一日3時間ほどの活動です。



# CAMPUS LIFE Riku's ONE DAY

法政経学部は2年次から各自の希望に基づいたコースに配属されます。私は政治学・政策学コースに所属し、政治の分野のみならず、法学など他の社会科学も含めて広く深く学んでいます。主に1年次に履修する普遍教育科目では「地球科学A1・2」という理系分野の授業が非常に興味深かったです。文理問わず誰でも幅広い授業を受けられるのも千葉大学の魅力だと思います。また、陸上競技部で活動しており、朝から授業、夕方に部活、夜にアルバイトが続く日もあります。これらは空きコマ等の自分の時間を活用することで両立できています。

窪田 陸 さん(日本大学習志野高等学校出身)  
法政経学部 法政経学科 政治学・政策学コース



これは2年次のスケジュールです

6 June

7 July

・ユニバーサルフェスティバル

第2ターム

8 August

・夏季休業

第3ターム

9 September

・夏季休業

12 December

・ユニバーサルフェスティバル  
・冬季休業

第5ターム

1 January

2 February

3 March

・千葉大学卒業式

第6ターム





**岡田 雪寧 さん**  
 (大阪府立天王寺高等学校出身)  
 園芸学部 食料資源経済学科

松戸と西千葉のどちらにも通いやすい京成松戸線沿線を探しました。家賃の安さと日当たりの良さ、駅からの距離、災害時の被害が小さい地域であることを重視しました。築年数は古いですが、鉄筋コンクリート造で安心です。住んでみて、遅くまで開いているスーパーが近くにある点と畳の部屋がある点がお気に入りです。

広さ	家賃	大学まで
10.5 畳	3.7 万円	40 (電車)分



**西川 一真 さん**  
 (福島県立安積黎明高等学校出身)  
 文学部 人文学科 歴史学コース

最優先条件であるバストイレ別の他に、自炊を多くするので、ガスコンロ2口の物件を選びました。住んでいるのはJR稲毛駅と京成みどり台駅の間、黒砂台という場所。様々な周辺施設が徒歩圏内にあつておすすめです。また、地元密着タイプの不動産を利用し、入試前の秋には家を確保しました。早めの動き出しが重要です。

広さ	家賃	大学まで
11 畳	6.5 万円	15 (徒歩)分

# HOUSING INTERVIEW

CAMPUS LIFE

一人暮らしの住まいについて西千葉・亥鼻・松戸キャンパスに通う4名の学生にどのような住まいを選んだのか聞いてみました。



**日野 鶴乃 さん**  
 (愛媛県立松山東高等学校出身)  
 医学部 医学科

1年次は西千葉と亥鼻の両キャンパスに通うため、亥鼻寄りで両方に通いやすい、都町という所に決めました。また、Wi-Fiが無制限で使用できることや、寝室空間が広いことも重視したことの一つです。立地的に自転車は必須ですが、コンビニが歩いてすぐの場所にあるので、何か困った時はいつもお世話になっています。

広さ	家賃	大学まで
13 畳	5 万円	10 (自転車)分

**常田 千尋 さん**  
 (北海道立函館中部高等学校出身)  
 国際教養学部 国際教養学科

安全面から2階の部屋ということ、生活のしやすさからお風呂とお手洗いが別の物件を条件としました。いくつかの物件に絞ってから、2口のコンロの設置が可能か、十分な収納があるかを重視しました。その中でも、大学に歩いていける範囲で、近くにスーパーもあることからモノレール天台駅付近の物件を選びました。

広さ	家賃	大学まで
12 畳	4.9 万円	10 (徒歩)分



## 住まい・アルバイト

大学内の生活協同組合で住まいやアルバイトの紹介をしています。家賃は条件により多少の差異がありますが、おおむね4万円~7万円代です。

### 千葉大生協でアパート・マンション探し!



3月には特設住まい紹介所を設けて、現役の千葉大生が住まい探しのお手伝いをしています。

### アルバイトの紹介



「住まい・アルバイト紹介カウンター」で掲示しています。

# CLUBS & CIRCLES

西千葉キャンパスだけで100を超えるサークルがあります。きっとあなたの興味のある団体がみつかるはずです。

## 体育会部活動

- |              |             |            |
|--------------|-------------|------------|
| 体育会          | スキー部        | ハンドボール部    |
| 合気会合気道部      | スケート部       | フットサル部     |
| アメリカンフットボール部 | セバタクロー部     | ボルダリング部    |
| オリエンテーリング部   | 漕艇部         | 民族舞踊部      |
| 空手部          | ソフトテニス部     | モダンダンス部    |
| 弓道部          | 男子ソフトボール部   | ヨット部       |
| 競技ダンス部       | 女子ソフトボール部   | ライフル射撃部    |
| 剣道部          | 体操競技部       | ラグビー部      |
| 硬式庭球部        | 射道部         | 男子ラクロス部    |
| 硬式野球部        | 卓球部         | 女子ラクロス部    |
| ゴルフ部         | トライアスロン部    | 陸上競技部      |
| 男子サッカー部      | 馬術部         | ワンダーフォーゲル部 |
| 女子サッカー部      | 男子バスケットボール部 |            |
| 柔道部          | 女子バスケットボール部 |            |
| 少林寺拳法部       | バドミントン部     |            |
| 準硬式野球部       | 男子バレーボール部   |            |
| 水泳部          | 女子バレーボール部   |            |

46団体

## 西千葉キャンパス

### 体育系サークル

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ダブルダッチサークルAX     | サッカー同好会               |
| サイクリング部          | アルティメット同好会 MISTRAL    |
| ストリートダンスサークル DLC | ソフトテニスサークル YELL (エール) |
| キャンピングツアー部       | フロアボールクラブサリバンディ       |
| 骨折り損のバレーボール同好会   | B.A.S.S. (バドミントン) など  |

26団体

### 文化系サークル

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| マジックサークル | クイズ研究会ミルフィーユ       |
| 競技かるた会   | Chiba Robot Studio |
| 茶道部      | 演劇部                |
| 写真部      | 地域子ども研究会「あらくさ」     |
| 放送研究会    | 将棋部 など             |

38団体

### 音楽系サークル

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 合唱団               | ショパンの会 (ピアノ演奏)     |
| 管弦楽団              | 吹奏楽団               |
| アカベラサークル T.o.N.E. | モダンジャズ研究会          |
| ギター部              | Sound House ZOO など |

18団体

## 亥鼻キャンパス

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 医学部看護学部薬学部硬式庭球部 | 亥鼻男子バスケットボール部  |
| 医学部看護学部薬学部硬式野球部 | 医業看女子バスケットボール部 |
| 医学部ラグビー部        | 医業看女子バレーボール部   |
| 亥鼻空手道部          | 医業看男子バレーボール部   |
| 亥鼻卓球部           | 千葉大学東洋医学研究会    |
| IDC (亥鼻ダンスサークル) | 千葉ぬいぐるみ病院      |
| 亥鼻フットサル部        | 亥鼻手話の会         |
| 亥鼻バドミントン部       | 世界の医療を考える会     |
| 亥鼻陸上競技部         | 亥鼻ジャズ研究会       |
| 医業看護学部剣道部       | ゐのはな音楽部 など     |

30団体

## 松戸キャンパス

- |                               |                    |
|-------------------------------|--------------------|
| 園芸バレーボール部                     | 松戸ミュージックサークル (MMC) |
| こんぷ (バドミントン)                  | オリエンテーリング部松戸支部     |
| サイクリング部松戸支部                   | 松戸射道部              |
| MaTe (テニス)                    | 援農お宝発掘隊            |
| 植物同好会松戸支部                     | セバタクロー部松戸支部        |
| HGC (Human Green Coordinator) |                    |

11団体



# STUDENT ACTIVITIES

ボランティア活動を通じた社会貢献の推進と学生の人間的成長の支援を目的として活動している6つのピアサポート学生団体から成る「ふれあいの環」と2009年にNPO法人格を取得した環境ISO学生委員会をご紹介します。

## ふれあいの環



学生と学生、学生と教職員が相互にふれあい、イベントなどを通じて総合的な人間力を身に付けていく場所です。6つの学生団体による学生支援活動も企画・展開されており、皆さんの修学生生活を多様に豊かな学生生活へとサポートしています。

### ボランティア支援

#### C-vol

最新のボランティア情報を掲示板で発信、ボランティア未経験者が抱える疑問や不安を解消するための相談、ボランティアツアーの企画・運営に取り組んでいます。

### コミュニティ支援

#### GCAP

自分で決めることが増える大学では、不安も多くなりがちです。相談したい時のために学部学年を超えた繋がり場と話し合うことのできる環境を提供しています。

### 留学生支援

#### CISG

「Chiba University International Students Group」の略で、イベントの運営、ボランティア等を通して様々な国からの留学生を支援、交流しよう!という団体です。

### 聴覚障害者支援

#### ノートテイク会

先生が発言した「音の情報」をパソコン等を用いて「文字の情報」に通訳し、聴覚障害を持つ学生が講義に参加できるようにサポートをしています。

### キャリア支援

#### career port

全ての千葉大生に自己のキャリアや人生、価値観を考える機会を提供し、社会に出て役立つスキルを身に付けることの2つを目的に活動しています。

### 身体障害者支援

#### チャレンジド・サポートみのり

車椅子などを利用する学生が、有意義な学生生活を送れるように授業参加支援や移動時のサポートをします。



## 環境ISO学生委員会

学生主体で千葉大の環境マネジメントシステムの運用を行う団体です。学内の環境活動、地域社会での緑化や里山保全活動、企業と連携したSDGs啓発活動などを行い、活動自体が「環境マネジメントシステム実習」科目の単位になるのが特徴です。

### 【活動内容(一部)】

- 省エネ・省資源啓発活動
- 環境啓発イベントの開催
- こども向けの環境教育活動
- 企業とのSDGs啓発プロジェクト
- 地域と共に行う緑化活動
- 国内外の環境系会議での発表



# CAREER SUPPORT

就職支援課には、就職情報サイトでは得られない、千葉大学に直接寄せられた求人情報やOB・OGに関する情報、先輩の就職実績など、千葉大生に特化した各種の情報があります。また、各学部には、就職指導を行う教員を配置し、きめ細やかな就職指導を行っています。

## キャリア・サポート体系図(学内ガイダンス)

	1年次	2年次	3年次	4年次
就職対策	<b>■キャリア教育</b> 普遍教育「キャリアを育てる」 専門教育科目 各学部開講科目	<b>■低学年向けキャリアセミナー</b> 自己分析講座 インターンシップ参加準備セミナー	<b>■就職ガイダンス・セミナー</b> インターンシップセミナー エントリーシート講座  <b>■業界・企業理解イベント</b> BiZCafe MeetUp 業界/仕事研究セミナー OBOG座談会 企業説明会  <b>■個別就職相談</b> 進路相談 エントリーシート添削 面接対策	<b>■選考対策</b> グループディスカッション 集団面接  <b>■求人紹介</b> 個別相談会 求人紹介セミナー
公務員試験対策	<b>■公務員ガイダンス</b> 公務員制度説明 試験説明 学部別ガイダンス(就職状況説明) 等			
	<b>■個別相談会</b> 学習方法相談 併願相談 等			
	<b>■交流会</b> 公務員合格者との交流会 公務員OBOGとの交流会			
	<b>■官公庁業務説明会</b> 合同説明会 個別説明会			
			<b>■個別面接講座</b>	
				<b>■官庁訪問対策講座</b>



学内ガイダンス、国家・地方公務員資料コーナー、U・Iターン情報コーナー、就職資料コーナー、就活本貸し出し、OBOG名簿の閲覧、求人票の閲覧

### 千葉大学 UniCareer

千葉大学に寄せられた求人情報を学内・自宅を問わず検索・閲覧できるシステムです。

### 就職相談

毎週月～金曜日(長期休業中は一部実施)に専門のキャリアアドバイザーによる就職相談を実施。

### BiZCAFE

カフェとしての利用の他、企業との交流イベントなどを目的としたワークショップへの参加が可能。

## 就職支援課からのメッセージ

### 心から納得できる進路のために

初めて経験される就職活動に対して不安を感じることや、ご自分の活動が正しいのかが分からなくなることは、とても自然なことだと思います。そのような時に、私共就職支援課が、みなさんに頼ってもらえる存在であれたらと思っています。これからも、みなさんが納得できるファーストキャリアに向かって、主体的に進んでいただけるよう、変化する採用市場に対応した支援を提供していきたいと考えています。

千葉大学  
就職支援課



# TUITION/SCHOLARSHIP

## 学費・奨学金

千葉大学の入学料・授業料情報及び各種経済的支援等は以下のとおりです。

## 入学料・授業料

※入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

入学料  
(初年度のみ)

282,000円

授業料  
(半期ごとの納入)

642,960円  
(半期 321,480円)

その他入学時に  
かかる費用

● 学生教育研究災害傷害保険料

1,000円～7,520円

所属学部、修業年限により金額が異なります

● 後援会費

0円～80,000円

所属学部により金額が異なります

● その他

上記の他に教科書、ノートパソコンの購入費用が必要となります。学部により必要な教科書、ノートパソコンのスペック等が異なります。入学する予定の学部・学科等が実施するガイダンス等での説明をふまえて検討してください。

## 授業料減免

高等教育の修学支援新制度（授業料等減免と給付奨学金）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>



学部生については、原則修学支援新制度（授業料等減免と給付奨学金の2つが連動した制度）に基づき授業料が減免されます。また、令和7年度から、多子世帯の学生等に対する大学等の授業料・入学金の無償化が実施されます。

修学支援新制度及び多子世帯の授業料等無償化の詳細は、日本学生支援機構Webサイトでご確認ください。

## 奨学金

奨学金制度

<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/scholarship.html>



日本学生支援機構奨学金のほか、地方公共団体、民間団体等の奨学金制度等、給付型や貸与型の様々な奨学金募集があります。

本学に在籍する学部生の5人に1人は、日本学生支援機構の奨学金（給付型・貸与型）による支援を受けています。学部生を対象とする日本学生支援機構奨学金の種類と月額はおおむね以下のとおりです。

	月額
給付奨学金（返還不要）(※)	7,300円～66,700円
第一種奨学金（返還必要 無利子）	20,000円～51,000円
第二種奨学金（返還必要 有利子）	20,000円～120,000円

※世帯の所得金額に基づき判定された支援区分に応じて金額が変わります。日本学生支援機構の実施する進学資金シミュレーターで自身が奨学金の対象となるか判定できますので、ご確認ください。なお、申請は大学入学後も可能ですが、高校在学中に申請される方がほとんどです。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>

# QUALIFICATION

## 学部別取得可能免許・資格一覧

2025年度入学者用

学部・学科・課程・コース		教員免許	資格等	
国際教養学部	国際教養学科		学芸員資格 司書資格 社会調査士資格(社会調査協会認定)	
文学部	人文学科	行動科学コース	中学校一種(社会) 高校一種(公民)	
		歴史学コース	中学校一種(社会) 高校一種(地理歴史)	
		日本・ユーラシア文化コース	中学校一種(国語) 高校一種(国語)	
		国際言語文化学コース	中学校一種(英語) 高校一種(英語)	
法政経学部	法政経学科		学芸員資格 司書資格	
教育学部	学校教員養成課程	小学校一種 中学校一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語) 高校一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、家庭、工業、英語) 特別支援学校一種(知・肢・病) 幼稚園一種 養護教諭一種	社会教育士(社会教育主事養成課程) 学芸員資格 司書資格 保育士資格(乳幼児教育コース入学者のみ)	
理学部	数学・情報数理学科	中学校一種(数学) 高校一種(数学、情報)	学芸員資格 司書資格	
	物理学科 化学科 生物学科	中学校一種(理科) 高校一種(理科)		
	地球科学科	中学校一種(理科) 高校一種(理科)	学芸員資格 司書資格 技術士試験の一次試験免除	
工学部	総合工学科	建築学コース	一級建築士受験資格(所定の単位修得を要す) 二級建築士及び木造建築士受験資格(所定の単位修得を要す) インテリアプランナー(実務試験の要件免除) 技術士試験の一次試験免除	
		都市工学コース	中学校一種(理科) 高校一種(理科)	一級建築士受験資格(所定の単位修得を要す)※ 二級建築士及び木造建築士受験資格(所定の単位修得を要す)※ ※2026年度入学者より廃止します。
		デザインコース		
		機械工学コース	※工学部総合工学科では、所属コースによって在学中の教員免許状取得が難しい場合があります。	
		医工学コース		
		電気電子工学コース	工学部総合工学科では、全コースにおいて学芸員資格、司書資格が取得できます。	電気通信主任技術者の学科試験「電気通信システム」免除 第一種までの電気主任技術者の学科試験免除(資格取得には所定の実務経験履歴が必要) 第一級陸上無線技術士の学科試験「無線工学の基礎」免除(卒業後3年以内)
		物質科学コース		危険物取扱者(甲種)受験資格(履修科目によるが3年次から)
共生応用化学コース		危険物取扱者(甲種)受験資格(2年次から) 毒物劇物取扱責任者資格		
情報・データサイエンス学部	情報・データサイエンス学科	高校一種(情報)	学芸員資格、司書資格	
園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	中学校一種(理科) 高校一種(理科、農業)	学芸員資格 食品衛生管理者資格(応用生命化学科) 食品衛生監視員の受験資格(応用生命化学科) 危険物取扱者(甲種)の受験資格 樹木医補資格	
	食料資源経済学科	高校一種(農業)	JABEE 技術士試験の一時試験免除(緑地環境学科) 二級建築士及び木造建築士受験資格(所定の単位取得を要す) (緑地環境学科)	
医学部	医学科		医師国家試験受験資格、学芸員資格、司書資格	
薬学部	薬学科		薬剤師国家試験受験資格、学芸員資格、司書資格	
	薬科学科		学芸員資格、司書資格	
看護学部	看護学科		学芸員資格、司書資格 看護師及び保健師国家試験受験資格 選択により助産師国家試験の受験資格も取得可能	

# EMPLOYMENT/ADMISSION RESULTS

## 就職・進学実績

		国際教養学部	文学部	法政経学部	教育学部
2023年度	卒業生数	99	169	353	389
	進学者数(率)	10(10.1%)	15(8.9%)	25(7.1%)	30(7.7%)
	就職者数(率)	76(76.8%)	148(87.5%)	287(81.3%)	336(86.4%)
	その他(率)	13(13.1%)	6(3.6%)	41(11.6%)	23(5.9%)

# PLACE OF EMPLOYMENT

## 2023年度卒業生の主な就職先

### 国際教養学部

- 伊藤忠テクノソリューションズ
- 日立システムズ
- 野村総合研究所
- TBSテレビ
- 千葉銀行
- トラベルックスジャパン
- 住友生命保険
- アマゾンジャパン
- 三井物産
- 山善
- 東レ
- JFEスチール
- ニッポン
- 日本航空
- 日新
- ANAエアポートサービス
- エン・ジャパン
- トーセイ
- 積水ハウス
- パーソルキャリア
- イオンリテール
- 日本学生支援機構
- 京業測量
- 東京都庁
- 総務省
- 東京国税局
- 厚生労働省

### 法政経学部

- 千葉銀行
- 日本航空
- パーソルキャリア
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- 三菱地所
- 大和証券
- 東日本旅客鉄道
- 日本電気
- 日立システムズ
- 北陸銀行
- NTT東日本
- あいおいニッセイ同和損害保険
- 東京都庁
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- 千葉支店
- 特許庁
- 参議院事務局
- 千葉地方裁判所
- 江東区役所
- 国土交通省
- 東京国税局
- 金融庁
- 群馬県庁
- 警察庁
- 東京地方裁判所
- 栃木県庁
- 法務省

### 理学部

- 千葉銀行
- リソナ銀行
- 日本政策投資銀行
- 大樹生命保険
- 日本メトロニック
- 佐藤製薬
- 東京電力ホールディングス
- 住友セメントシステム開発
- 富士通F S A S
- T I S
- K S K
- 日本情報システム
- I T Xコミュニケーションズ
- フューチャー
- 東ソー
- ギガプライズ
- 内田洋行
- ベネッセコーポレーション
- 俄(NIWAKA)
- 経済産業省
- 国土交通省
- 東京都庁
- 埼玉県警察科捜査研究所
- 南伊豆市役所
- 千葉市教育委員会
- 東京都教育委員会
- 栃木県教育委員会

### 園芸学部

- JA横浜
- アド・ワン・ファーム
- 全国農業協同組合
- 箱根植木
- グリーンライフ産業
- 清水建設
- 西部造園
- 日鉄エンジニアリング
- 日比谷アメニス
- キリンホールディングス
- クミアイ化学工業
- ヤケルト
- 理研ビタミン
- イオンモール
- オトラゼネカ
- 小野薬品工業
- 協和発酵キリン
- 興和
- 住友ファーマ
- 第一三共
- 大腸薬品工業
- 厚生労働省
- 国土交通省
- ツムラ
- 東京都庁
- 東京都
- 埼玉県
- 千葉県
- 林野庁

### 薬学部4年制(大学院医学薬学府修士・後期3年博士課程を含む)

- 千葉大学大学院薬学研究院
- 東京農工大学感染症未来疫学研究センター
- 旭化成ファーマ
- 大塚製薬
- Sanford Research 研究所
- 塩野義製薬
- 住友化学
- 武田薬品工業
- 中外製薬
- 日本たばこ産業医薬総合研究所
- 日本ベリンガー・インゲルハ임
- ベプドリーム
- アストラゼネカ
- 小野薬品工業
- 協和発酵キリン
- 興和
- 住友ファーマ
- 第一三共
- 大腸薬品工業
- 中外製薬
- ツムラ
- 久光製薬
- MeijiSeikaファルマ
- 森永製薬
- ライオン
- 医薬品医療機器総合機構

### 看護学部

- 千葉大学医学部附属病院
- 東京大学医学部附属病院
- 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
- 国立成育医療研究センター
- 東京医科歯科大学病院
- 地方独立行政法人東京都立病院機構
- 筑波大学附属病院
- 九州大学病院
- 慶應義塾大学病院
- 国立研究開発法人 国際医療研究センター病院
- 独立行政法人埼玉県立病院機構
- 地方独立行政法人総合病院
- 国保旭中央病院
- 杏林大学中央病院
- 北里大学北里研究所病院
- 東京からいふ赤十字母子医療センター
- 日本赤十字社医療センター
- 武蔵野赤十字病院
- 神奈川県
- 長野県
- 東京都足立区
- 東京都葛飾区
- 東京都杉並区
- 岩手県一関市
- 千葉県千葉市
- 千葉県柏市
- 千葉県四街道市
- 株式会社エス・エム・エス

### 文学部

- 日立システムズ
- 日本赤十字社
- レバレジーズ
- NTTデータ
- 秋田銀行
- 伊藤忠商事
- カーブスジャパン
- クラブツーリズム
- サントリーホールディングス
- 大日本印刷
- 成田ANAエアポートサービス
- 日清オイリオグループ
- マイナビ
- 三井化学
- 丸紅フォレストリンクス
- 千葉銀行
- カープスジャパン
- 東京大学
- 千葉県市役所
- 東京都庁
- 経済産業省
- 東京地方裁判所
- 福岡市役所
- 人事院
- 東京国税局
- 千葉県立高等学校教員

### 教育学部

- 公立小学校教諭
- 公立中学校教諭
- 公立高等学校教諭
- 公立義務教育学校教諭
- 公立特別支援学校教諭
- 公立学校養護教諭
- 公立幼稚園教諭
- 公立保育所保育士
- 私立小学校教諭
- 私立中学校教諭
- 私立高等学校教諭
- 文部科学省
- 法務省
- 財務省関東財務局
- 千葉県庁
- 東京都庁
- 千葉県市役所
- 家庭裁判所
- 千葉大学
- 日本入試センター

### 工学部

- 清水建設
- 安藤・間
- 広島建設
- 西日本旅客鉄道
- インターネットイニシアティブ
- ヤマハ
- 日産自動車
- 富士通
- JFEスチール
- 本田技研工業
- セイコーエプソン
- NHK
- 三菱電機
- 東芝ライテック
- キヤノン
- パナソニック
- 東京電力ホールディングス
- シヤープ
- SUMCO
- コスモエネルギーホールディングス
- FCマーケティング
- アサヒビール
- クレスコ
- Cygames
- NTTドコモ
- サイバーエージェント
- 国土交通省関東地方整備局

### 医学部(主な初期研修先)

- 千葉大学医学部附属病院
- 成田赤十字病院
- 君津中央病院
- 松戸市立総合医療センター
- 千葉労災病院
- 船橋市立医療センター
- 国保旭中央病院
- 千葉市立青葉病院
- 千葉県済生会習志野病院
- 虎の門病院
- 千葉医療センター
- さいたま市立病院
- 千葉県立海浜病院
- 関東中央病院
- 千葉西総合病院
- 船橋中央病院
- 東京警察病院
- 小張総合病院
- 公立昭和病院
- 東京歯科大学市川総合病院

### 薬学部6年制

- 千葉大学医学部附属病院
- がん研究会有明病院
- 東京都立病院機構
- 信州大学医学部附属病院
- 国立国際医療研究センター病院
- 静岡県立静岡がんセンター
- 横浜賀正済生会病院
- アイン薬局
- 日本調剤
- 千葉薬品
- 第一三共
- アストラゼネカ
- 日本化薬
- 第一三共ヘルスケア
- 興和
- 武田薬品工業
- IQVIA ジャパン
- 医薬品医療機器総合機構
- 東京都
- 群馬県

※情報・データサイエンス学部は、2024年度開設のため卒業生はいません

理学部	工学部	園芸学部	医学部	薬学部（4年）	薬学部（6年）	看護学部
191	663	192	108	43	41	76
141 (73.8%)	494 (74.5%)	99 (51.5%)	0 (0.0%)	41 (95.3%)	0 (0.0%)	11 (14.5%)
45 (23.6%)	143 (21.6%)	84 (43.8%)	106 (98.1%)	2 (4.7%)	40 (97.6%)	65 (85.5%)
5 (2.6%)	26 (3.9%)	9 (4.7%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)

※医学部の就職者数は、臨床研修医の数値



### 小学校教員（公立小学校）就職

川名 亜弥 さん（千葉県立長生高等学校出身）  
教育学部 学校教員養成課程 小学校コース 卒業

小学校コースでは、1年生から小学校や中学校に行く機会があり、早い段階から実践的な指導を意識できたと思います。教育実習で心が折れそうになりましたが、友人や先生方に支えられ、また、児童が「わかった！」「できた！」と嬉しそうに言う姿を見て、教員になりたい気持ちが強まりました。同じクラスの仲間にとどまらず、様々な方とチーム千葉大学として、力を合わせて採用試験に挑戦したのも良い思い出です。4年間を通して、留学やアルバイトなど様々なことに挑戦し、たくさんの方に会ったことで、視野が広がったと感じています。



### 情報通信業 就職

大沢 理子 さん（群馬県立前橋女子高等学校出身）  
国際教養学部 国際教養学科 卒業

2年生から将来を考えるようになり、大学主催のグローバルインターンシップに参加しました。その後1年間の派遣留学から帰国した後に休学をし、その期間に自分自身と向き合うこと、家族や友達とたくさん話すことで自分がやりたい仕事の軸が定まりました。50社以上の説明会に参加し選考を受け、内定をいただいた数社の中でも時間をかけて悩みました。就活は「多くの人と話し、相談すること」が大切だと思います。様々な企業で働く人の声を聞き、自分が大切にしたいことを比べて、後悔のない就活ができるよう応援しています。



### 公務員 就職

高橋 涼人 さん（宮城県古川高等学校出身）  
法政経学部 法政経学科 政治学・政策学コース 卒業

就活に限らず、大学生活では、主体的に行動する力が重要です。就活においては、公務員試験や志望先についての情報収集を入学時の早い段階から自分で行っていました。また、在学中には公務員になる上で必要だと思う講義を受けたり、部活動に参加し部長を務めたりするなど、主体性を持って学生生活を送ってきました。これらの経験は就活で自分をアピールする際の強みにもなりました。大学生活は自分から働きかけないと充実したものにはなりません。自分のやりたいことに自分からチャレンジすることで大きく成長できると思います。



### 千葉大学大学院融合理工学府 進学

石塚 海登 さん（千葉県立長生高等学校出身）  
工学部 総合工学科 機械工学コース 卒業

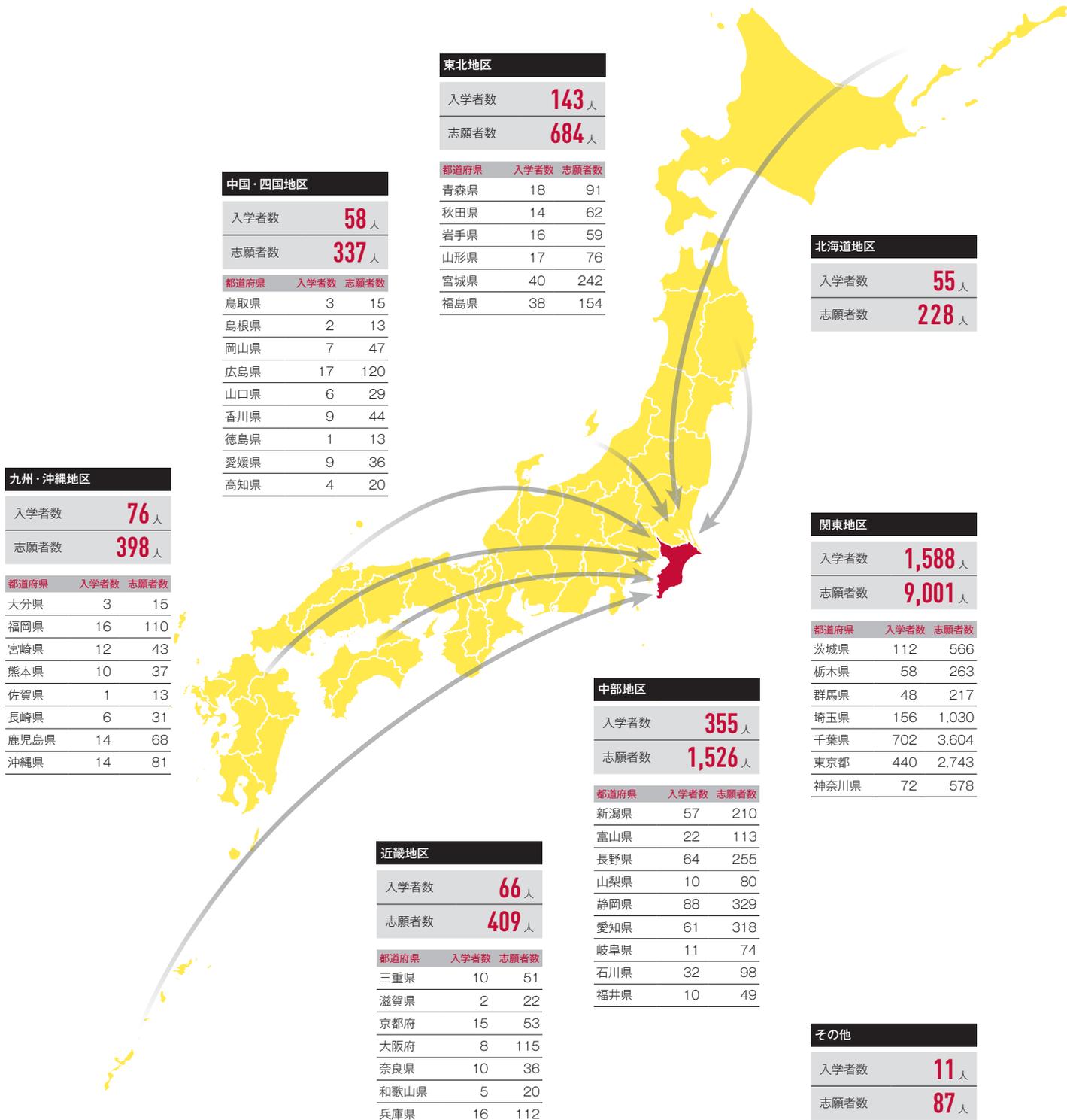
研究活動では様々な論文を読んで知識を身に付け、指導教員と相談しながら研究計画を立て、先輩方に教わりながら実験や研究発表を行いました。これまでの学生らしい生活とは大きく変わって、どのような実験を行いどのような結果を出すのかを自分で考えて決めることが多くなりました。苦勞もありましたがより深く研究をしたいと考え大学院への進学を決意しました。分からないことを聞いたり自分の意見を伝えたりと、自分から行動することが様々な分野において大切だと考えているので、積極的に行動することを心掛けてみてください。

# NEWLY ENROLLED STUDENTS

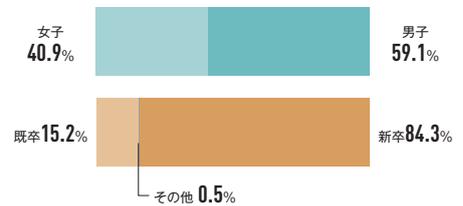
## 入学者内訳

### 全国から集まる学生 (2025年4月)

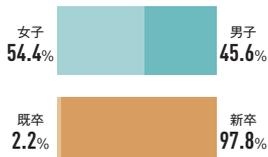
オンリーワンの大学を目指して、千葉大学には全国から学生が集まります。毎年「47都道府県すべて」から学生が入学していることは、千葉大学の大きな特長となっています。



入学者数	<b>2,352</b> 人
志願者数	<b>12,670</b> 人

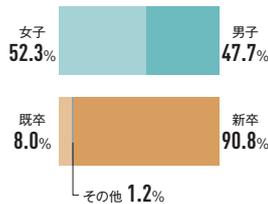


### 国際教養学部



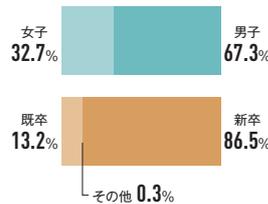
入学者数	<b>90</b> 人
志願者数	<b>322</b> 人
新卒	88人
既卒	2人
その他	0人

### 文学部



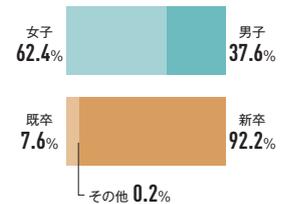
入学者数	<b>174</b> 人
志願者数	<b>886</b> 人
新卒	158人
既卒	14人
その他	2人

### 法政経学部



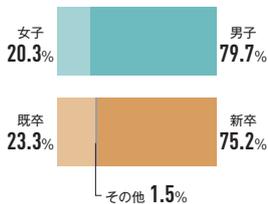
入学者数	<b>370</b> 人
志願者数	<b>1,957</b> 人
新卒	320人
既卒	49人
その他	1人

### 教育学部



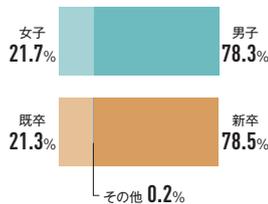
入学者数	<b>383</b> 人
志願者数	<b>1,141</b> 人
新卒	353人
既卒	29人
その他	1人

### 理学部



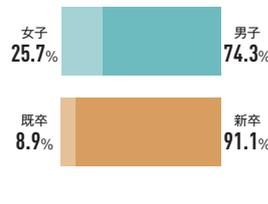
入学者数	<b>202</b> 人
志願者数	<b>1,572</b> 人
新卒	152人
既卒	47人
その他	3人

### 工学部



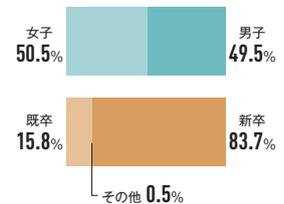
入学者数	<b>544</b> 人
志願者数	<b>3,705</b> 人
新卒	427人
既卒	116人
その他	1人

### 情報・データサイエンス学部



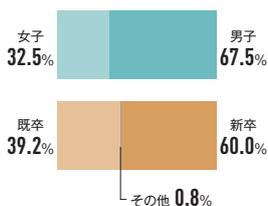
入学者数	<b>101</b> 人
志願者数	<b>449</b> 人
新卒	92人
既卒	9人
その他	0人

### 園芸学部



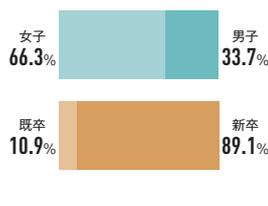
入学者数	<b>196</b> 人
志願者数	<b>1,013</b> 人
新卒	164人
既卒	31人
その他	1人

### 医学部



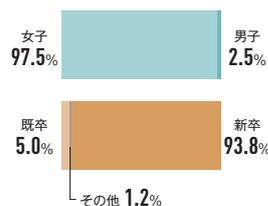
入学者数	<b>120</b> 人
志願者数	<b>674</b> 人
新卒	72人
既卒	47人
その他	1人

### 薬学部



入学者数	<b>92</b> 人
志願者数	<b>695</b> 人
新卒	82人
既卒	10人
その他	0人

### 看護学部



入学者数	<b>80</b> 人
志願者数	<b>256</b> 人
新卒	75人
既卒	4人
その他	1人

## 2025年度 一般選抜実施状況 (前期日程試験)

学部	学科・課程等		募集 人数	志願者数			志願 倍率	受験者数			合格者数			入学者数			
				男	女	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
国際教養学部	国際教養学科		83	151	152	303	3.7	138	136	274	51	55	106	40	46	86	
文学部	人文学科	行動科学コース	49	73	77	150	3.1	69	75	144	25	27	52	25	25	50	
		歴史学コース	23	75	39	114	5.0	70	39	109	20	6	26	17	6	23	
		日本・ユーラシア文化コース	28	60	98	158	5.6	58	94	152	12	22	34	11	20	31	
		国際言語文化学コース	25	27	45	72	2.9	27	43	70	13	14	27	13	11	24	
	計		125	235	259	494	4.0	224	251	475	70	69	139	66	62	128	
法政経学部	法政経学科		290	771	344	1,115	3.8	685	307	992	223	110	333	209	100	309	
教育学部	学校教育員養成課程	小学校コース	124	152	168	320	2.6	145	153	298	70	71	141	66	68	134	
		中学校コース	国語科教育分野	6	9	11	20	3.3	9	9	18	4	2	6	4	2	6
			社会科教育分野	5	19	4	23	4.6	19	4	23	7	0	7	7	0	7
			数学科教育分野	8	45	12	57	7.1	41	11	52	7	1	8	7	1	8
			理科教育分野	8	13	5	18	2.3	13	5	18	5	4	9	4	4	8
			技術科教育分野	5	16	6	22	4.4	16	6	22	4	1	5	4	0	4
		小計		32	102	38	140	4.4	98	35	133	27	8	35	26	7	33
		小中専門教科コース	音楽科教育分野	10	2	9	11	1.1	0	9	9	0	8	8	0	8	8
			図画工作・美術科教育分野	12	9	9	18	1.5	9	8	17	7	5	12	5	5	10
			保健体育科教育分野	20	31	22	53	2.7	25	19	44	11	10	21	11	9	20
			家庭科教育分野	10	2	22	24	2.4	1	20	21	1	10	11	1	10	11
		小計		52	44	62	106	2.0	35	56	91	19	33	52	17	32	49
		英語教育コース		25	30	39	69	2.8	29	35	64	7	18	25	6	17	23
		特別支援教育コース		17	24	42	66	3.9	23	38	61	5	14	19	5	13	18
		乳幼児教育コース		15	1	34	35	2.3	1	33	34	0	15	15	0	15	15
養護教諭コース		20	2	50	52	2.6	2	49	51	1	20	21	1	20	21		
計		285	355	433	788	2.8	333	399	732	129	179	308	121	172	293		
理学部	数学・情報数理学科		29	206	15	221	7.6	197	14	211	28	2	30	26	2	28	
	物理学科		23	135	15	150	6.5	131	14	145	24	1	25	20	1	21	
	化学科		31	126	46	172	5.5	121	42	163	23	11	34	22	10	32	
	生物学科		29	80	58	138	4.8	77	54	131	16	15	31	16	11	27	
	地球科学科		30	96	30	126	4.2	91	25	116	26	7	33	24	7	31	
	計		142	643	164	807	5.7	617	149	766	117	36	153	108	31	139	
工学部	総合工学科	建築学コース	50	213	78	291	5.8	207	76	283	41	14	55	35	14	49	
		都市工学コース	30	103	33	136	4.5	100	33	133	28	6	34	27	6	33	
		デザインコース	44	132	94	226	5.1	124	88	212	30	18	48	29	18	47	
		機械工学コース	55	326	17	343	6.2	319	17	336	53	5	58	49	4	53	
		医工学コース	30	75	31	106	3.5	71	30	101	19	14	33	18	14	32	
		電気電子工学コース	56	239	13	252	4.5	233	13	246	55	3	58	54	3	57	
		物質科学コース	70	313	54	367	5.2	308	54	362	71	11	82	67	11	78	
		共生応用化学コース	72	163	86	249	3.5	157	83	240	51	26	77	50	24	74	
計		407	1,564	406	1,970	4.8	1,519	394	1,913	348	97	445	329	94	423		
情報・データサイエンス学科		70	333	57	390	5.6	309	50	359	66	15	81	62	14	76		
園芸学部	園芸学科		44	108	77	185	4.2	103	73	176	34	23	57	31	23	54	
	応用生命化学科		20	38	70	108	5.4	37	66	103	8	18	26	8	18	26	
	緑地環境学科		46	76	60	136	3.0	74	53	127	30	25	55	30	24	54	
	食料資源経済学科		23	72	56	128	5.6	70	54	124	12	18	30	12	15	27	
計		133	294	263	557	4.2	284	246	530	84	84	168	81	80	161		
医学部	医学科	一般枠	82	161	77	238	2.9	152	74	226	62	24	86	61	24	85	
		地域枠	20	57	22	79	4.0	42	14	56	12	8	20	12	8	20	
計		102	218	99	317	3.1	194	88	282	74	32	106	73	32	105		
薬学部			70	199	273	472	6.7	181	255	436	26	49	75	24	46	70	
看護学部	看護学科		49	14	177	191	3.9	11	154	165	1	60	61	1	56	57	
合計			1,756	4,777	2,627	7,404	4.2	4,495	2,429	6,924	1,189	786	1,975	1,114	733	1,847	

## 2025年度 一般選抜実施状況（後期日程試験）

学部	学科・課程等		募集 人数	志願者数			志願 倍率	受験者数			合格者数			入学者数		
				男	女	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学部	学人文	行動科学コース	15	110	136	246	16.4	52	45	97	10	10	20	10	7	17
		歴史学コース	3	44	24	68	22.7	15	10	25	3	0	3	3	0	3
	計	18	154	160	314	17.4	67	55	122	13	10	23	13	7	20	
法政経学部	法政経学科		65	558	274	832	12.8	221	115	336	50	27	77	40	21	61
理学部	数学・情報数理学科		15	196	13	209	13.9	99	6	105	19	1	20	15	1	16
	物理学科		12	162	7	169	14.1	81	2	83	20	0	20	16	0	16
	化学科		8	116	55	171	21.4	39	16	55	10	4	14	9	2	11
	生物学科		10	97	70	167	16.7	48	32	80	9	8	17	6	5	11
	地球科学科		5	26	5	31	6.2	15	3	18	5	0	5	5	0	5
計			50	597	150	747	14.9	282	59	341	63	13	76	51	8	59
工学部	総合工学科	建築学コース	19	257	95	352	18.5	123	53	176	18	5	23	18	4	22
		都市工学コース	12	112	36	148	12.3	44	20	64	11	2	13	8	2	10
		機械工学コース	19	297	23	320	16.8	144	6	150	26	2	28	19	2	21
		医工学コース	9	106	48	154	17.1	42	23	65	7	3	10	6	3	9
		電気電子工学コース	20	404	39	443	22.2	192	16	208	26	1	27	20	0	20
	共生応用化学コース	25	177	77	254	10.2	87	35	122	23	4	27	13	3	16	
計			104	1,353	318	1,671	16.1	632	153	785	111	17	128	84	14	98
園芸学部	園芸学科		9	76	63	139	15.4	29	28	57	6	3	9	6	2	8
	応用生命化学科		7	44	74	118	16.9	18	30	48	3	4	7	3	4	7
	緑地環境学科		11	72	73	145	13.2	36	38	74	7	4	11	4	4	8
	食料資源経済学科		2	10	7	17	8.5	6	6	12	1	1	2	1	1	2
計			29	202	217	419	14.4	89	102	191	17	12	29	14	11	25
医学部	医学科	一般枠	15	256	101	357	23.8	78	38	116	11	9	20	8	7	15
薬学部			10	88	82	170	17.0	36	35	71	8	8	16	6	6	12
合計			291	3,208	1,302	4,510	15.5	1,405	557	1,962	273	96	369	216	74	290

## 2025年度 一般選抜合格者の新卒・既卒割合

学部	学科・課程等		合格者数 計	新卒者		既卒者	
				人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
国際教養学部	国際教養学科		106	101	95	5	5
文学部	人文学科	行動科学コース	72	62	86	10	14
		歴史学コース	29	26	90	3	10
		日本・ユーラシア文化コース	34	31	91	3	9
		国際言語文化学コース	27	26	96	1	4
		計	162	145	176	17	37
法政経学部	法政経学科		410	353	86	57	14
教育学部	学校教員養成課程	小学校コース	141	124	88	17	12
		中学校コース	35	33	94	2	6
		小中専門教科コース	52	47	90	5	10
		英語教育コース	25	25	100	0	0
		特別支援教育コース	19	18	95	1	5
		乳幼児教育コース	15	13	87	2	13
		養護教諭コース	21	19	90	2	10
理学部	数学・情報数理学科		50	34	68	16	32
	物理学科		45	33	73	12	27
	化学科		48	42	88	6	12
	生物学科		48	37	77	11	23
	地球科学科		38	24	63	14	37

学部	学科・課程等		合格者数 計	新卒者		既卒者	
				人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
工学部	総合工学科	建築学コース	78	56	72	22	28
		都市工学コース	47	39	83	8	17
		デザインコース	48	39	81	9	19
		機械工学コース	86	69	80	17	20
		医工学コース	43	36	84	7	16
		電気電子工学コース	85	70	82	15	18
		物質科学コース	82	56	68	26	32
		共生応用化学コース	104	78	75	26	25
情報データサイエンス学部	情報・データサイエンス学科	81	69	85	12	15	
園芸学部	園芸学科		66	56	85	10	15
	応用生命化学科		33	29	88	4	12
	緑地環境学科		66	52	79	14	21
	食料資源経済学科		32	26	81	6	19
医学部	医学科		126	76	60	50	40
薬学部			91	79	87	12	13
看護学部	看護学科		61	56	92	5	8
合計			2,344	1,934	83	410	17

※既卒者等には高卒認定試験合格者や外国の学校（12年の課程）修了者等を含みます。

## 2025年度 一般選抜合格者の平均点、最高点、最低点

学部	学科・課程等	前期日程					後期日程					
		配点	合格者数	合格者の 最高点	合格者の 最低点	合格者の 平均点	配点	合格者数	合格者の 最高点	合格者の 最低点	合格者の 平均点	
国際教養学部	国際教養学科	1,375	103	1,142	866	946						
文学部	人文学科	行動科学コース	1,025	52	890	616	664	875	20	699	615	646
		歴史学コース	1,075	26	830	733	759	875	3	合格者が10名未満のため開示しません		
		日本・ユーラシア文化コース	1,375	34	1,026	867	906					
		国際言語文化学コース	1,025	27	792	686	729					
法政経学部	法政経学科	1,375	333	986	727	789	875	77	730	606	642	
教育学部	学校教育員養成課程	小学校コース	国語科、社会科、算数科、理科、教育学、教育心理学、ものづくり選修	1,475	141	962	714	778				
			国語科教育分野	1,475	6	合格者が10名未満のため開示しません						
		中学校コース	社会科教育分野	1,475	7							
		数学科教育分野	1,475	8								
		理科教育分野	1,475	9								
		技術科教育分野	1,475	5								
		小中専門教育コース	音楽科教育分野	1,475	8							
			図画工作・美術科教育分野	1,475	12	1,022	772	854				
			保健体育科教育分野	1,475	21	988	786	862				
		家庭科教育分野	1,475	11	865	692	758					
		英語教育コース	1,475	25	1,077	877	947					
		特別支援教育コース	1,475	19	881	704	766					
		乳幼児教育コース	1,475	15	1,017	784	862					
養護教諭コース	1,475	21	1,075	722	800							
理学部	数学・情報数理学科	1,375	30	989	776	856	775	20	617	550	569	
	物理学科	1,375	25	942	769	814	775	20	631	509	534	
	化学科	1,375	34	972	764	834	675	14	595	527	554	
	生物学科	1,375	31	1,016	781	835	925	17	774	685	720	
	地球科学科	1,375	33	874	694	755	775	5	合格者が10名未満のため開示しません			
工学部	総合工学科	建築学コース	1,375	55	918	714	780	1,175	23	1,038	873	919
		都市工学コース	1,375	34	860	698	765	1,175	13	1,035	814	874
		デザインコース	1,375	48	974	699	768					
		機械工学コース	1,375	58	931	692	750	1,175	28	1,039	856	922
		医工学コース	1,375	33	972	650	735	1,175	10	913	850	879
		電気電子工学コース	1,375	58	870	673	733	1,175	27	1,013	893	936
		物質科学コース	1,375	82	824	669	707					
		共生応用化学コース	1,375	77	859	649	710	1,175	27	962	807	856
情報・データサイエンス学部	情報・データサイエンス学科	1,375	81	907	697	756						
園芸学部	園芸学科	1,375	57	842	640	698	875	9	合格者が10名未満のため開示しません			
	応用生命化学科	1,375	26	953	698	758	875	7				
	緑地環境学科	1,375	55	872	585	657	875	11	735	556	595	
	食料資源経済学科	1,375	30	910	657	737	875	2	合格者が10名未満のため開示しません			
医学部	医学科	一般枠	1,475	86	1,157	990	1,041	1,475	20	1,265	1,124	1,170
		地域枠	1,475	20	1,069	929	988					
薬学部		1,375	75	1,055	772	842	775	16	642	548	586	
看護学部	看護学科	1,375	60	1,005	723	804						

※この集計には追加合格者を含みません。  
 ※得点は小数点以下四捨五入しています。

# 2025年度 特別選抜実施状況

選抜区分	学部	学科・課程等	募集人数	志願者数			志願倍率	受験者数			合格者数			入学者数			
				男	女	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
学校推薦型選抜	文学部	人文学科	24	14	47	61	2.5	14	47	61	2	21	23	2	21	23	
	情報・データサイエンス部	情報・データサイエンス学科	30	28	25	53	1.8	28	25	53	13	12	25	13	12	25	
	薬学部	薬学科	10	10	43	53	5.3	10	42	52	1	9	10	1	9	10	
	看護学部	看護学科	24	1	62	63	2.6	1	62	63	0	21	21	0	21	21	
	合計		88	53	177	230	2.6	53	176	229	16	63	79	16	63	79	
総合型選抜	国際教養学部	国際教養学科	7	6	13	19	2.7	6	13	19	1	3	4	1	3	4	
	文学部	人文学科	3	2	4	6	2.0	2	4	6	0	1	1	0	1	1	
	法政経学部	法政経学科	5	1	9	10	2.0	1	9	10	0	0	0	0	0	0	
	教育学部	小学校コース	国語科選修	6	4	14	18	3.0	4	14	18	1	5	6	1	5	6
			社会科選修	6	9	12	21	3.5	9	11	20	3	3	6	3	3	6
			算数科選修	6	5	15	20	3.3	5	15	20	2	4	6	2	4	6
			理科選修	6	4	6	10	1.7	4	6	10	2	2	4	2	2	4
			教育学選修	6	7	22	29	4.8	7	22	29	0	6	6	0	6	6
			教育心理学選修	6	7	26	33	5.5	7	26	33	2	5	7	2	5	7
			ものづくり選修	3	2	1	3	1.0	2	1	3	0	1	1	0	1	1
			小計	39	38	96	134	3.4	38	95	133	10	26	36	10	26	36
		中学校コース	国語科教育分野	2	4	5	9	4.5	4	5	9	0	2	2	0	2	2
			社会科教育分野	2	9	5	14	7.0	9	5	14	0	2	2	0	2	2
			数学科教育分野	2	12	3	15	7.5	12	3	15	2	0	2	2	0	2
			理科教育分野	2	6	6	12	6.0	6	6	12	2	1	3	2	1	3
			技術科教育分野	2	4	4	8	4.0	4	4	8	1	2	3	1	2	3
		小計	10	35	23	58	5.8	35	23	58	5	7	12	5	7	12	
		小中専門教科コース	音楽科教育分野	5	2	11	13	2.6	2	11	13	1	3	4	1	3	4
			図画工作・美術科教育分野	3	1	6	7	2.3	1	6	7	0	1	1	0	1	1
			保健体育科教育分野	5	11	18	29	5.8	11	18	29	1	3	4	1	3	4
			家庭科教育分野	5	1	10	11	2.2	1	10	11	1	4	5	1	4	5
	小計	18	15	45	60	3.3	15	45	60	3	11	14	3	11	14		
	英語教育コース	10	12	17	29	2.9	12	17	29	5	6	11	5	6	11		
	特別支援教育コース	8	0	10	10	1.3	0	10	10	0	7	7	0	7	7		
	乳幼児教育コース	5	4	27	31	6.2	4	27	31	0	5	5	0	5	5		
	養護教諭コース	5	0	31	31	6.2	0	31	31	0	5	5	0	5	5		
	計	95	104	249	353	3.7	104	248	352	23	67	90	23	67	90		
理学部	物理学科	4	1	0	1	0.3	1	0	1	1	0	1	1	0	1		
	地球科学科	4	4	6	10	2.5	4	6	10	1	2	3	1	2	3		
計	8	5	6	11	1.4	5	6	11	2	2	4	2	2	4			
工学部	総合工学科 デザインコース	20	23	32	55	2.8	23	31	54	10	9	19	10	9	19		
	総合工学科 物質科学コース	9	3	1	4	0.4	3	1	4	2	1	3	2	1	3		
計	29	26	33	59	2.0	26	32	58	12	10	22	12	10	22			
園芸学部	園芸学科	5	3	3	6	1.2	3	3	6	2	1	3	2	1	3		
	応用生命化学科	4	2	5	7	1.8	2	5	7	0	1	1	0	1	1		
	緑地環境学科	9	2	16	18	2.0	2	16	18	0	7	7	0	6	6		
計	18	7	24	31	1.7	7	24	31	2	9	11	2	8	10			
合計			165	151	338	489	3.0	151	336	487	40	92	132	40	91	131	
園芸産業創発学プログラム	園芸学部	園芸学科	6	3	2	5	0.8	3	2	5	0	0	0	0	0	0	
		食料資源経済学科	4	1	0	1	0.3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
合計			10	4	2	6	0.6	4	2	6	0	0	0	0	0	0	
社会人選抜	文学部	人文学科	若干名	4	4	8	-	4	3	7	3	0	3	2	0	2	
	看護学部	看護学科	7	1	1	2	0.3	1	1	2	1	1	2	1	1	2	
合計				5	5	10	-	5	4	9	4	1	5	3	1	4	
先進科学プログラム	文学部	(方式II)	若干名	1	2	3	-	1	2	3	0	0	0	0	0	0	
	理学部	(方式I)	若干名	3	0	3	-	3	0	3	0	0	0	0	0	0	
		(方式II)	若干名	2	2	4	-	2	2	4	0	0	0	0	0	0	
	工学部	(方式I)	若干名	4	0	4	-	4	0	4	1	0	1	1	0	1	
		(方式II)	若干名	0	1	1	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(総合型選抜方式)	若干名	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	情報・データサイエンス部	(方式I)	若干名	2	1	3	-	2	1	3	0	0	0	0	0	0	
(方式II)		若干名	3	0	3	-	3	0	3	0	0	0	0	0	0		
園芸学部	(方式II)	若干名	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計				15	6	21	-	15	5	20	1	0	1	1	0	1	
総計				228	528	756	-	228	523	751	61	156	217	60	155	215	



■ 西千葉キャンパス 千葉市稲毛区弥生町 1-33



■ 亥鼻キャンパス 千葉市中央区亥鼻 1-8-1



■ 柏の葉キャンパス 柏市柏の葉 6-2-1



■ 松戸キャンパス 松戸市松戸 648



■ 墨田サテライトキャンパス 東京都墨田区文花 1-19-1



# INFORMAT



WEB OPEN CAMPUS | EVENT | ENTRANCE EXAM

各種イベント情報



キャンパスガイドツアー

キャンパス自由見学

ちばだい公式YouTube

研究室をのぞいてみよう

オープンデИАーカィブ



WEB OPEN CAMPUS | EVENT | ENTRANCE EXAM

VRキャンパス



キャンパスをリアルにCG再現!

西千葉キャンパスと松戸キャンパスをリアルにCG体験!



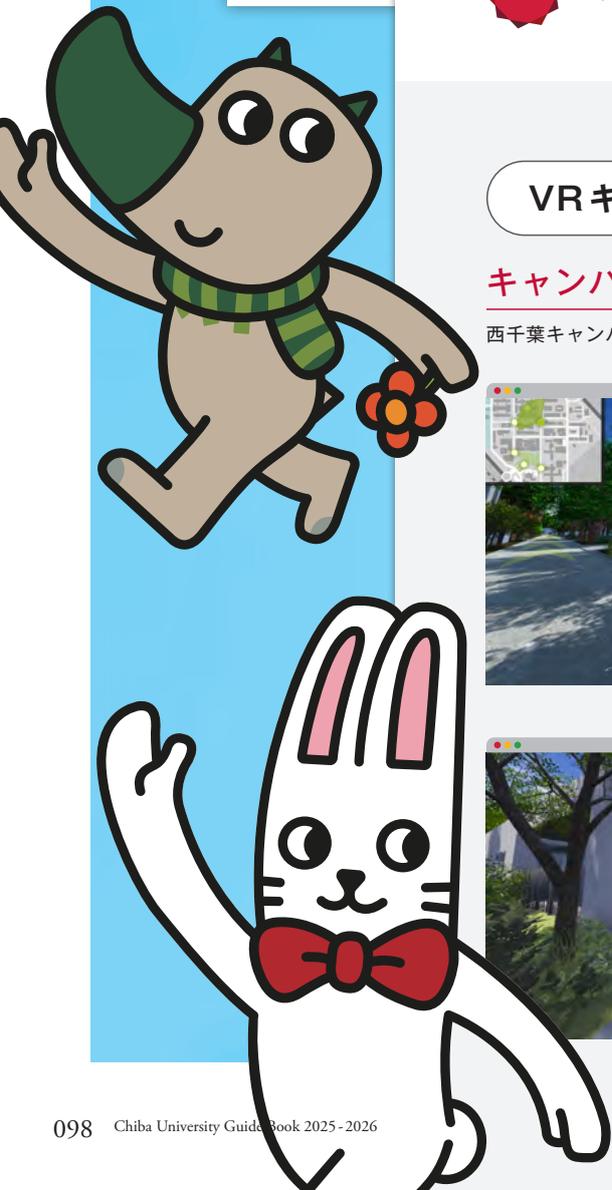
西千葉  
キャンパス



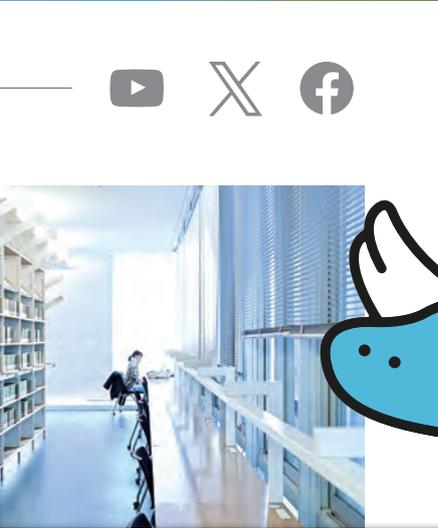
松戸  
キャンパス



WEB  
OPEN  
CAMPUS



# ION



Welcome!



WEB OPEN CAMPUS | EVENT ENTRANCE EXAM X

### 入試情報

- 「学部入試」に関する様々な情報のご案内 
- 資料請求はこちら 
- 入学後の合理的配慮のご案内 



### 学部紹介動画

11学部と先進科学プログラムの概要について動画で解説しています。



### 大学概要説明



AD ALTIORA SEMPER  
UNIVERSITAS CHIBA



〒 263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33

千葉大学学務部入試課

<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/index.html>



© Chiba University All Rights Reserved.